

データヘルス計画

第2期計画書

最終更新日：平成 30 年 09 月 26 日

イマジカ健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	27195
組合名称	イマジカ健康保険組合
形態	単一
業種	学術研究、専門・技術サービス業

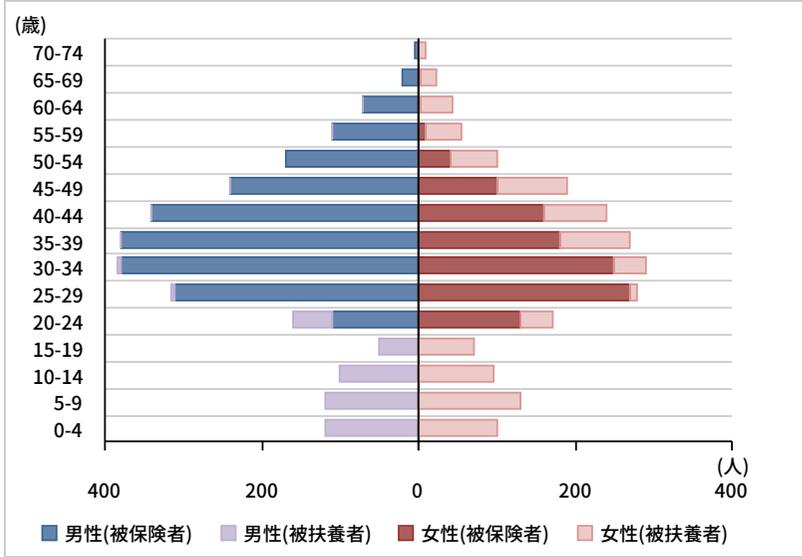
	平成30年度見込み	令和元年度見込み	令和2年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	3,280名 男性65.5% (平均年齢38.4歳) * 女性34.5% (平均年齢33.6歳) *	3,082名 男性66.5% (平均年齢38.9歳) * 女性33.5% (平均年齢34.4歳) *	2,943名 男性65.5% (平均年齢39.7歳) * 女性34.5% (平均年齢35.3歳) *
特例退職被保険者数	0名	0名	0名
加入者数	4,560名	4,409名	4,230名
適用事業所数	15カ所	13カ所	13カ所
対象となる拠点数	15カ所	13カ所	13カ所
保険料率 *調整を含む	98‰	98‰	98‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	0	0	0	0
	保健師等	0	0	0	0	0	0
事業主	産業医	0	15	0	13	0	13
	保健師等	0	0	0	0	0	0

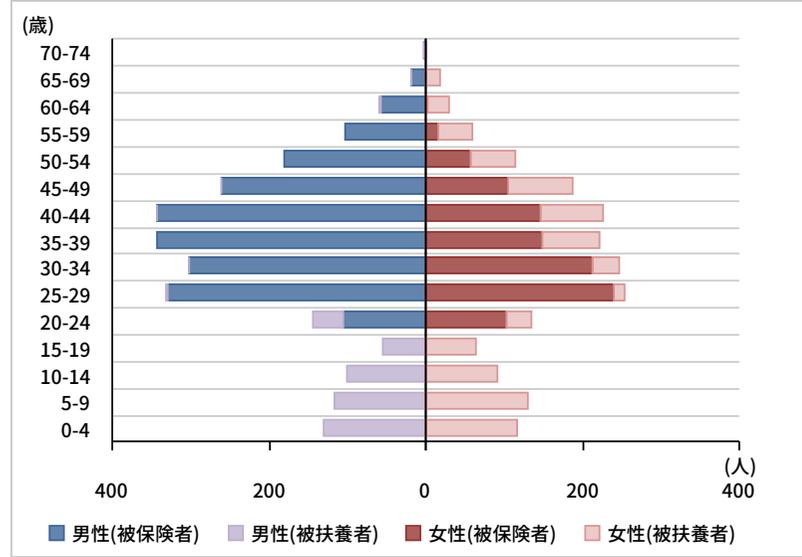
		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数： 特定健康診査対象者数)	全体	2,100 / 2,280 = 92.1 %	
	被保険者	1,700 / 1,840 = 92.4 %	
	被扶養者	400 / 440 = 90.9 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数： 特定保健指導対象者数)	全体	135 / 300 = 45.0 %	
	被保険者	80 / 180 = 44.4 %	
	被扶養者	55 / 120 = 45.8 %	

		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	16,000	4,878	16,700	5,419	18,380	6,245
	特定保健指導事業費	6,021	1,836	6,021	1,954	6,127	2,082
	保健指導宣伝費	2,577	786	15,780	5,120	7,384	2,509
	疾病予防費	38,030	11,595	36,585	11,871	35,270	11,984
	体育奨励費	120	37	120	39	528	179
	直営保養所費	0	0	0	0	0	0
	その他	836	255	836	271	836	284
	小計 …a	63,584	19,385	76,042	24,673	68,525	23,284
経常支出合計 …b	1,539,911	469,485	1,345,079	436,431	1,502,028	510,373	
a/b×100 (%)	4.13		5.65		4.56		

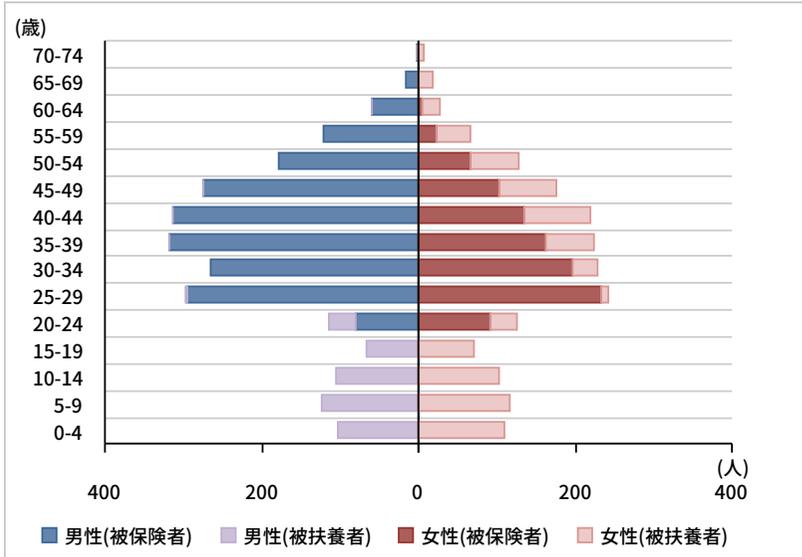
平成30年度見込み



令和元年度見込み



令和2年度見込み



男性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	1人	10～14	0人	15～19	1人
20～24	110人	25～29	310人	20～24	106人	25～29	330人	20～24	81人	25～29	296人
30～34	380人	35～39	380人	30～34	302人	35～39	342人	30～34	265人	35～39	317人
40～44	340人	45～49	240人	40～44	342人	45～49	261人	40～44	314人	45～49	274人
50～54	170人	55～59	110人	50～54	180人	55～59	104人	50～54	178人	55～59	121人
60～64	70人	65～69	20人	60～64	58人	65～69	18人	60～64	60人	65～69	16人
70～74	5人			70～74	3人			70～74	3人		

女性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	1人
20～24	130人	25～29	270人	20～24	102人	25～29	240人	20～24	92人	25～29	233人
30～34	250人	35～39	180人	30～34	212人	35～39	149人	30～34	197人	35～39	162人
40～44	160人	45～49	100人	40～44	146人	45～49	105人	40～44	135人	45～49	102人
50～54	40人	55～59	10人	50～54	58人	55～59	17人	50～54	67人	55～59	22人
60～64	3人	65～69	2人	60～64	3人	65～69	0人	60～64	5人	65～69	1人
70～74	0人			70～74	0人			70～74	0人		

男性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	120人	5～9	120人	0～4	130人	5～9	117人	0～4	103人	5～9	124人
10～14	100人	15～19	50人	10～14	101人	15～19	56人	10～14	105人	15～19	66人
20～24	50人	25～29	5人	20～24	40人	25～29	2人	20～24	35人	25～29	2人
30～34	5人	35～39	1人	30～34	1人	35～39	0人	30～34	0人	35～39	1人
40～44	1人	45～49	1人	40～44	1人	45～49	1人	40～44	1人	45～49	1人
50～54	0人	55～59	1人	50～54	0人	55～59	0人	50～54	0人	55～59	0人
60～64	1人	65～69	0人	60～64	2人	65～69	1人	60～64	1人	65～69	0人
70～74	0人			70～74	1人			70～74	1人		

女性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	100人	5～9	130人	0～4	117人	5～9	131人	0～4	110人	5～9	117人
10～14	95人	15～19	70人	10～14	92人	15～19	65人	10～14	102人	15～19	70人
20～24	40人	25～29	10人	20～24	33人	25～29	14人	20～24	35人	25～29	8人
30～34	40人	35～39	90人	30～34	35人	35～39	72人	30～34	33人	35～39	61人
40～44	80人	45～49	90人	40～44	80人	45～49	83人	40～44	85人	45～49	74人
50～54	60人	55～59	45人	50～54	56人	55～59	43人	50～54	62人	55～59	44人
60～64	40人	65～69	20人	60～64	27人	65～69	19人	60～64	23人	65～69	18人
70～74	10人			70～74	1人			70～74	6人		

基本情報から見える特徴

男性被保険者は30代が多く、女性被保険者は20代後半が多い。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健保ニュース発行
疾病予防	I C Tを活用した健康情報提供

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	医療費通知書配布
保健指導宣伝	HPサーバー管理費
保健指導宣伝	各種宣伝物制作代
保健指導宣伝	育児書（月刊）配布
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品差額通知事業
保健指導宣伝	らくらく健助
疾病予防	定期健康診査
疾病予防	人間ドック
疾病予防	大腸健診
疾病予防	婦人科単独健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
体育奨励	スポーツクラブ
予算措置なし	ラフォーレ倶楽部

事業主の取組

1	定期健康診断
2	特殊健康診断
3	雇入時健診
4	安全衛生委員会

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	2	健保ニュース発行	【目的】情報発信・健康意識の醸成 【概要】機関誌（健保の運営、収支、健康情報）の発行（2回/年）	被保険者被扶養者	-	男女	18～74	全員	648	機関紙 年2回 主に予算と決算の報告として発行。健康情報や保健事業も合わせて広報。	健保ホームページにもバックナンバーとして掲載。	-	5
疾病予防	2	ICTを活用した健康情報提供	健康維持管理の必要性を認識してもらうための情報発信によりヘルスリテラシーの向上を促す。	被保険者被扶養者	全て	男女	18～74	全員	1,000	-	-	-	-
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健診（被保険者）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診と併せて共同実施	被保険者	-	男女	40～74	全員	10,800	集団検診または提携医療機関での受診	-	受診率の向上	3
	3	特定健診（被扶養者）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】利便性の高い巡回型の健診を導入し、受診機会を増加	被扶養者	-	女性	40～74	全員	5,200	被扶養者の自宅に実施案内を個別送付。最寄りの会場で・日程での受診機会提供。	-	受診率の向上	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】特定保健指導の実施率向上 【概要】外部業者に委託し実施	被保険者被扶養者	-	男女	40～74	基準該当者	6,021	前年度保健指導対象者として実施	実施前に事業主に説明することにより事業主の協力が得られた。	予算の制約からすべての対象者に対して実施できていない。	1
保健指導宣伝	8	医療費通知書配布	【目的】コスト意識喚起と医療機関のけん制による医療費の適正化 【概要】任意の月に医療機関を受診した対象者に通知	被保険者被扶養者	-	男女	0～74	全員	200	年度内に1回実施。事業主を通じて配布。	-	一年分の通知がなされていない。	1
	5	HPサーバー管理費	【概要】ホームページの有効活用	-	-	-	-	-	259	ホームページを通じての様々な情報提供をタイムリーに実施。	-	-	5
	5	各種宣伝物制作代	【概要】広報チラシ等制作	-	-	-	-	-	100	必要に応じて広報チラシの制作	-	-	1
	5	育児書（月刊）配布	【概要】新生児家庭に1年間育児情報誌を配布	被保険者被扶養者	-	男女	-	全員	270	育児情報誌「赤ちゃん和妈妈・同お誕生号・お医者さんにかかるまでに」を産産加入者に送付。	-	-	5
	8	ジェネリック医薬品差額通知事業	【目的】ジェネリック医薬品の普及率向上 【概要】レセプトから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者に通知書を送付する。	被保険者被扶養者	-	男女	20～74	基準該当者	100	年1回該当者宅に郵送にて実施	-	-	5
	8	らくらく健助	【目的】医療費分析 【概要】レセプトと健診結果を総合的に分析し重点的に取り組むべき保健事業の実施	被保険者被扶養者	-	男女	0～74	全員	1,000	過年度のレセプト・健診結果を取り込み分析のためのデータベースを構築した。	-	操作方法に不慣れなため十分活用できていない。	1

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	3	定期健康診査	【目的】 定期健康診査の受診率向上 【概要】 事業主が行う定期健診と併せて共同実施	被保険者	全て	男女	18～74	全員	21,750	39歳以下の被保険者・被扶養者として実施。	女性被扶養者に対しては婦人科健診を同時に実施。	受診率の向上	3
	3	人間ドック	【目的】 受診率向上 【概要】 個人負担1万円にて受診（40歳以上）	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	10,000	契約医療機関にて個人負担1万円にて実施。	個人負担が非常に低いため受診しやすい。	-	1
	3	大腸健診	【目的】 大腸がん早期発見のための検査 【概要】 検査キットを希望者に送付し、検体を委託事業者へ送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	680	年一回実施	自宅から直接検査委託業者に送付することができる	-	1
	3	婦人科単独健診	【目的】 女性特有の乳がん・子宮がん早期発見 【概要】 費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	女性	35～74	全員	1,600	35歳以上の女性被保険者・被扶養者が乳がん・子宮がん検診を受診する際に、1万2千円を上限として補助	自健保の疾病傾向の分析から若年齢の乳がん・子宮がん増加傾向がみられたため受診年齢を5歳引き下げた。	受診率の向上	1
	3	インフルエンザ予防接種補助	【目的】 インフルエンザ予防 【概要】 インフルエンザ予防接種費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	1,500	一人1,500円を上限として補助実施。	-	-	1
体育奨励 予算措置なし	8	スポーツクラブ	【目的】 運動促進 【概要】 コナミスポーツクラブと契約し利用料金の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	120	月4回までを上限として1回あたり500円を補助	-	利用者数の向上	1
	8	ラフォーレ倶楽部	【目的】 本人と家族の保養に利用 【概要】 ラフォーレ倶楽部の施設を会員料金で利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	0	預託金を預けることにより法人会員価格での利用が可能。	-	利用者数の向上	1

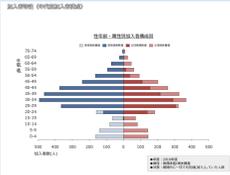
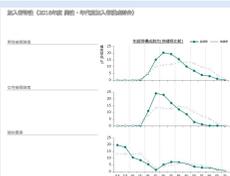
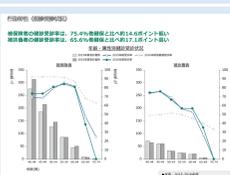
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	18 ～ 74	集合または施設によって実施	-	-	無
特殊健康診断	深夜業務・有機溶剤	被保険者	男女	18 ～ 74	法に定められた特定の作業環境従事者	-	-	無
雇入時健診	雇入時に実施	被保険者	男女	18 ～ 74	-	-	-	無
安全衛生委員会	通勤災害や労働災害の共有と注意喚起	被保険者	男女	18 ～ 74	人事部・産業医・職場	-	-	無

STEP 1-3 基本分析

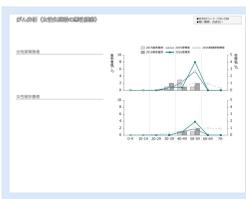
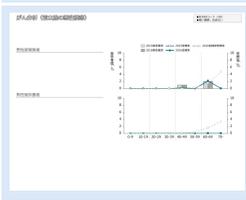
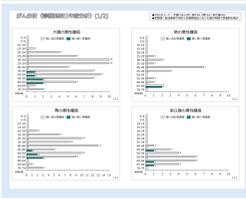
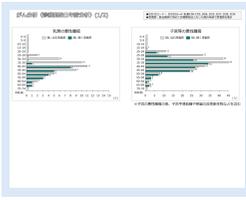
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		加入者特性<年代別加入者特性>	加入者構成の分析	-
イ		加入者特性<年代別加入者構成割合>	加入者構成の分析	-
ウ		行動特性<健診受診状況>	特定健診分析	-
エ		行動特性<後発品使用状況>	後発医薬品分析	-
オ		医療費分析<総医療費>	医療費・患者数分析	-
カ		医療費分析<年齢階層別の医療費構成割合>	医療費・患者数分析	-

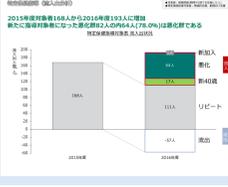
<p>キ</p>	<p>医療費分析<レセプト毎の医療費構成割合></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
<p>ク</p>	<p>医療費分析<医療費因数分解></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
<p>ケ</p>	<p>医療費<患者一人当たり医療費></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
<p>コ</p>	<p>医療費<医療費レンジ別患者数・医療費></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
<p>サ</p>	<p>疾病分析< ICD10大分類別 医療費構成割合></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
<p>シ</p>	<p>医療費分析< ICD10大分類別 加入者一人当たり医療費></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
<p>ス</p>	<p>疾病分析< ICD10大分類別 医療費構成割合></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-

セ		<p>疾病分析< ICD 10大分類別 医療費構成割合上位10の受療率と患者あたり医療費></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
ソ		<p>疾病分析< 疾病別医療費構成比></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
タ		<p>生活習慣病分析< 医療費比較></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
チ		<p>生活習慣病分析< 2型糖尿病></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
ツ		<p>生活習慣病分析< 高血圧症（本態性）></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
テ		<p>生活習慣病分析< 脂質異常症></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-
ト		<p>生活習慣病分析< 2型糖尿病合併症></p>	<p>医療費・患者数分析</p>	-

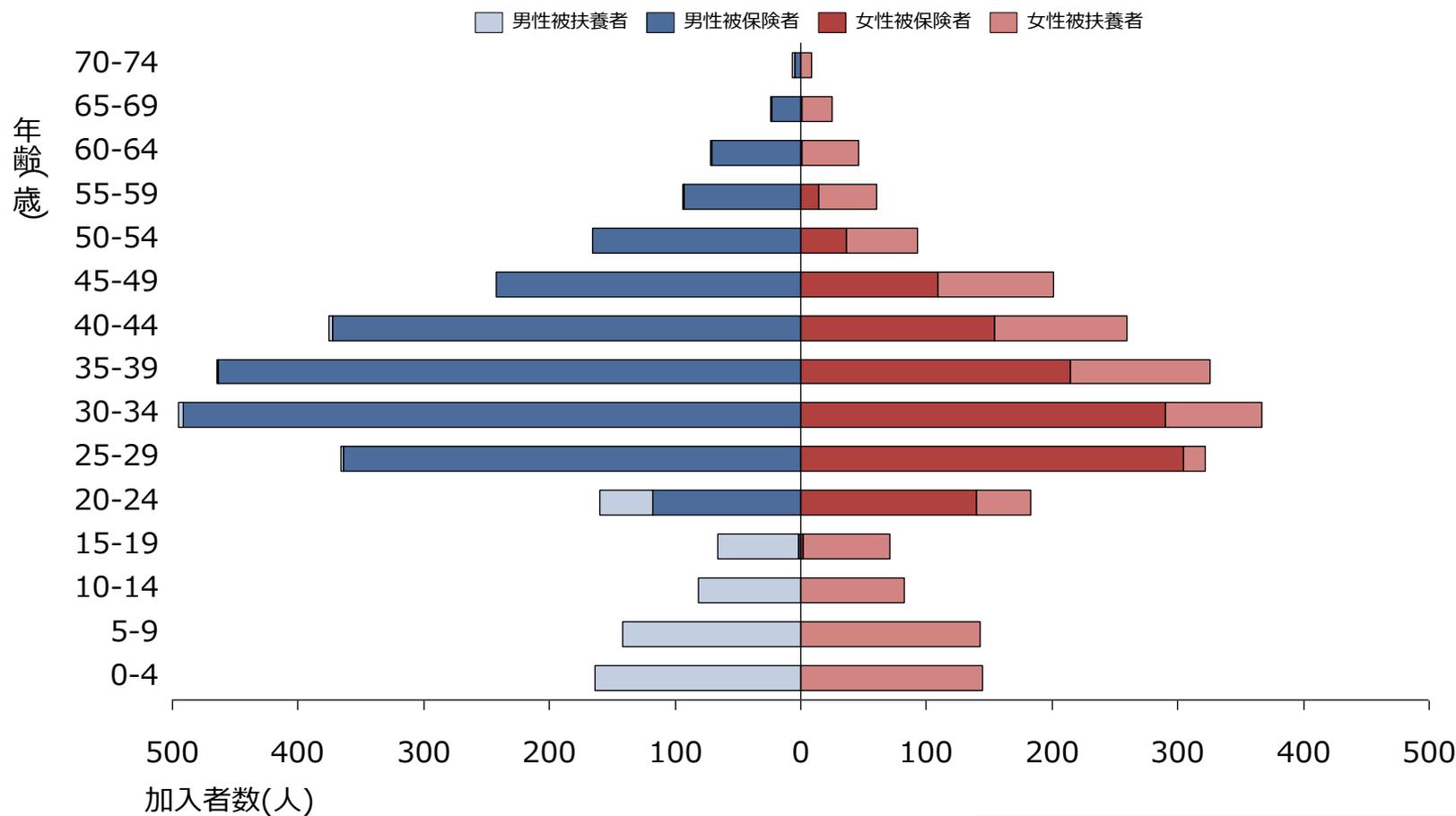
ナ		生活習慣病分析<虚血性心疾患>	医療費・患者数分析	-
ニ		生活習慣病分析<脳血管疾患>	医療費・患者数分析	-
又		がん分析<医療費比較>	医療費・患者数分析	-
ネ		がん分析<胃の悪性腫瘍>	医療費・患者数分析	-
ノ		がん分析<肺の悪性腫瘍>	医療費・患者数分析	-
ハ		がん分析<大腸の悪性腫瘍>	医療費・患者数分析	-
ヒ		がん分析<乳房の悪性腫瘍>	医療費・患者数分析	-

フ		がん分析<女性生殖器の悪性腫瘍>	医療費・患者数分析	-
へ		がん分析<前立腺の悪性腫瘍>	医療費・患者数分析	-
ホ		がん分析<診療開始日年齢分析>(1/2)	医療費・患者数分析	-
マ		がん分析<診療開始日年齢分析>(2/2)	医療費・患者数分析	-
ミ		健診分析<BMI 肥満度>	特定健診分析	-
ム		健診分析<空腹時血糖>	特定健診分析	-
メ		健診分析<HbA1c>	特定健診分析	-

モ		健診分析<収縮期血圧>	特定健診分析	-
ヤ		健診分析<拡張期血圧>	特定健診分析	-
コ		健診分析<中性脂肪>	特定健診分析	-
コ		健診分析<HDLコレステロール>	特定健診分析	-
ラ		健診分析<LDLコレステロール>	特定健診分析	-
リ		健診分析<メタボリックシンドローム判定>	特定健診分析	-
ル		健診分析<特定保健指導レベル>	特定健診分析	-

レ		問診分析<喫煙>	特定健診分析	
ロ		問診分析<運動習慣>	特定健診分析	
ワ		問診分析<生活習慣改善意欲>	特定健診分析	
ヲ		健康課題マップ<リスク階層把握>	健康リスク分析	
ン		健康課題マップ<階層別一人当たり医療費>	健康リスク分析	
アア		特定健診<未把握群のパターン分析>	特定健診分析	
アイ		特定保健指導<流入出分析>	特定保健指導分析	

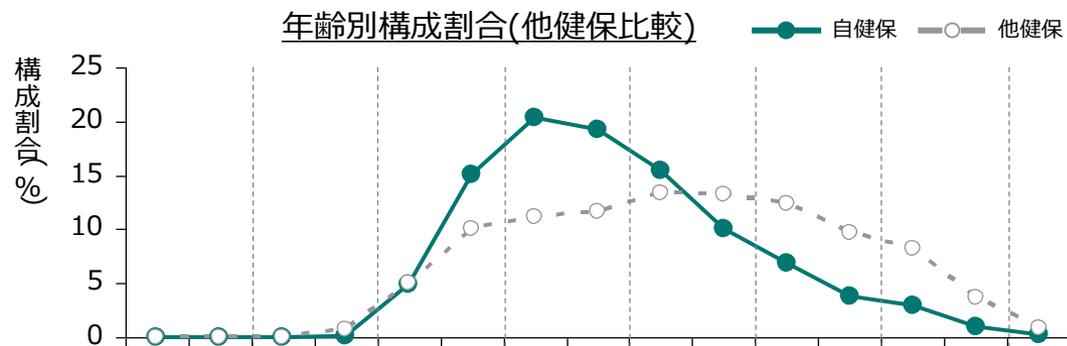
性年齢・属性別加入者構成図



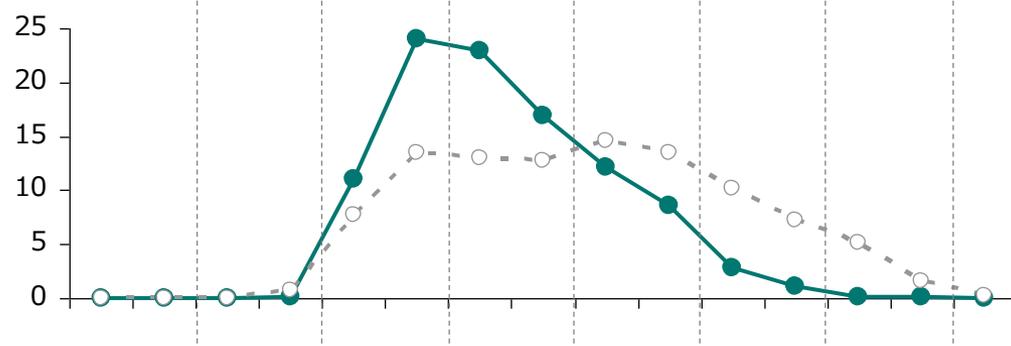
■ 年度：2016年度
 ■ 属性：被保険者/被扶養者
 ■ 対象：期間内に一日でも在籍(加入)していた人数

加入者特性 《2016年度 属性・年代別加入者構成割合》

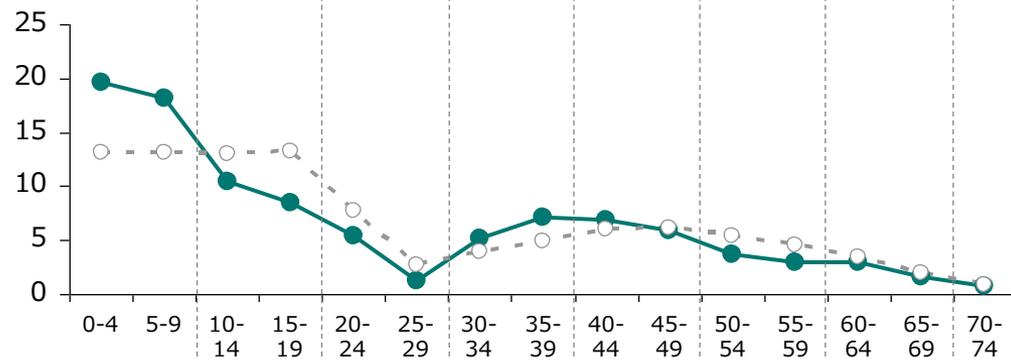
男性被保険者



女性被保険者



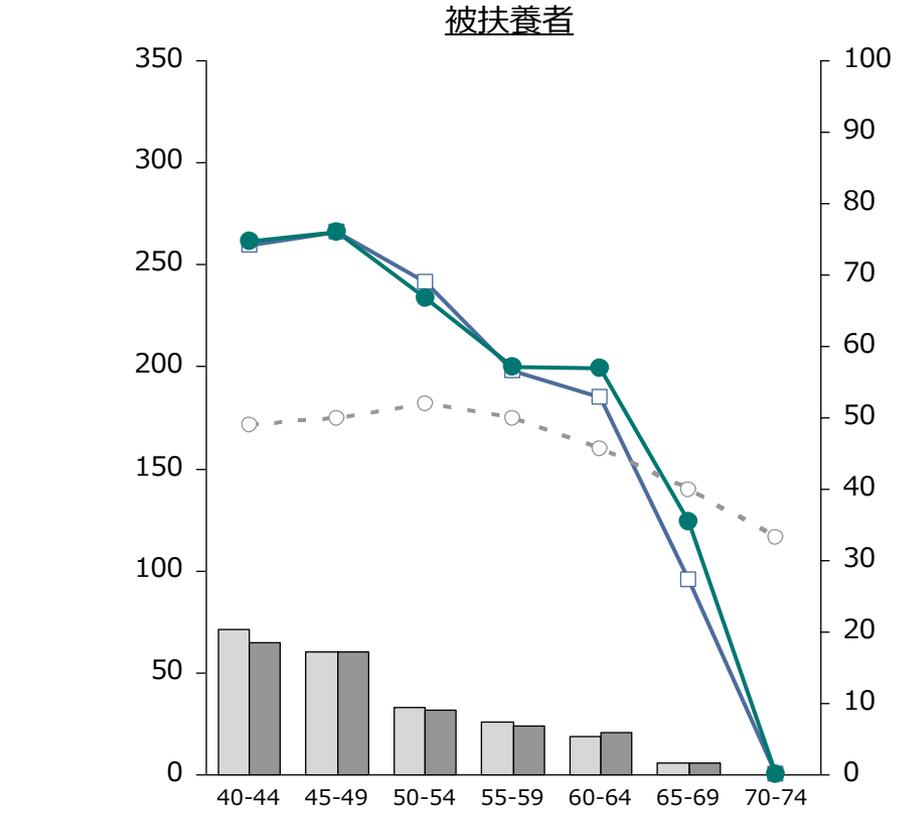
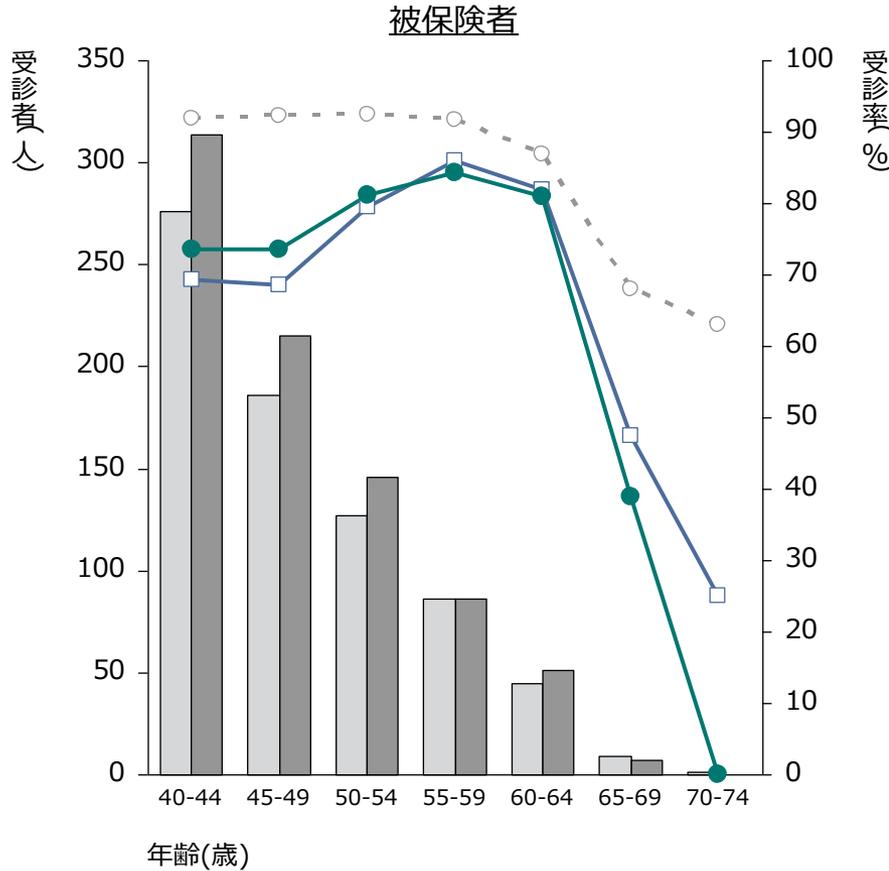
被扶養者



被保険者の健診受診率は、75.4%他健保と比べ約14.6ポイント低い
 被扶養者の健診受診率は、65.6%他健保と比べ約17.1ポイント高い

年齢・属性別健診受診状況

2015年度受診者数
 2015年度受診率
 2016年度他健保受診率
 2016年度受診者数
 2016年度受診率



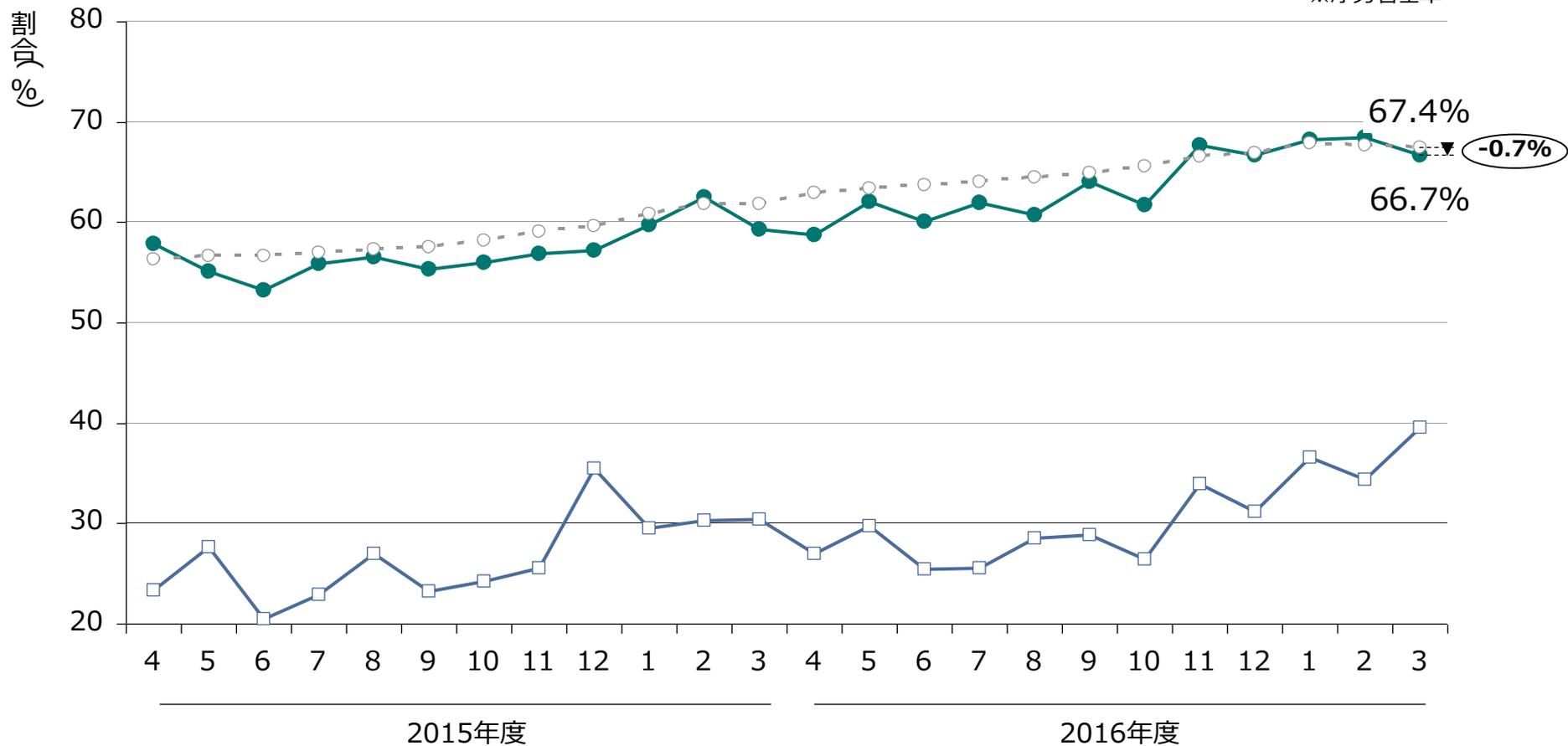
年度：2015-2016年度
 属性：被保険者/被扶養者
 対象：40歳以上の各年度毎の継続加入者

2017年3月の数量割合は66.7%で、他健保と比べ0.7ポイント低い

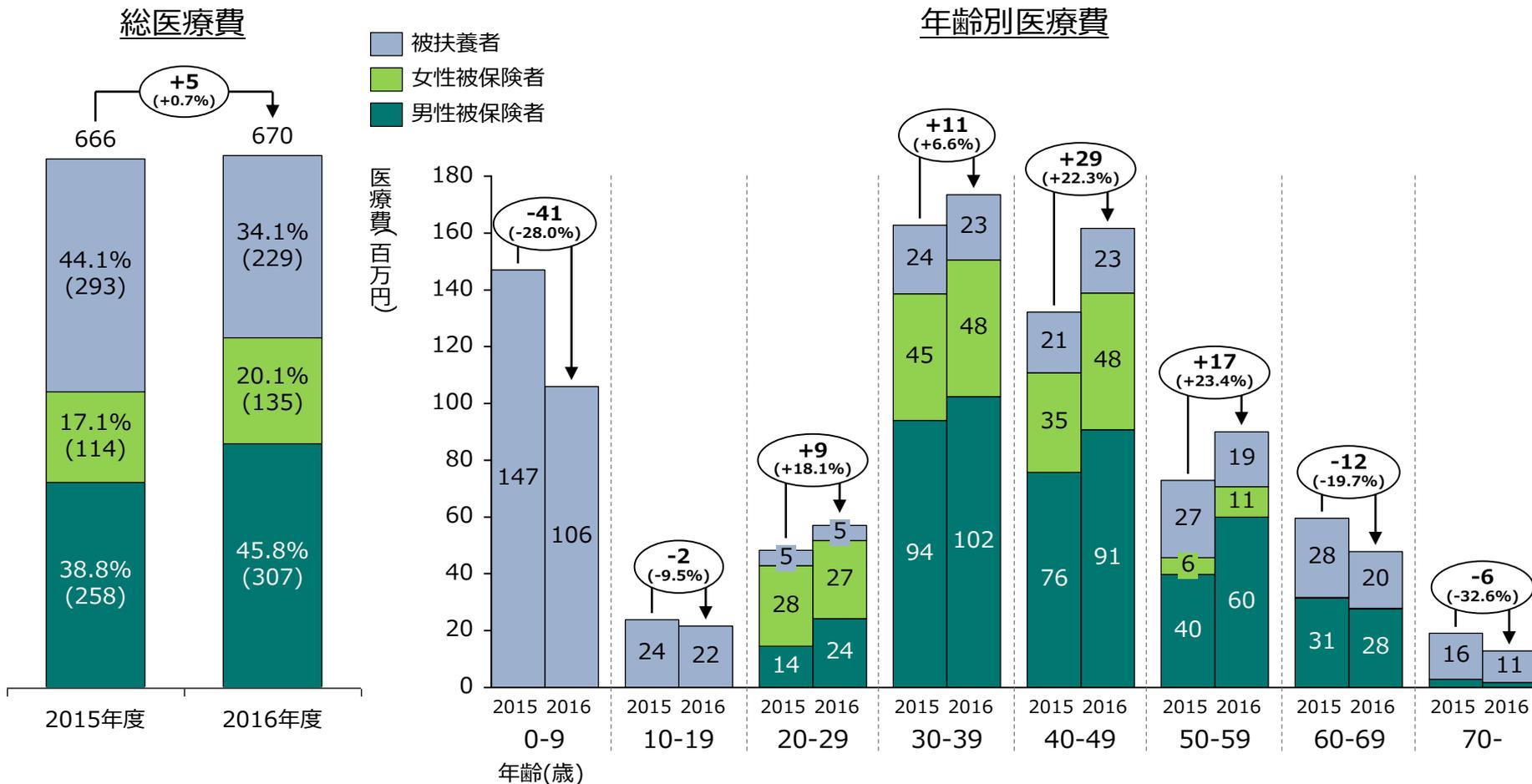
後発医薬品 数量・薬剤費割合推移(他健保比較)

● 数量割合 □ 薬剤費割合 ○ 他健保数量割合

※厚労省基準



2016年度は前年比5百万円の増加 被保険者の医療費は、前年比49百万円増加している



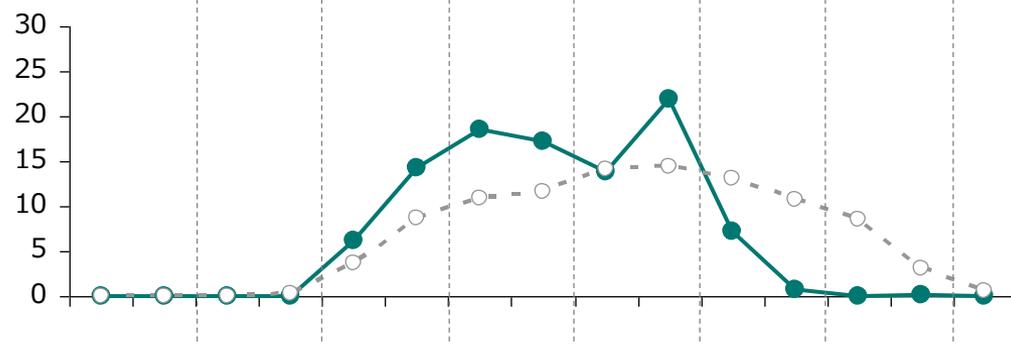
■ 対象レセプト：
入院(DPC含む)・入院外・調剤・歯科

医療費分析 《2016年度 年齢階層別の医療費構成割合》

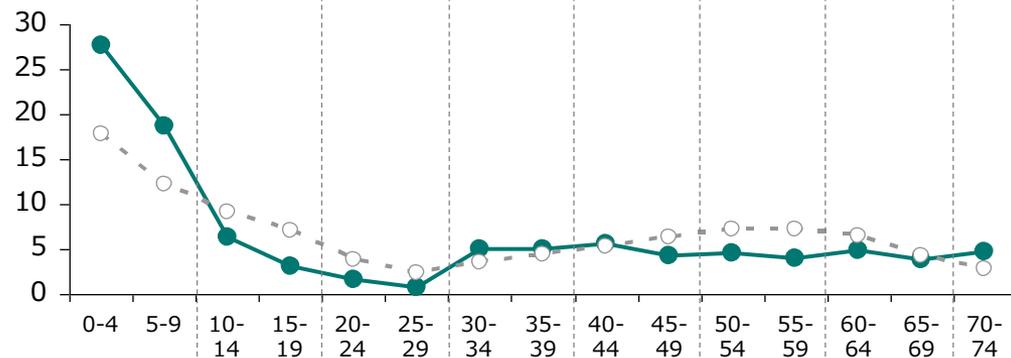
男性被保険者



女性被保険者

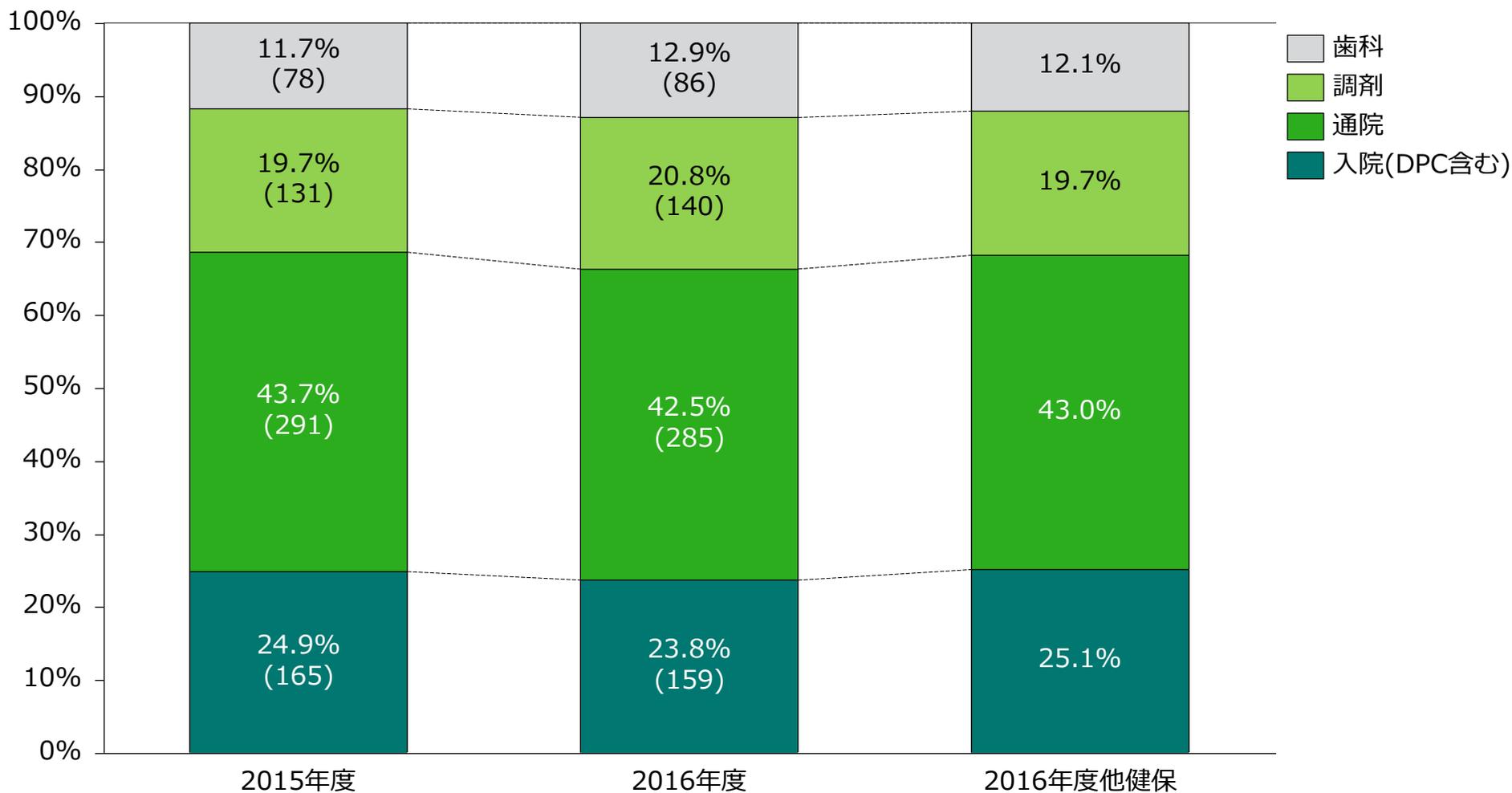


被扶養者

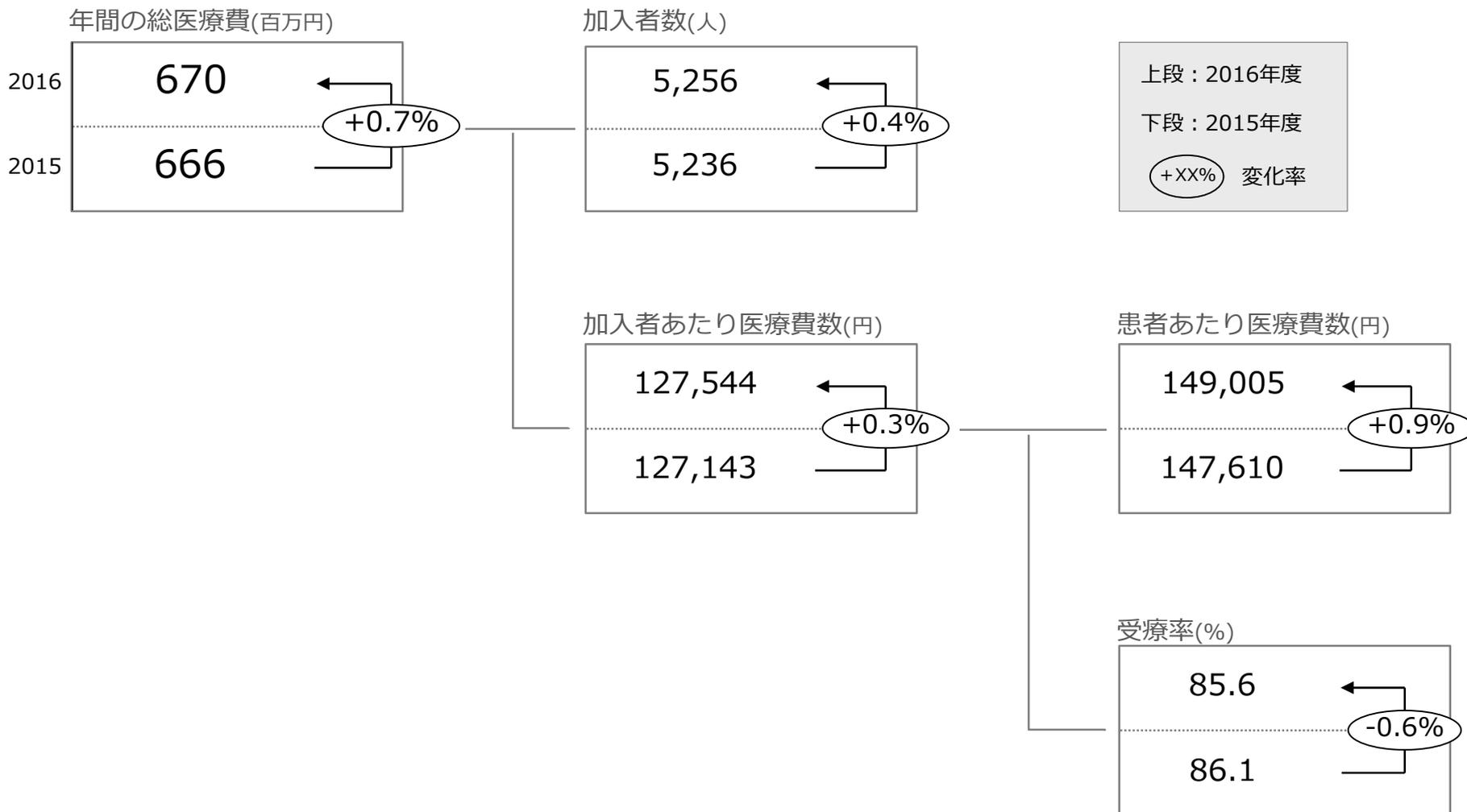


医療費分析 〈レセプト種別毎の医療費構成割合〉

レセプト種別毎 医療費構成割合

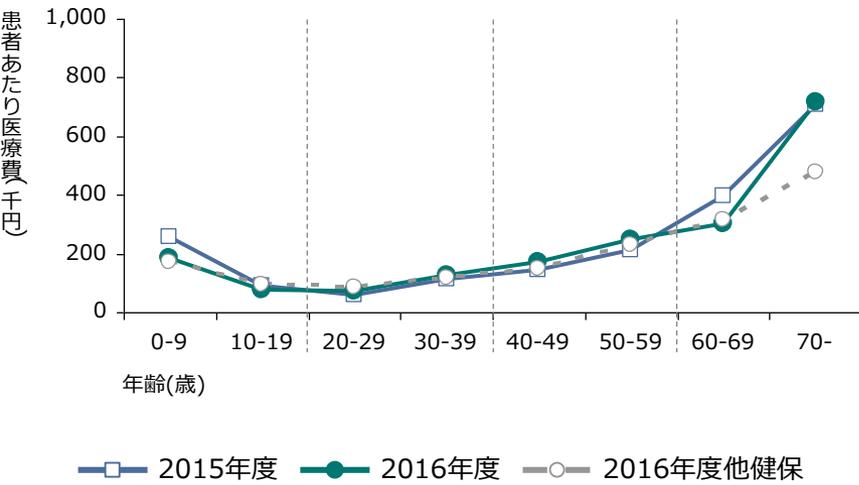


前年比で医療費が0.7%増加
 加入者も0.4%増加しているが、加入者あたり医療費も0.3%増加している

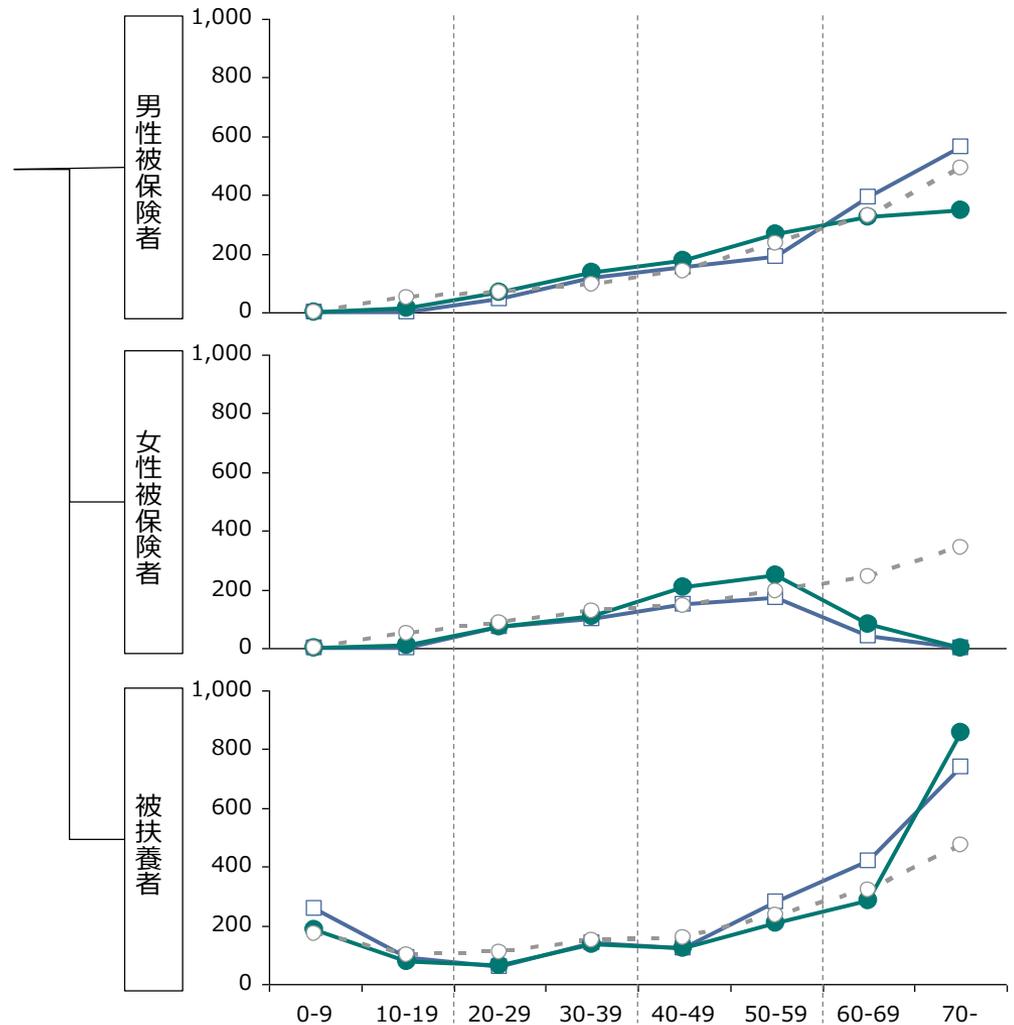


医療費分析 《患者ひとりあたり医療費》

健保全体 年齢別患者ひとりあたり医療費



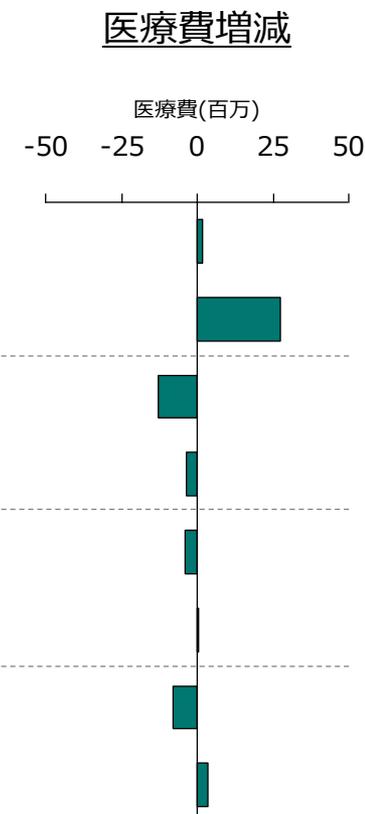
属性毎 年齢別患者ひとりあたり医療費



医療費レンジより、総患者数は前年比-11人と減少している
 年間医療費10-49万未満の患者数が99人増加し、医療費も27百万円増加

医療費レンジ 年度比較

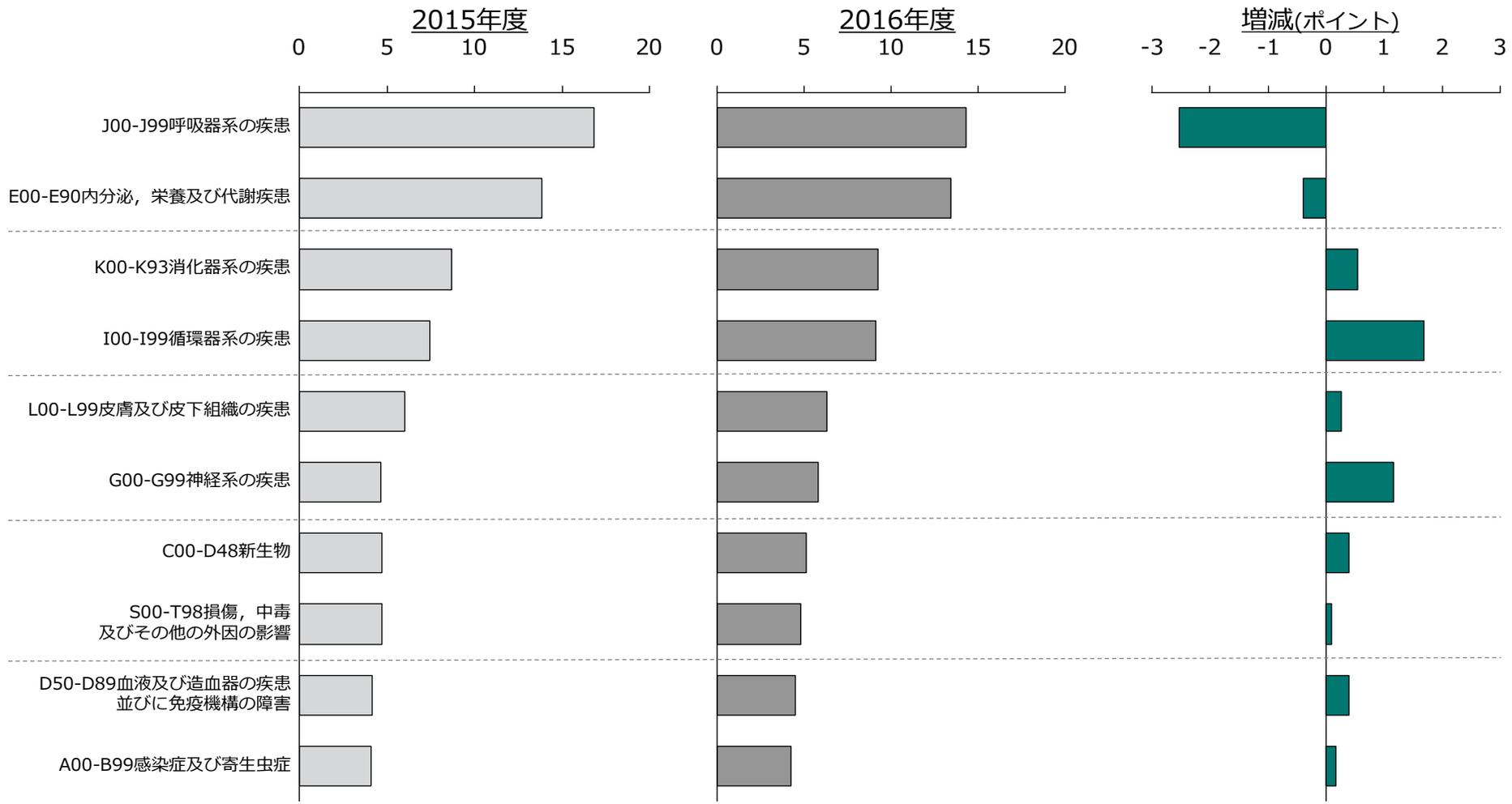
年間医療費レンジ	実患者数(人)		実患者数増減 (2016-2015)	医療費(百万円)		医療費増減 (2016-2015)
	2015年度	2016年度		2015年度	2016年度	
-10万円未満	3,101	3,016	-85	121	123	2
10-49万円	1,229	1,328	99	234	261	27
50-99万円	111	91	-20	75	63	-13
100-199万円	36	35	-1	50	46	-4
200-299万円	15	13	-2	35	31	-4
300-399万円	3	3	0	10	11	0
400-499万円	6	4	-2	26	18	-8
500万円-	9	9	0	113	116	4
合計	4,510	4,499	-11	666	670	5



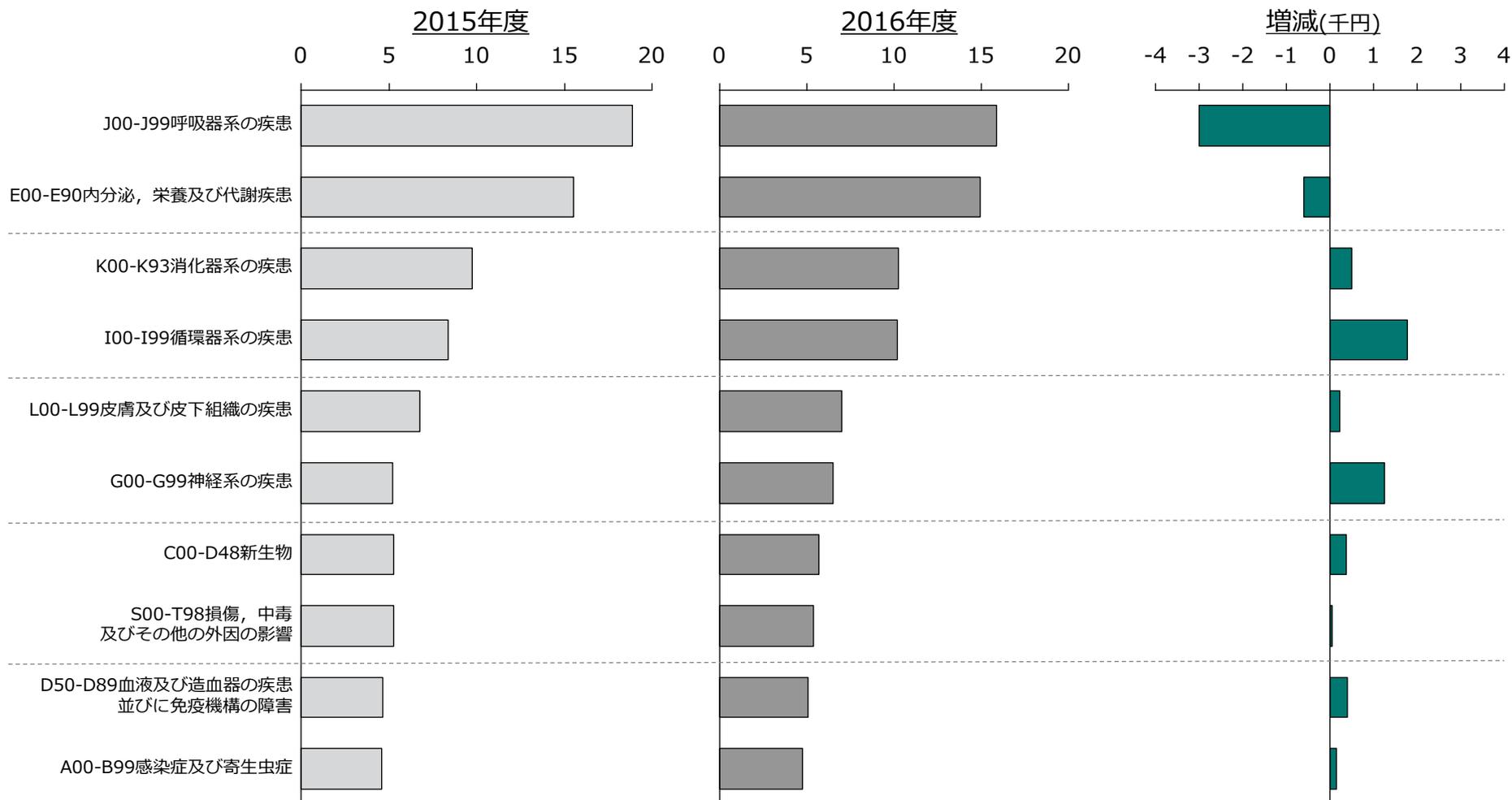
疾病分析 <ICD10大分類別 医療費構成割合>

■ 医療費抽出方法：PDM法で算出
 ■ 疑い傷病：含む

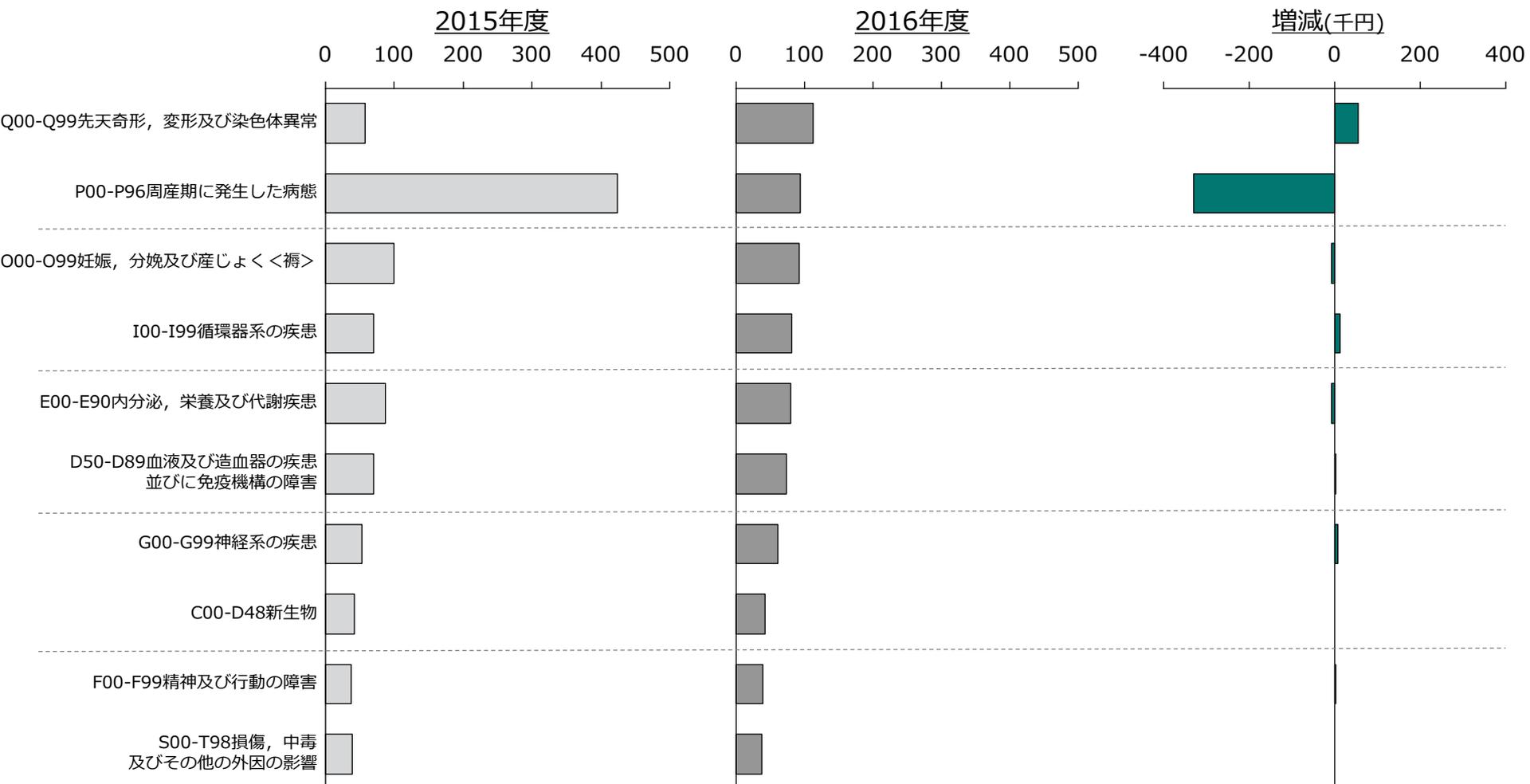
医療費構成割合(%)上位10



患者ひとりあたり医療費(千円)上位10

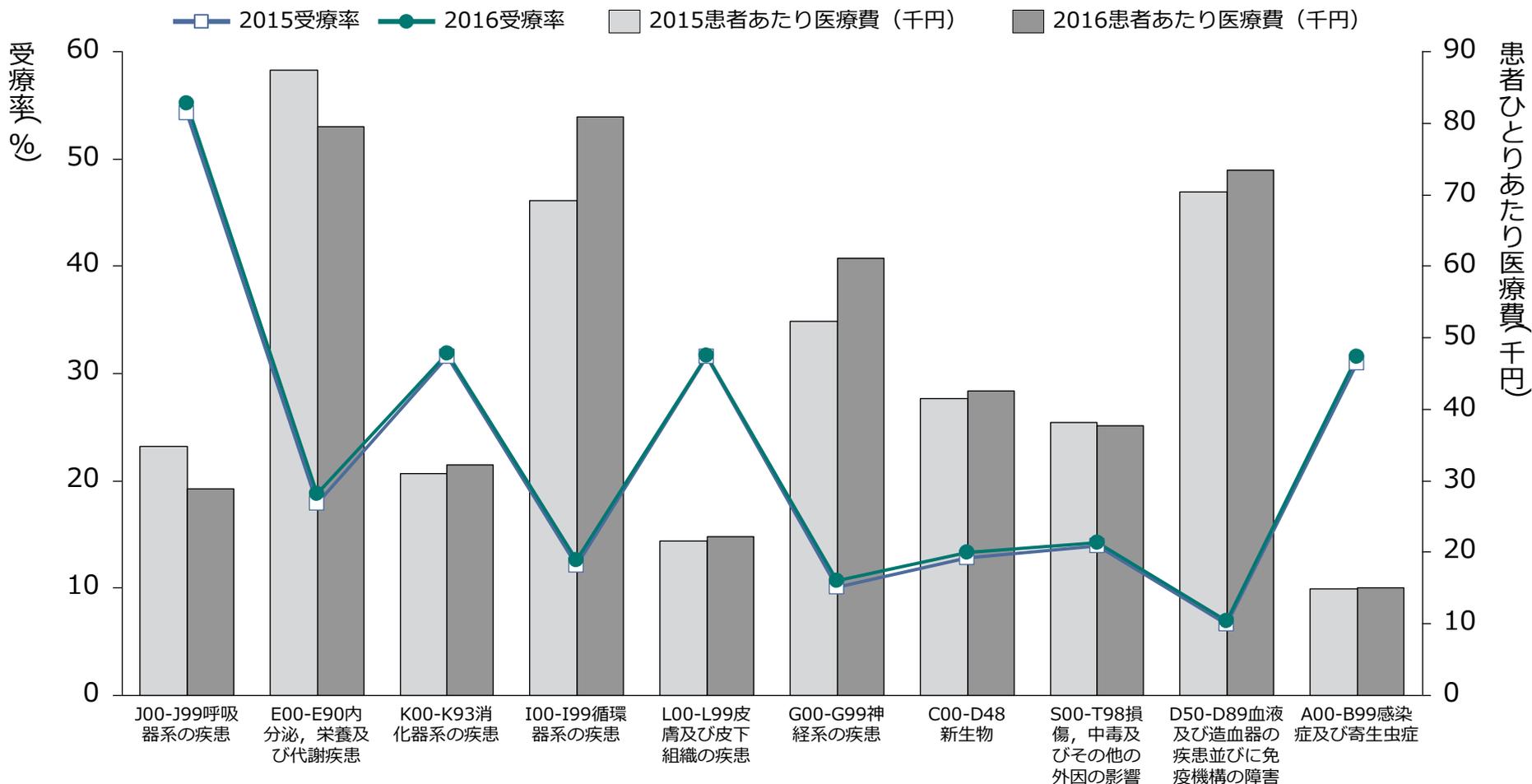


患者ひとりあたり医療費(千円)上位10



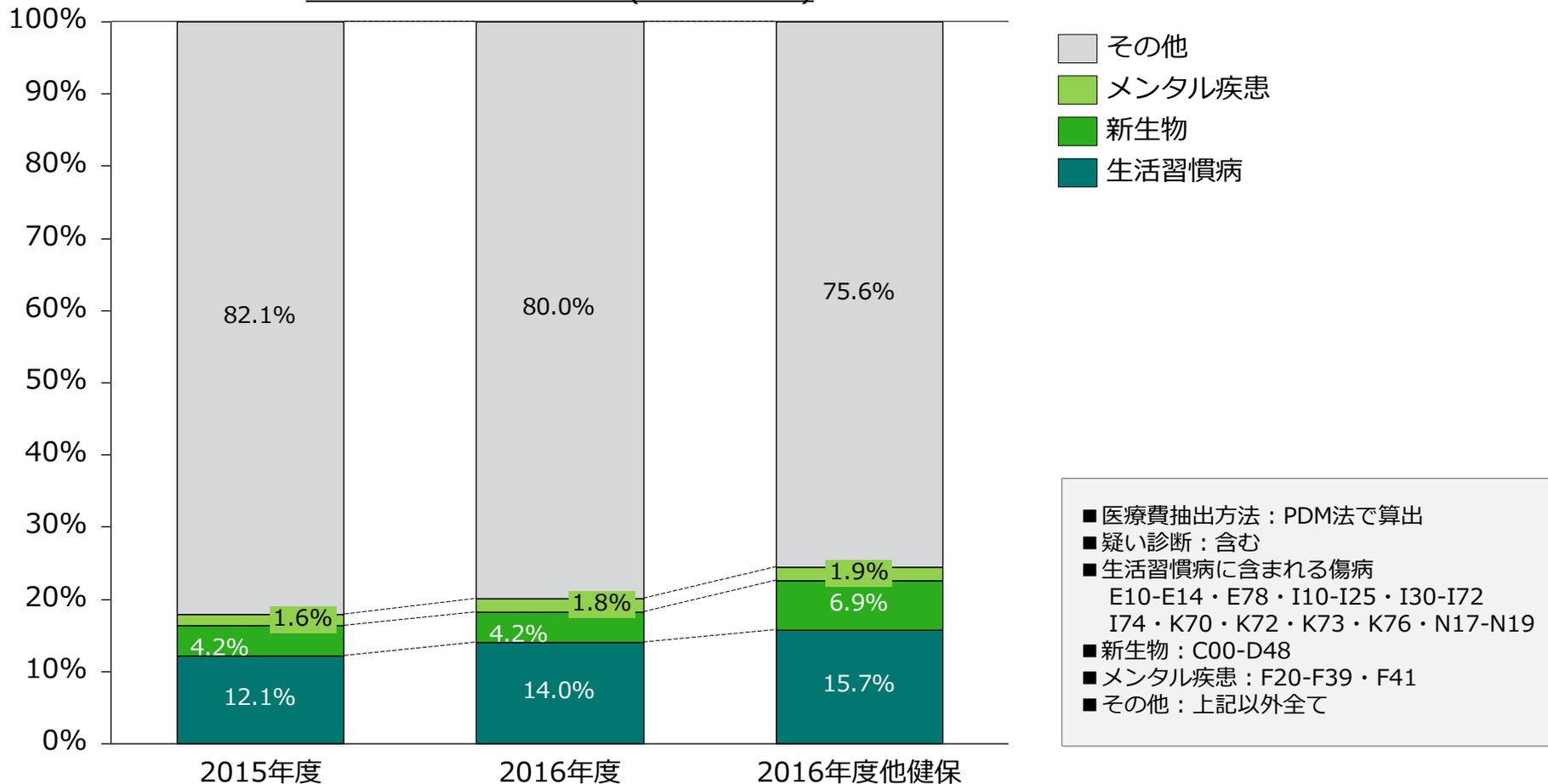
内分泌系や循環器系は、受療率は低いが患者あたり医療費は高い

医療費構成割合上位10の受療率(%)と患者あたり医療費(千円)



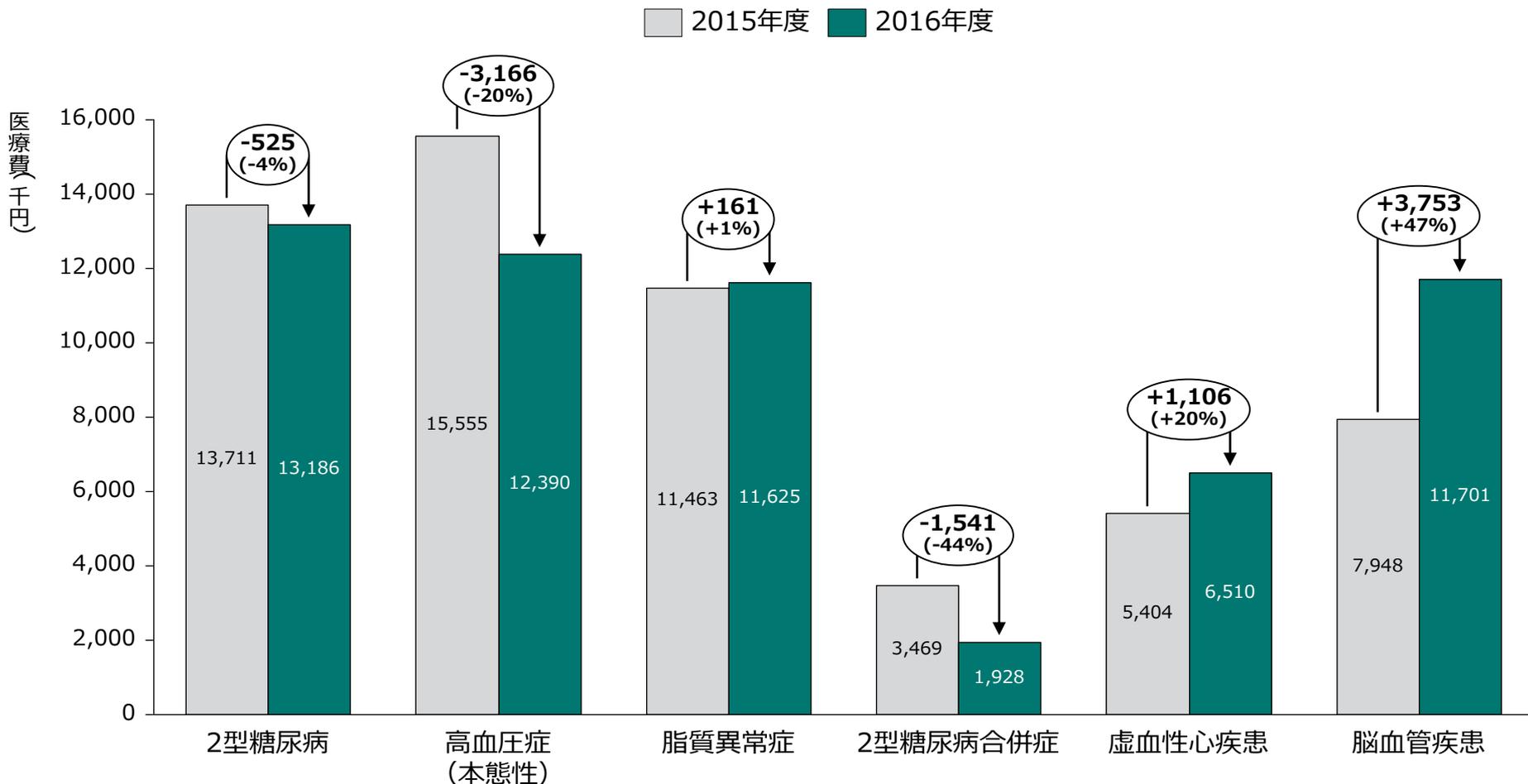
疾病別構成比で見ると、生活習慣病は全医療費の14.0%を占める
前年度比で1.9ポイント高い、他健保と比べると1.7ポイント低い

疾患別医療費構成割合(他健保比較)



疾病別では、2型糖尿病の医療費が最も高い
変化率では、脳血管疾患が前年度比+47.2%であった

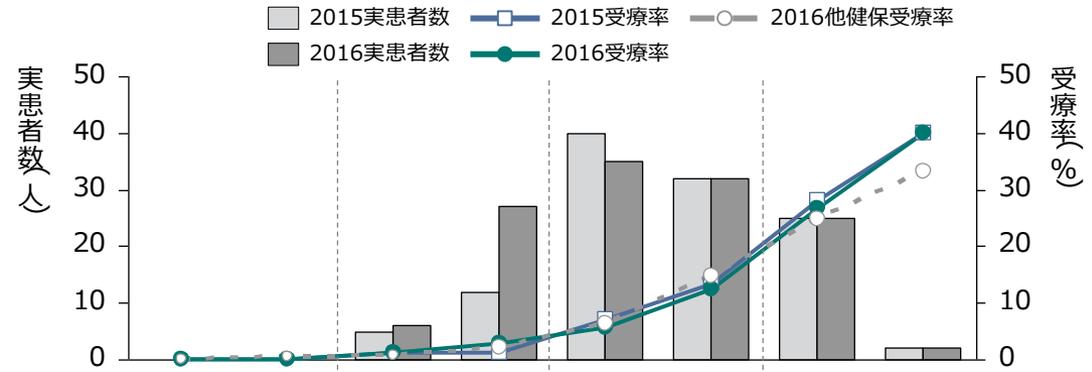
生活習慣病 疾病別医療費(経年比較)



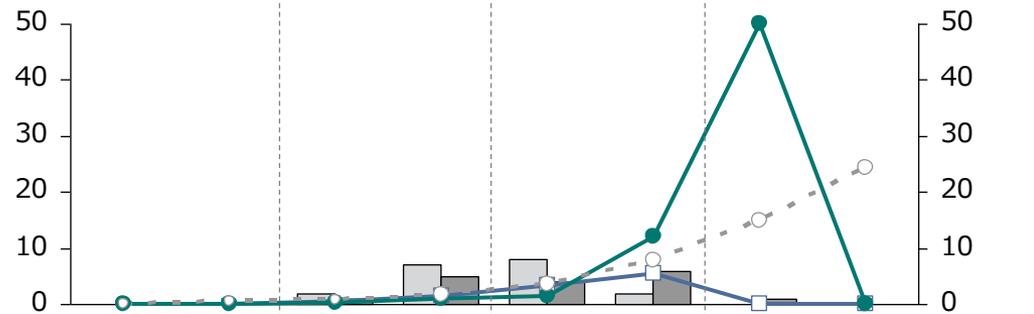
生活習慣病分析 〈2型糖尿病〉

■ ICD10コード：E11-14
 ■ 疑い傷病：含まない

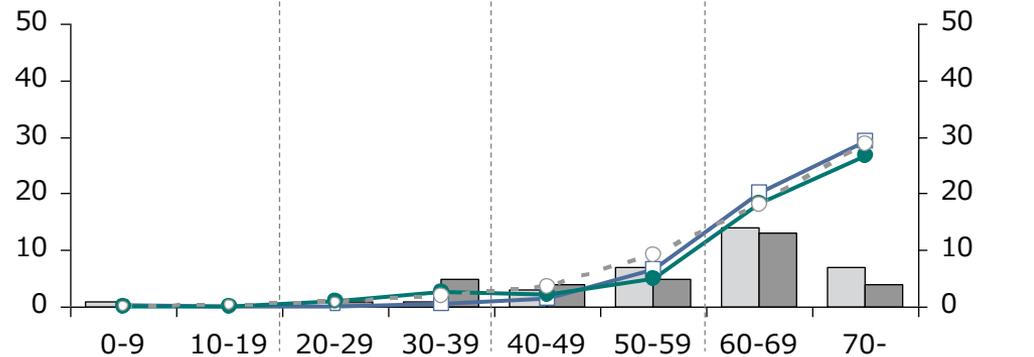
男性被保険者



女性被保険者



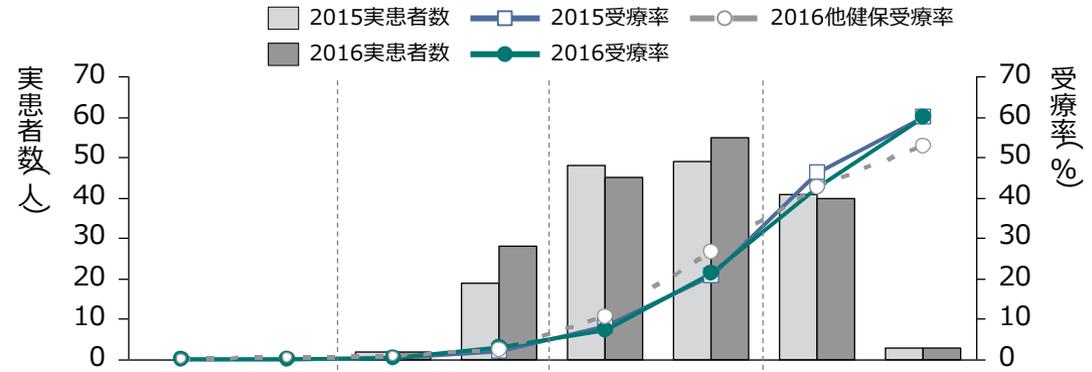
被扶養者



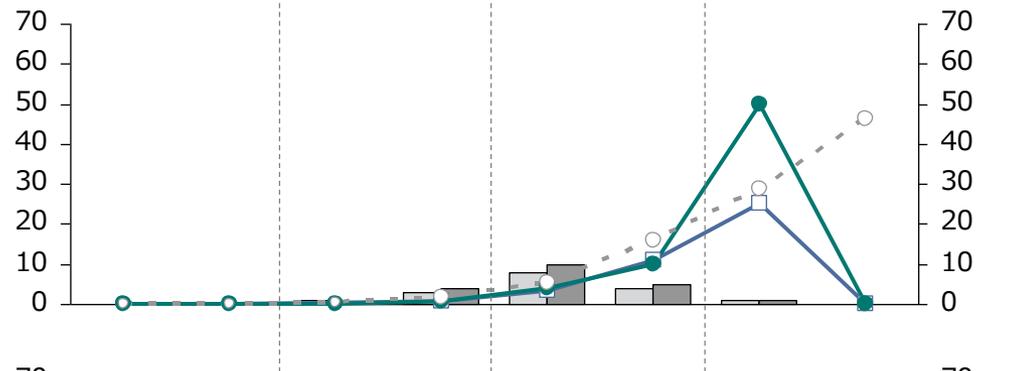
生活習慣病分析 〈高血圧症(本態性)〉

■ ICD10コード：I10
 ■ 疑い傷病：含まない

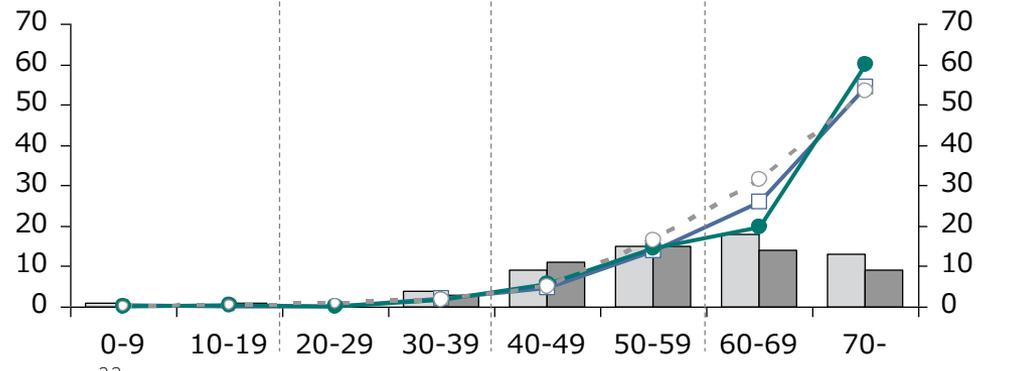
男性被保険者



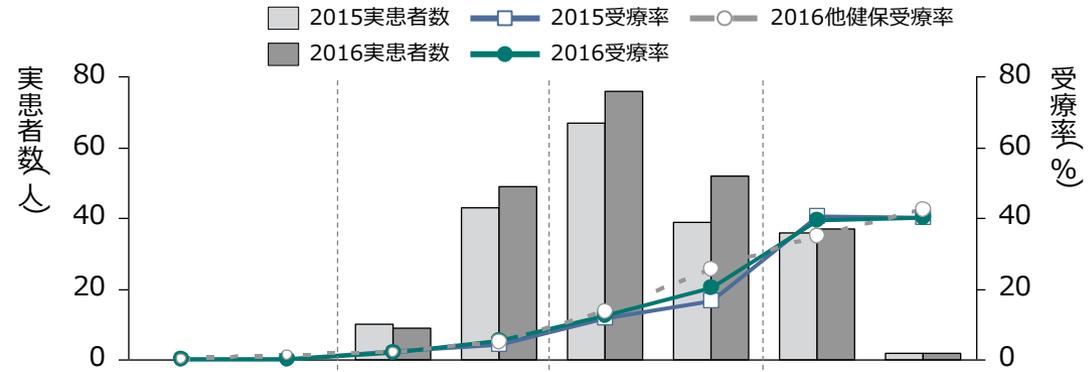
女性被保険者



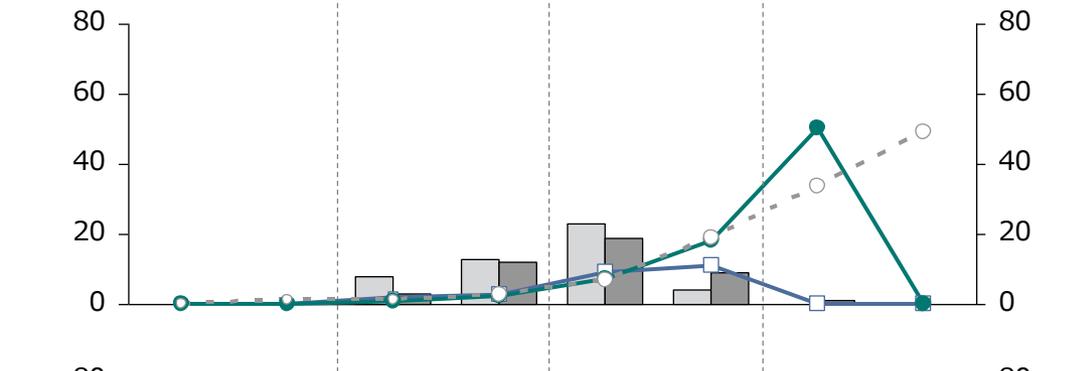
被扶養者



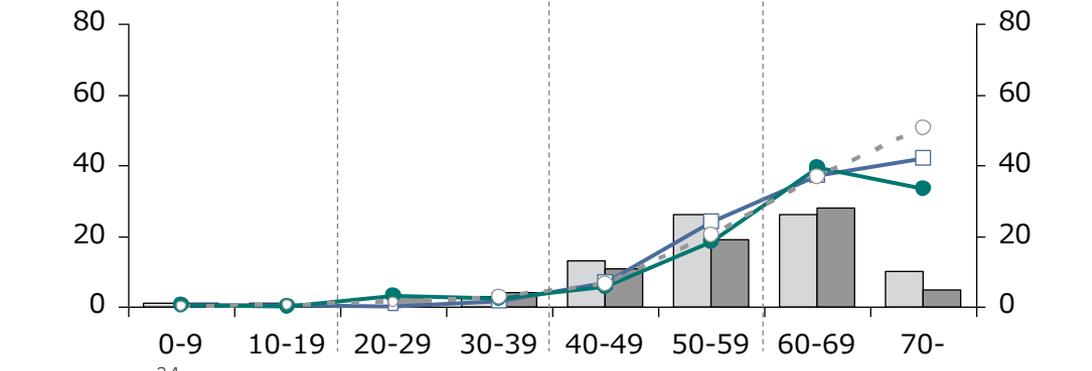
男性被保険者



女性被保険者



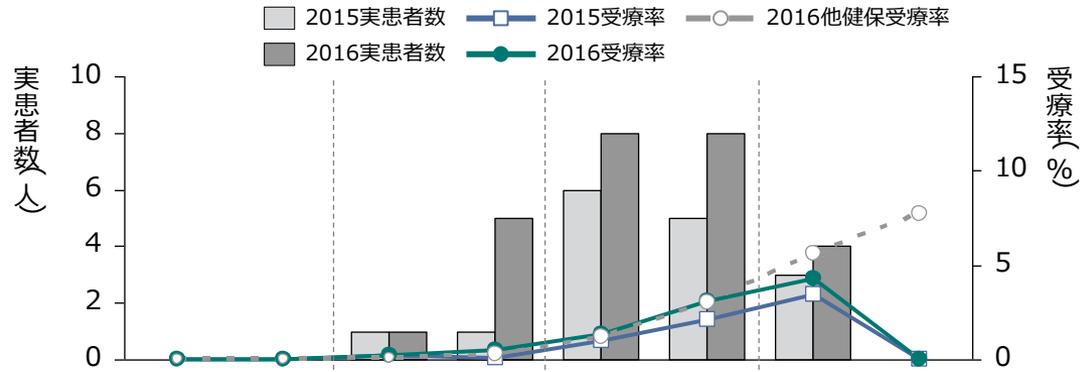
被扶養者



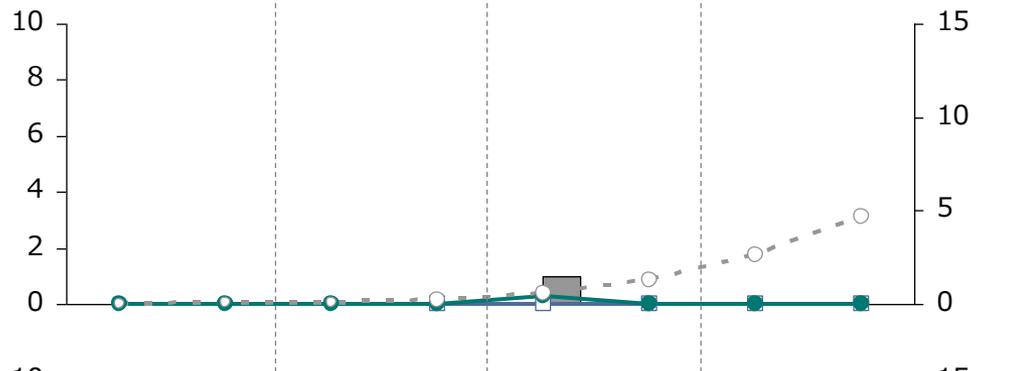
生活習慣病分析 〈2型糖尿病合併症〉

■ ICD10コード：E12/E110-E117/E130-E137/E140-E146
 ■ 疑い傷病：含まない

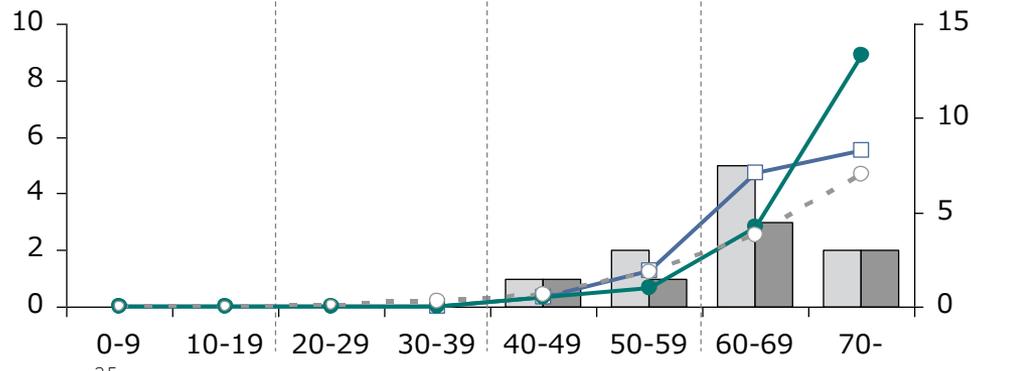
男性被保険者



女性被保険者



被扶養者



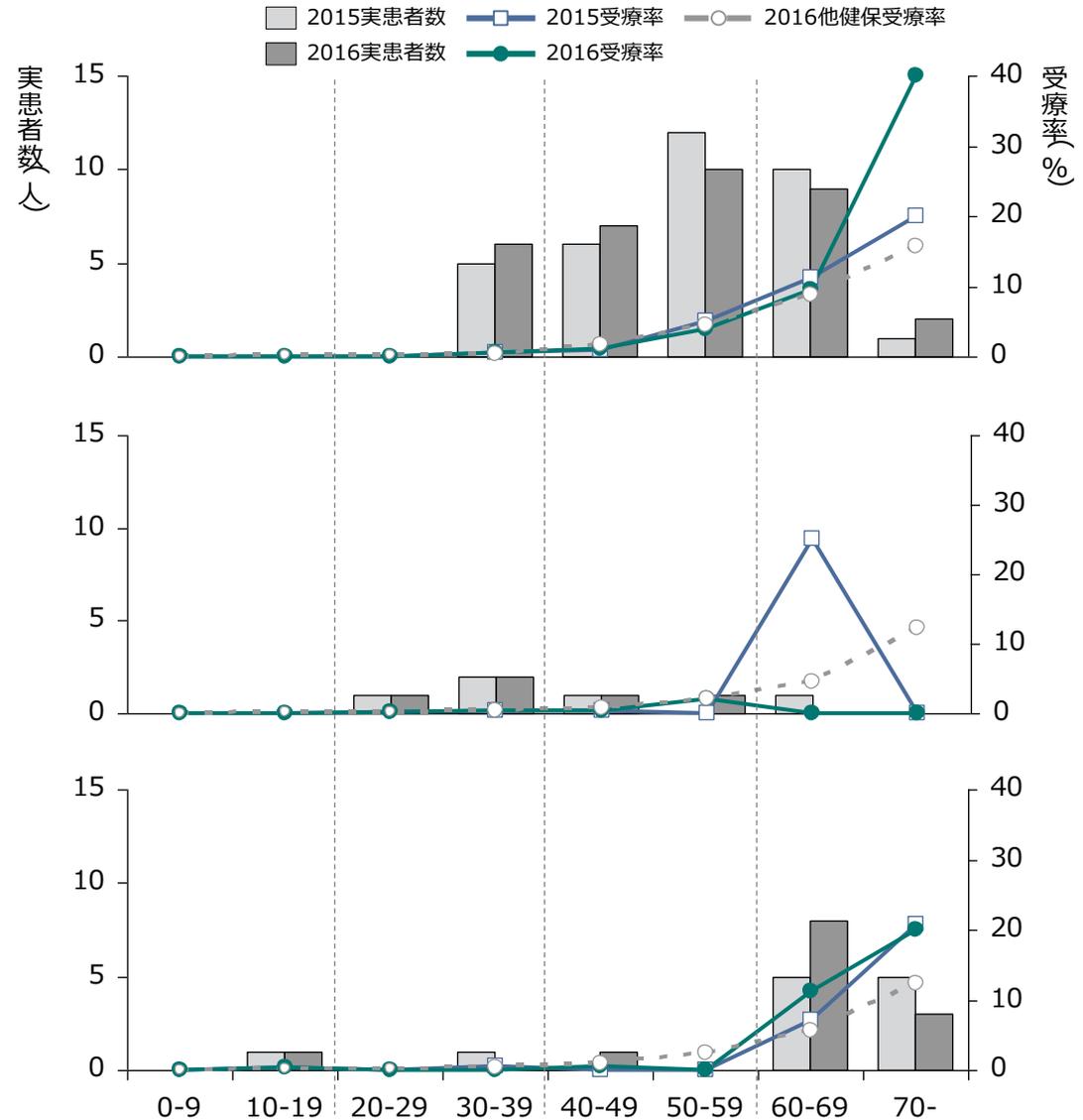
生活習慣病分析〈虚血性心疾患〉

■ ICD10コード：I20-I25
 ■ 疑い傷病：含まない

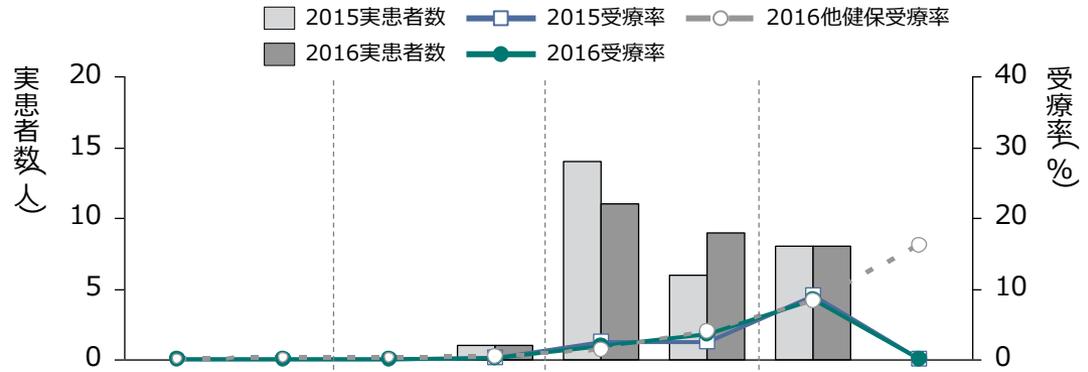
男性被保険者

女性被保険者

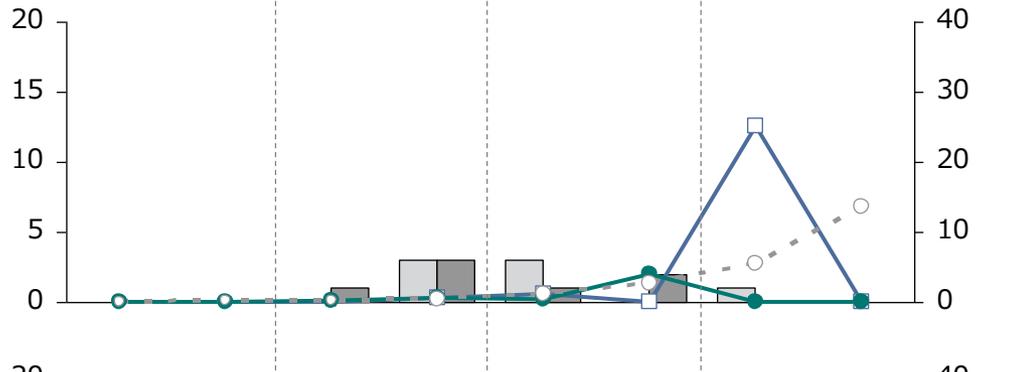
被扶養者



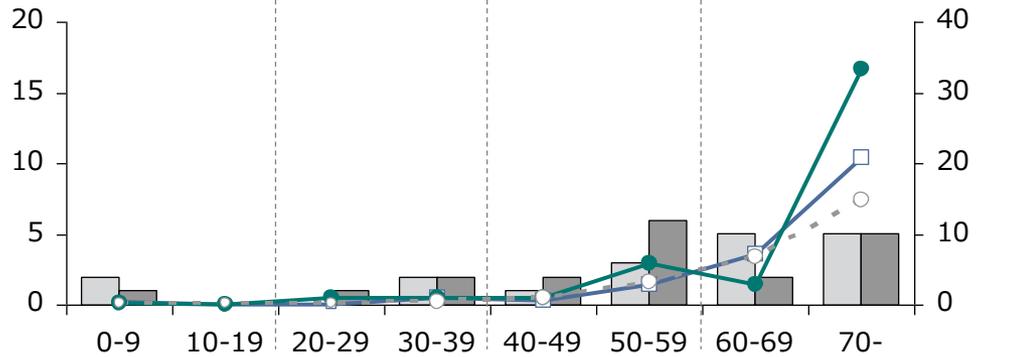
男性被保険者



女性被保険者

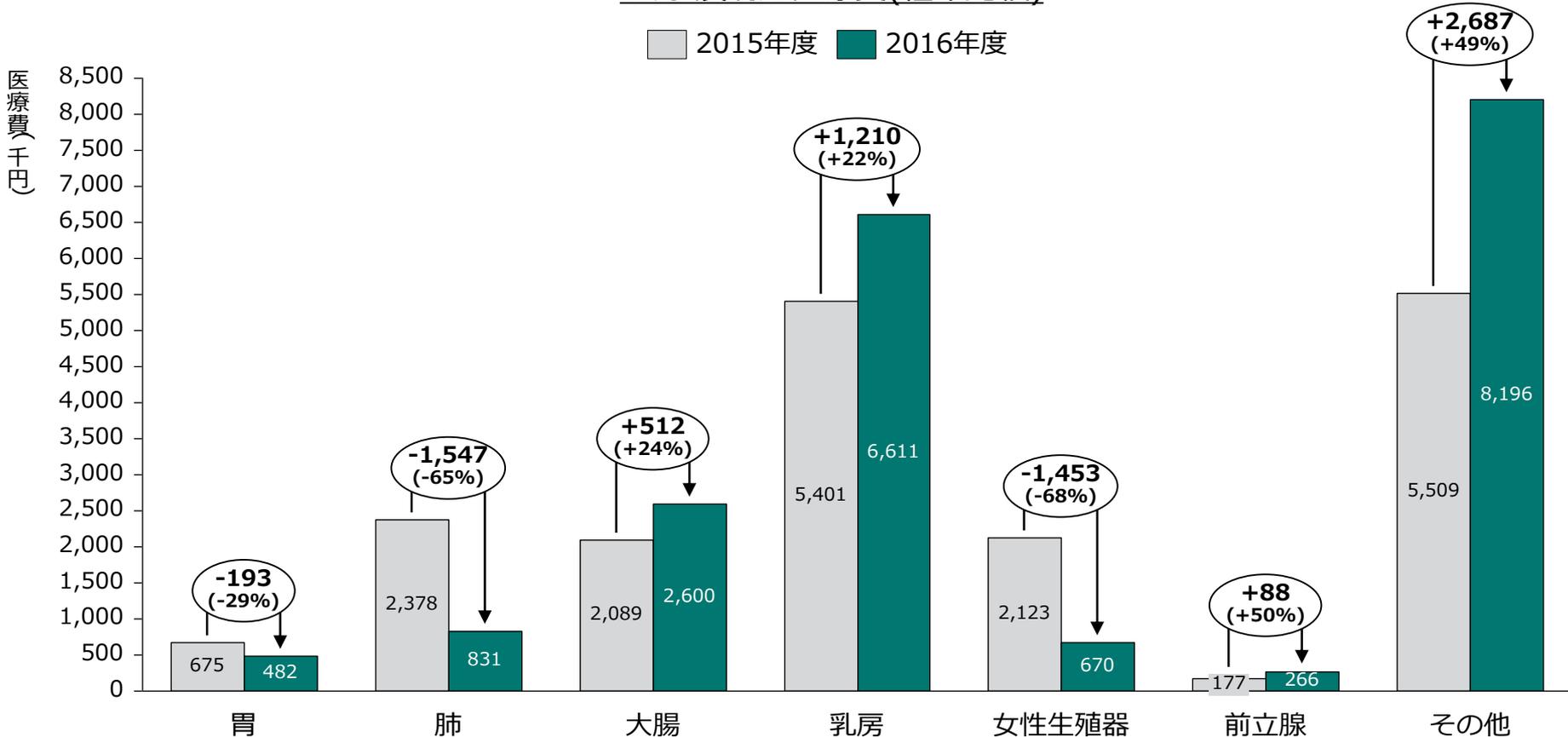


被扶養者



その他を除くがん種別では乳がんの医療費が最も高く
前年比でも医療費1,210千円増加している

がん 疾病別医療費(経年比較)



※PDM法で算出

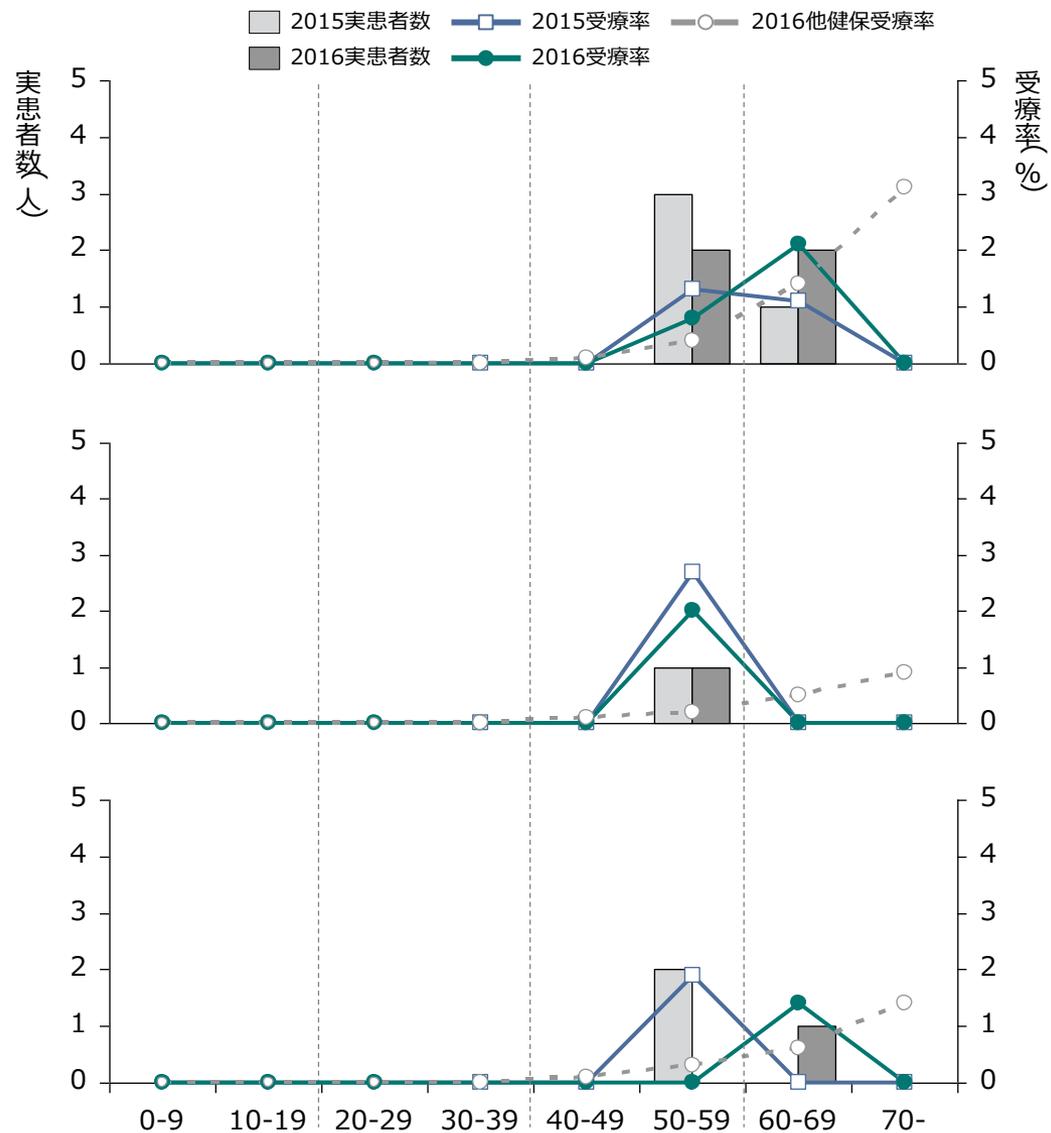
がん分析 〈胃の悪性腫瘍〉

■ ICD10コード：C16
 ■ 疑い傷病：含まない

男性被保険者

女性被保険者

被扶養者



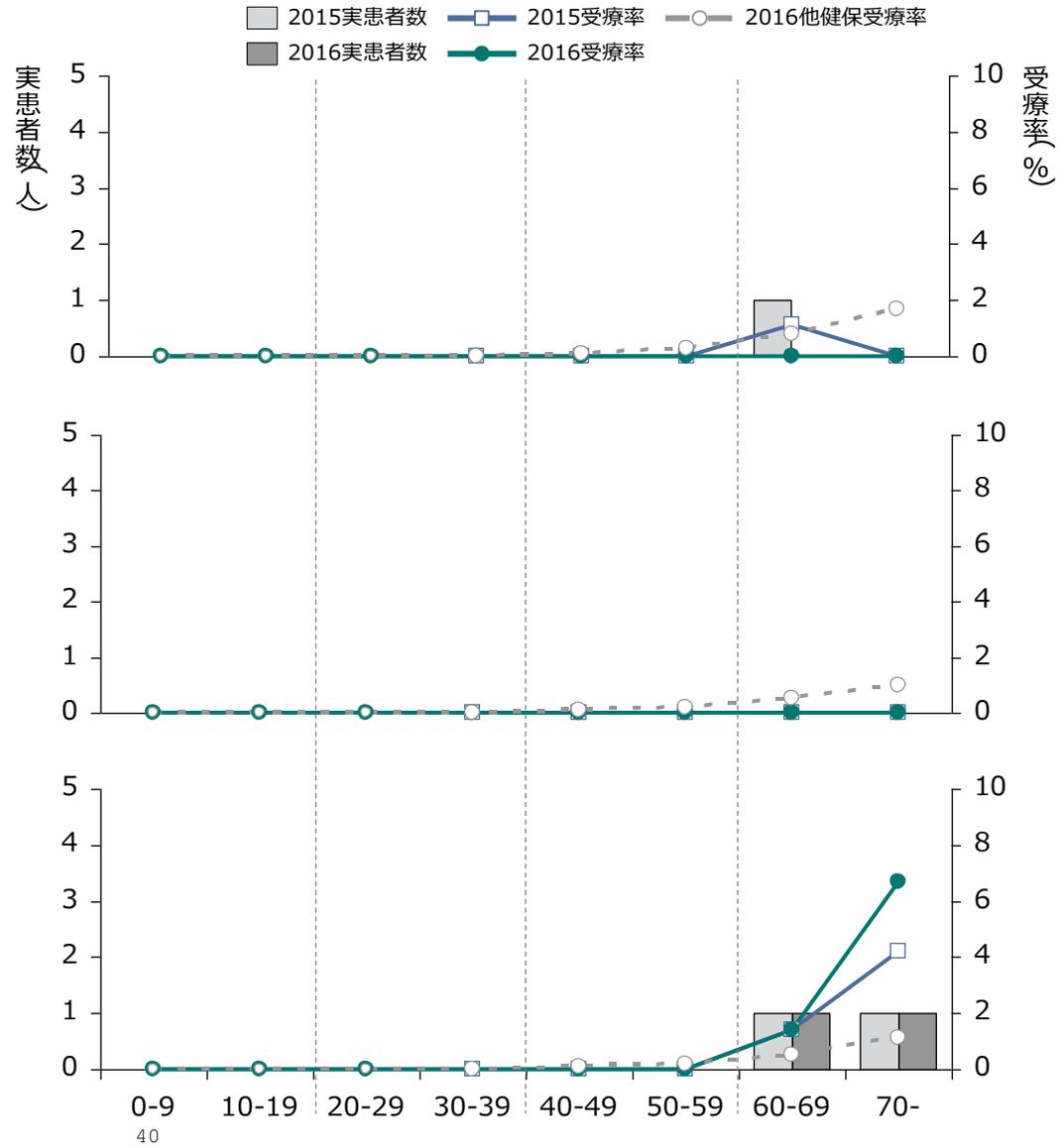
がん分析 〈肺の悪性腫瘍〉

■ ICD10コード：C34
 ■ 疑い傷病：含まない

男性被保険者

女性被保険者

被扶養者



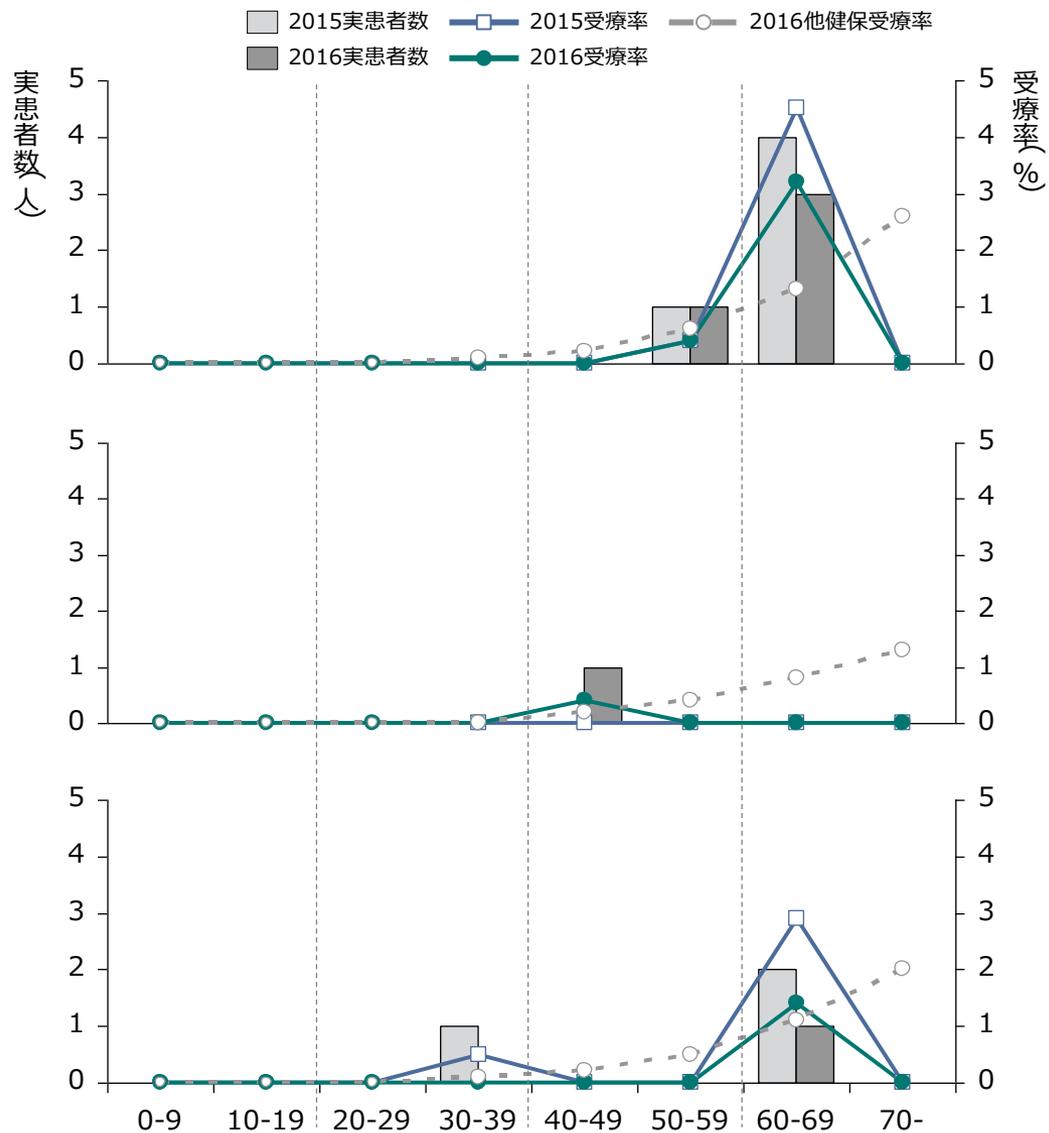
がん分析〈大腸の悪性腫瘍〉

■ ICD10コード：C18-C20
 ■ 疑い傷病：含まない

男性被保険者

女性被保険者

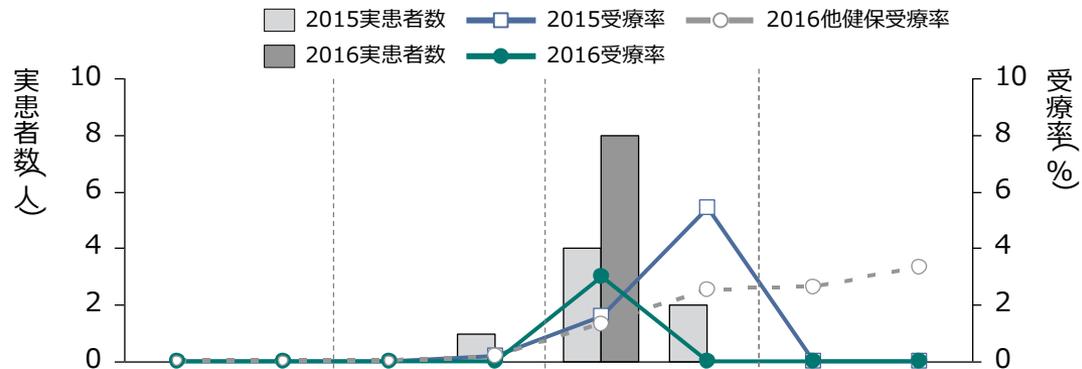
被扶養者



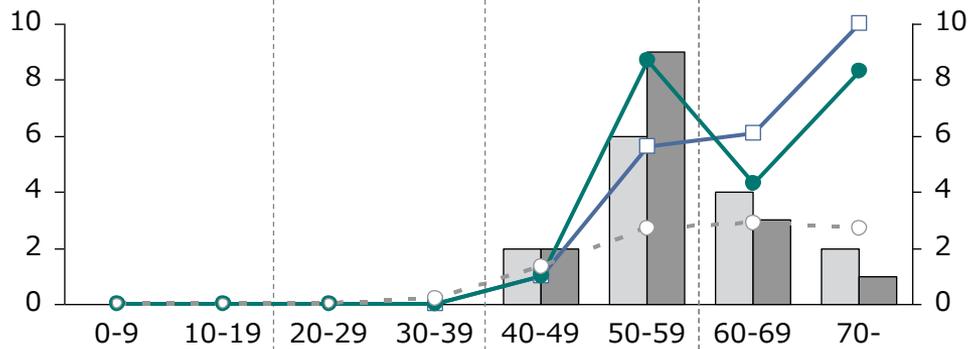
がん分析 〈乳房の悪性腫瘍〉

■ ICD10コード：C50
 ■ 疑い傷病：含まない

女性被保険者



女性被扶養者

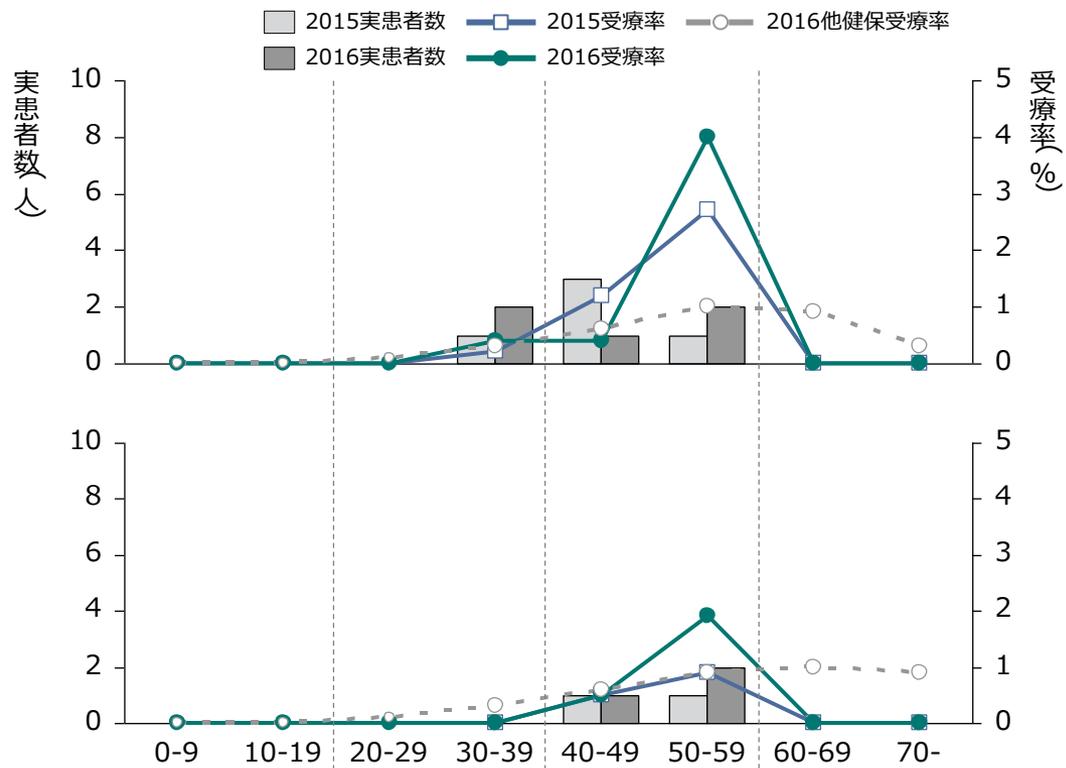


がん分析 〈女性生殖器の悪性腫瘍〉

■ ICD10コード：C51-C58
 ■ 疑い傷病：含まない

女性被保険者

女性被扶養者

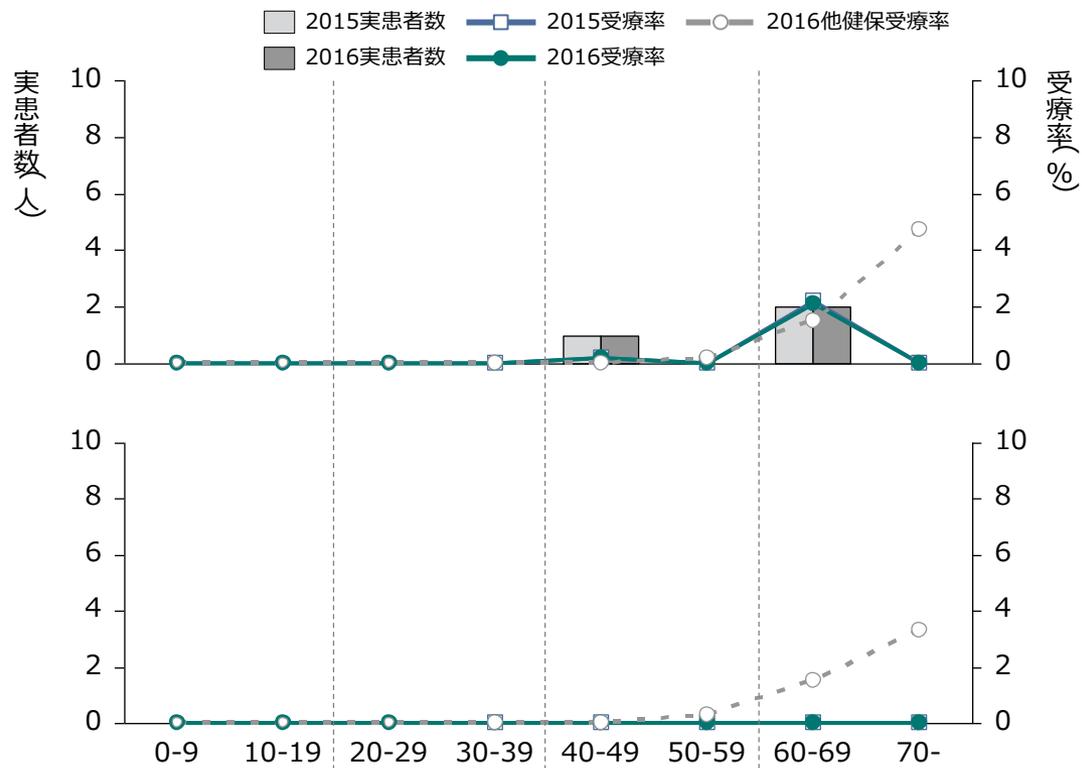


がん分析 〈前立腺の悪性腫瘍〉

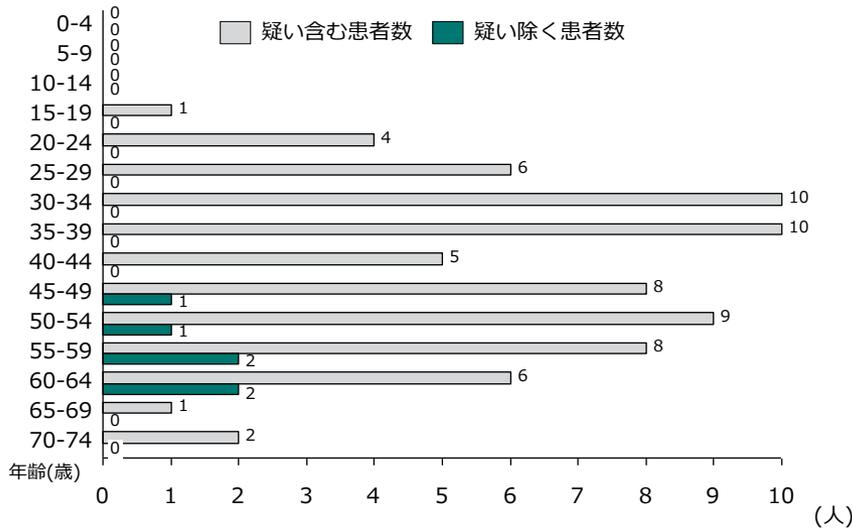
■ ICD10コード：C61
 ■ 疑い傷病：含まない

男性被保険者

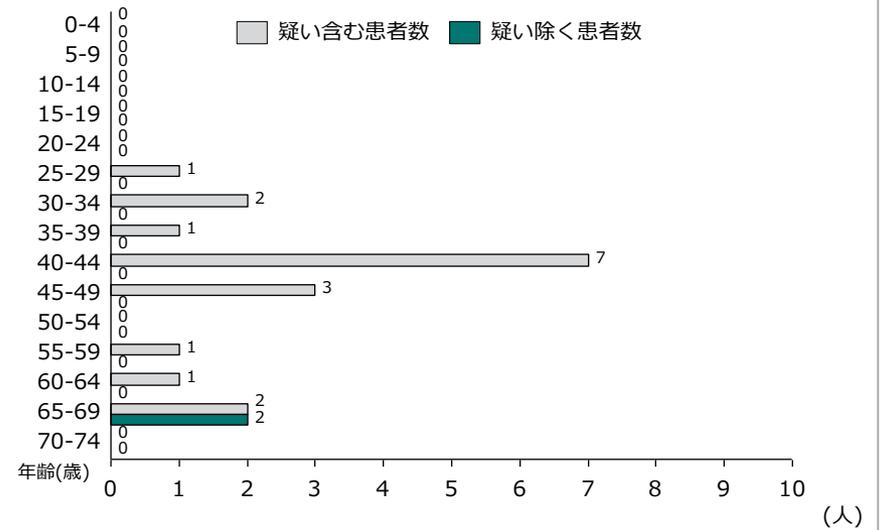
男性被扶養者



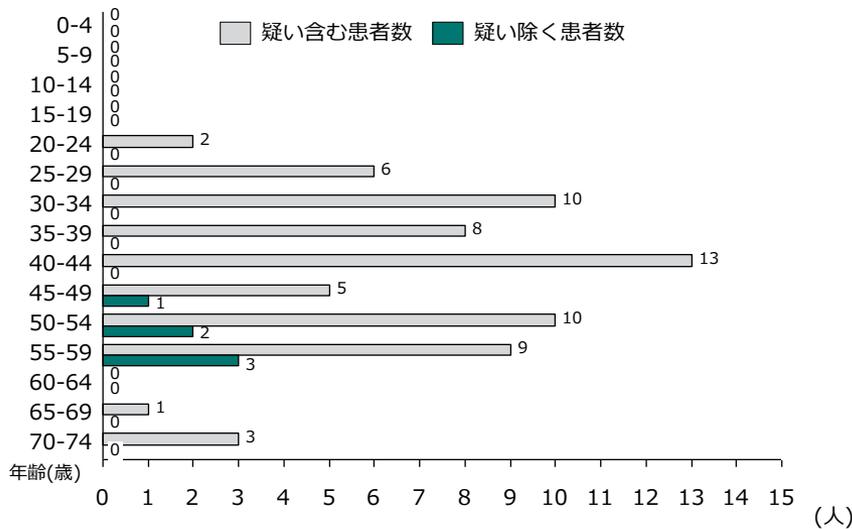
大腸の悪性腫瘍



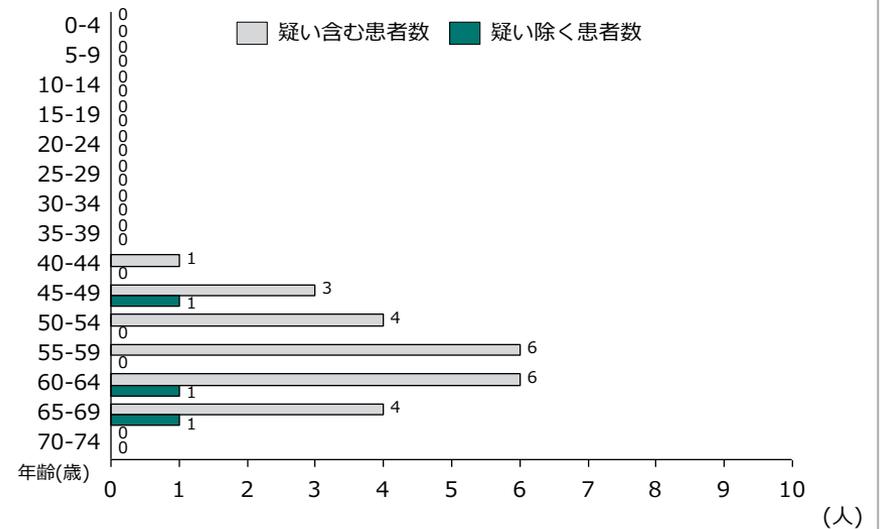
肺の悪性腫瘍



胃の悪性腫瘍



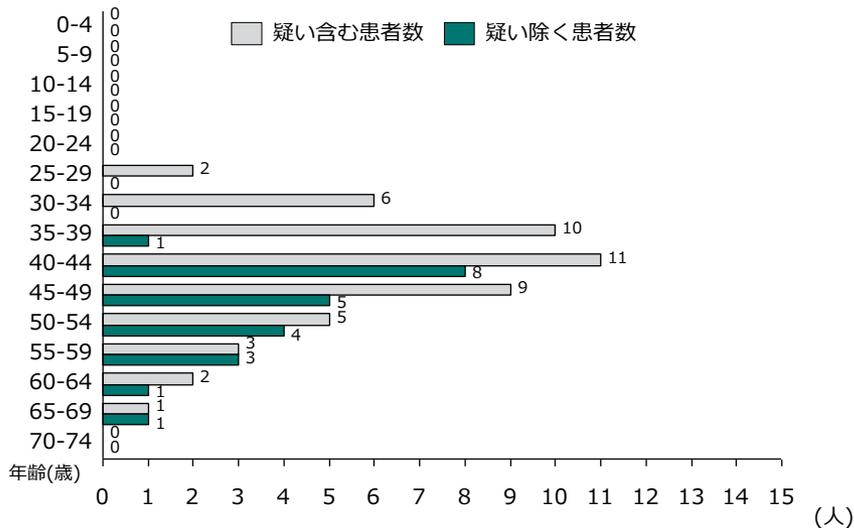
前立腺の悪性腫瘍



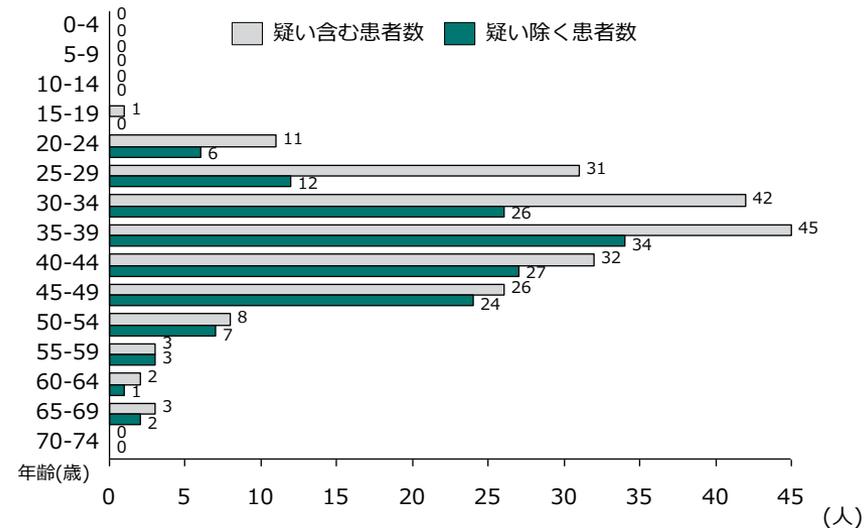
がん分析 《診療開始日年齢分析》 (1/2)

■ ICD10コード： ICD10コード：乳房C50-C55、D06、D25、D27、D28、D39
 ■ 患者数：該当傷病で初めて診療開始日となった際の年齢で患者数を集計

乳房の悪性腫瘍



子宮等の悪性腫瘍

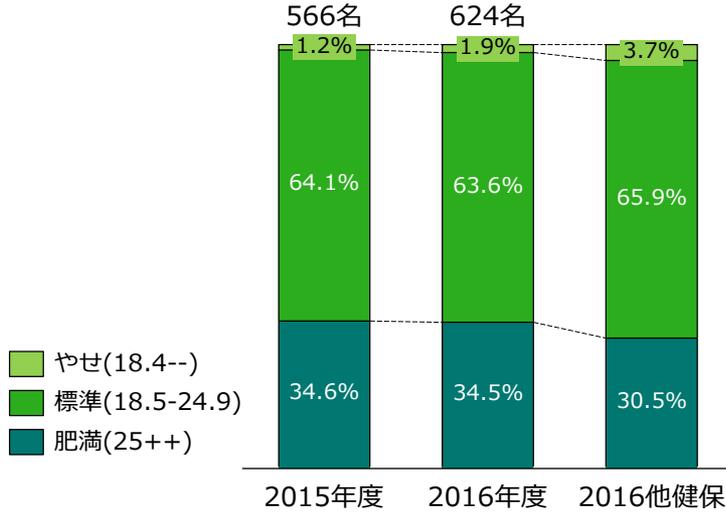


※子宮の悪性腫瘍の他、子宮平滑筋腫や卵巣の良性新生物などを含む

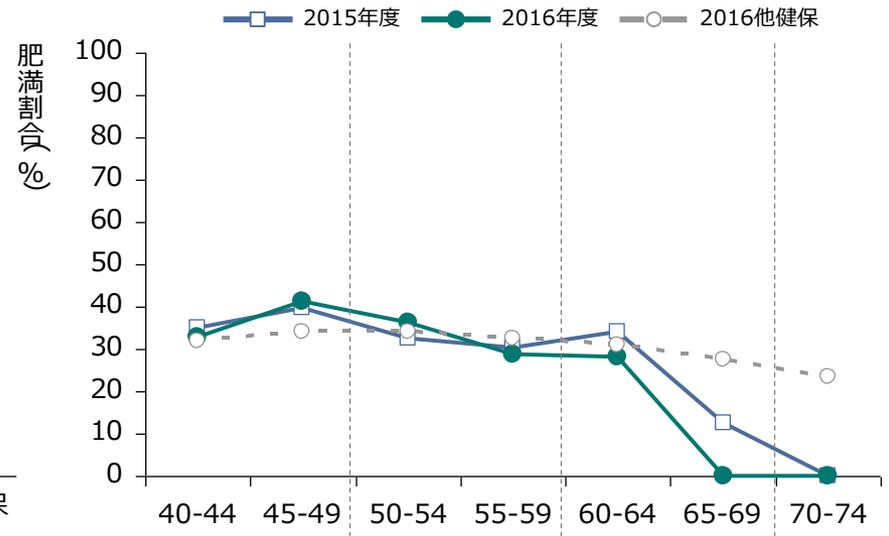
健診分析 〈BMI肥満度〉

男性被保険者

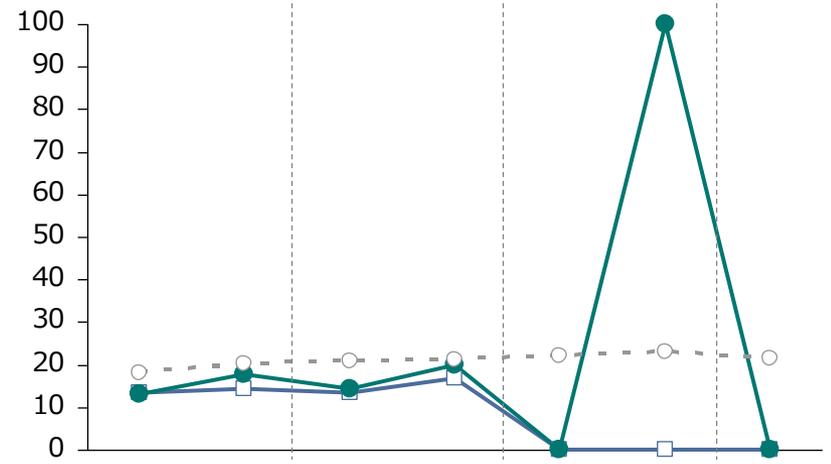
構成比率(他健保比較)



年齢別 肥満率(他健保比較)

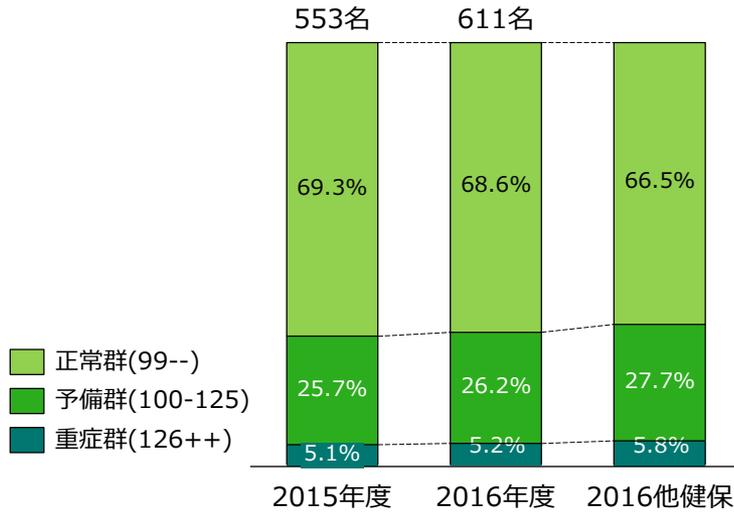


女性被保険者

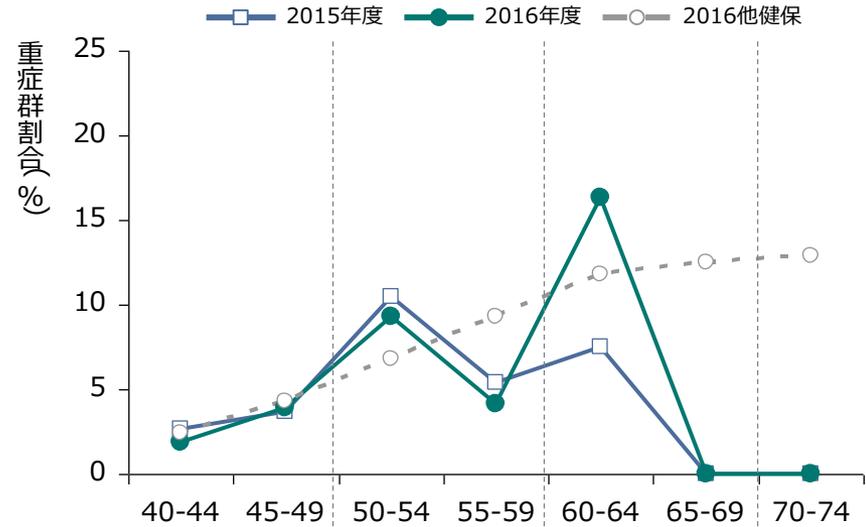


男性被保険者

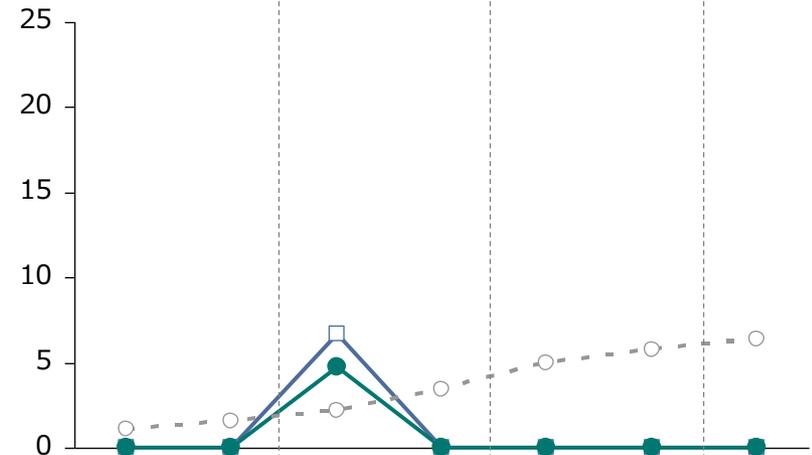
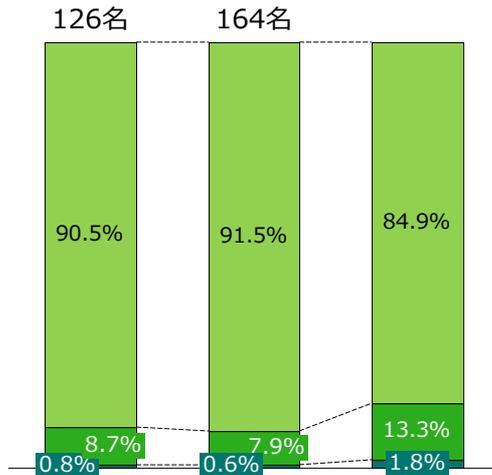
構成比率(他健保比較)



年齢別 重症群率(他健保比較)

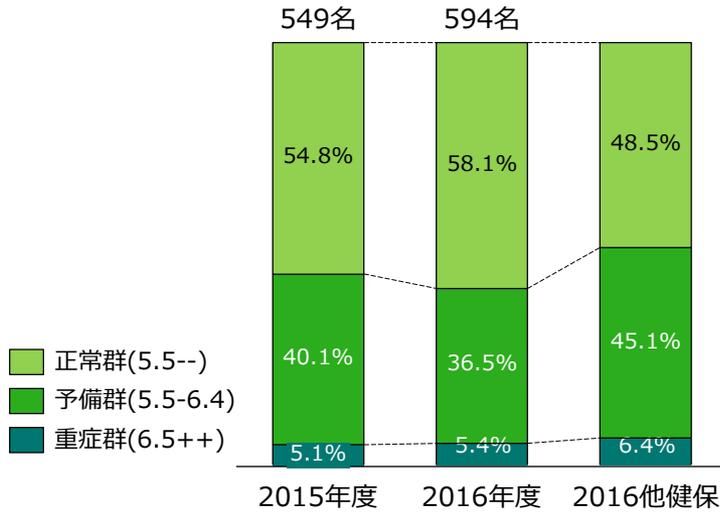


女性被保険者

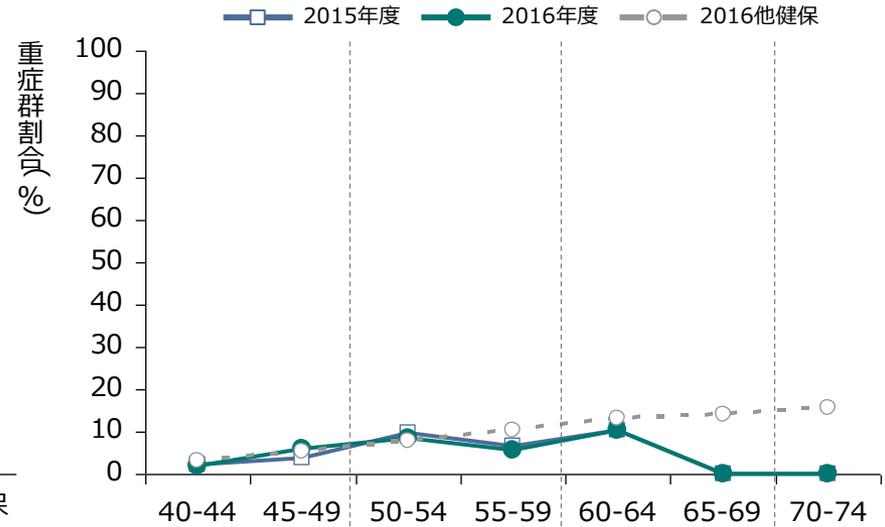


男性被保険者

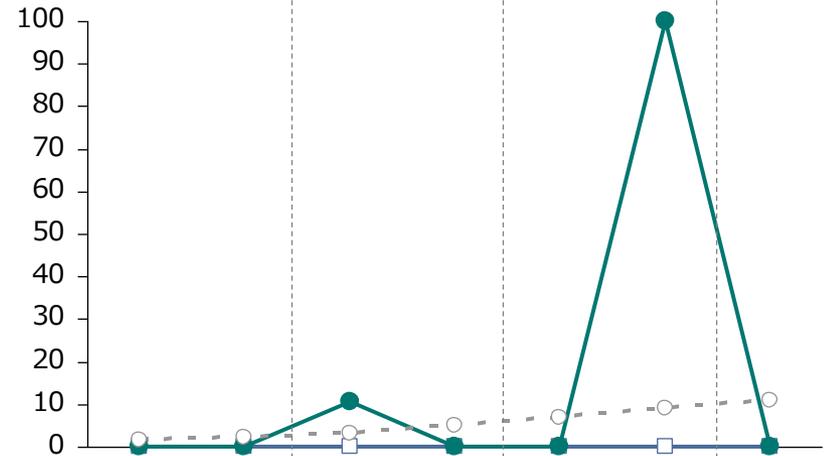
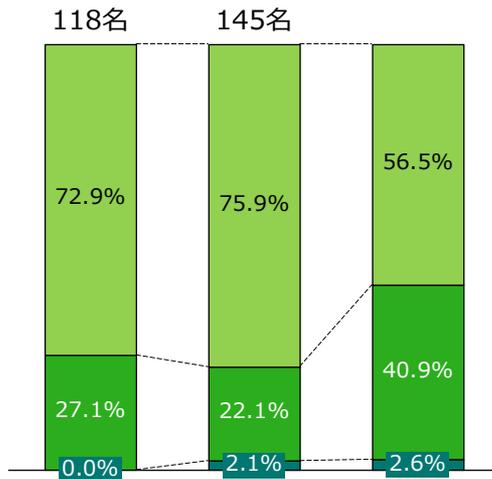
構成比率(他健保比較)



年齢別 重症群率(他健保比較)

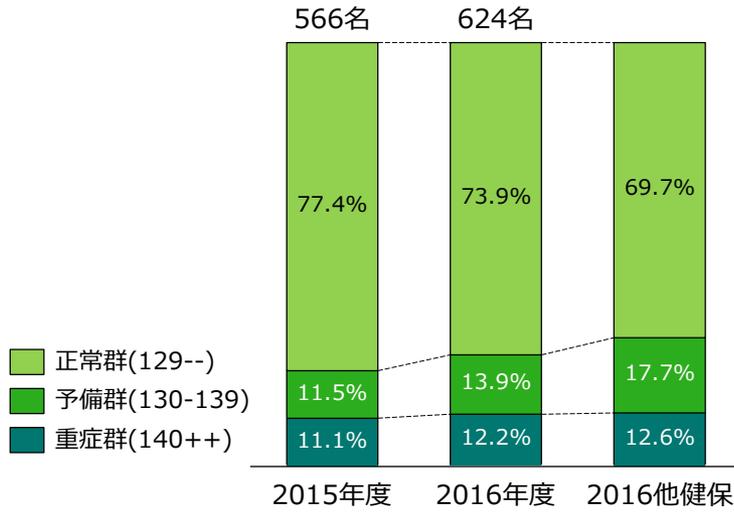


女性被保険者

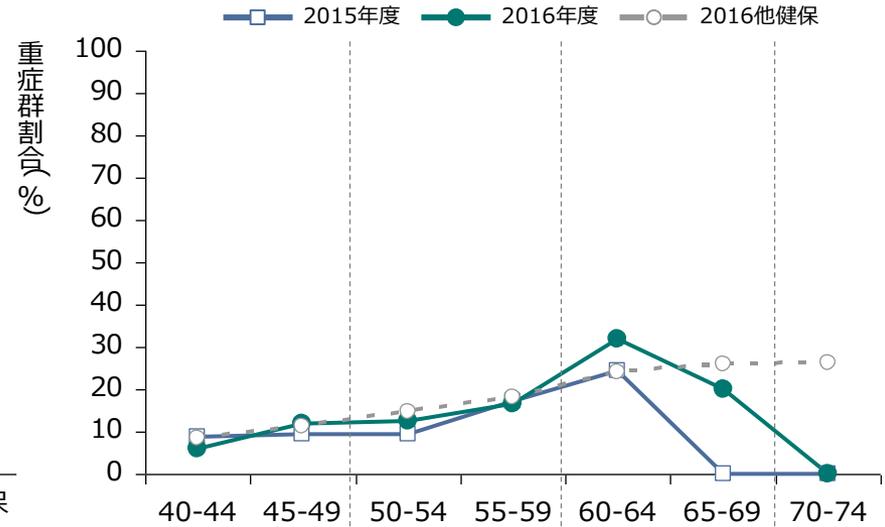


男性被保険者

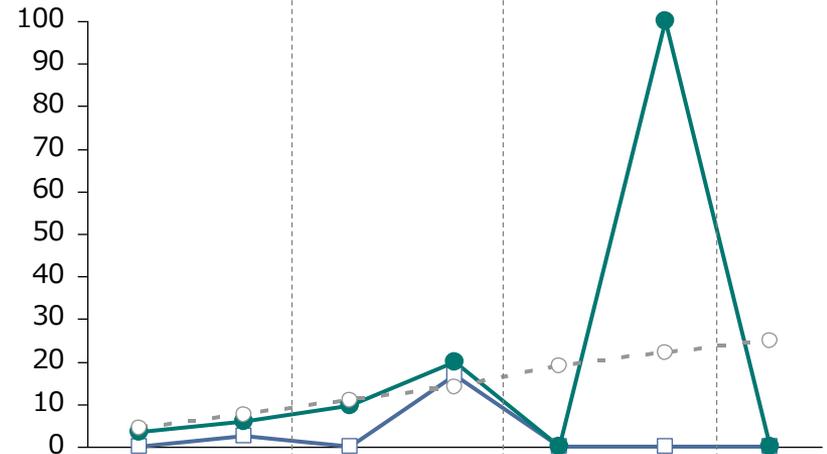
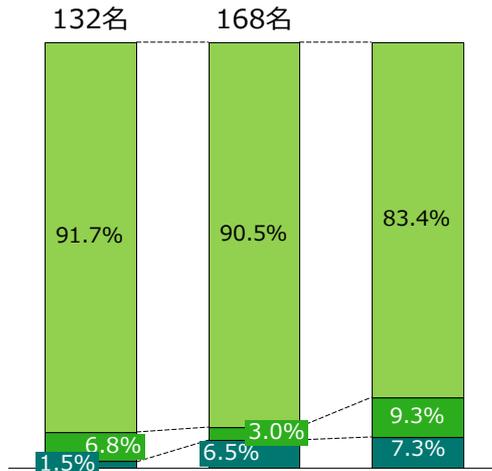
構成比率(他健保比較)



年齢別 重症群率(他健保比較)

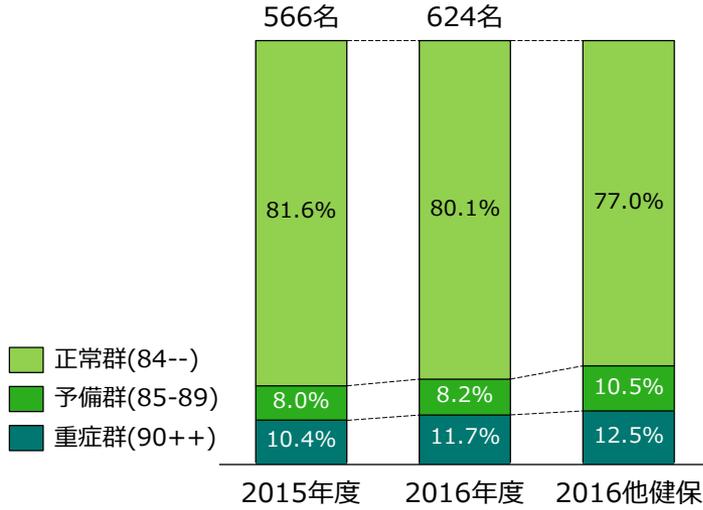


女性被保険者

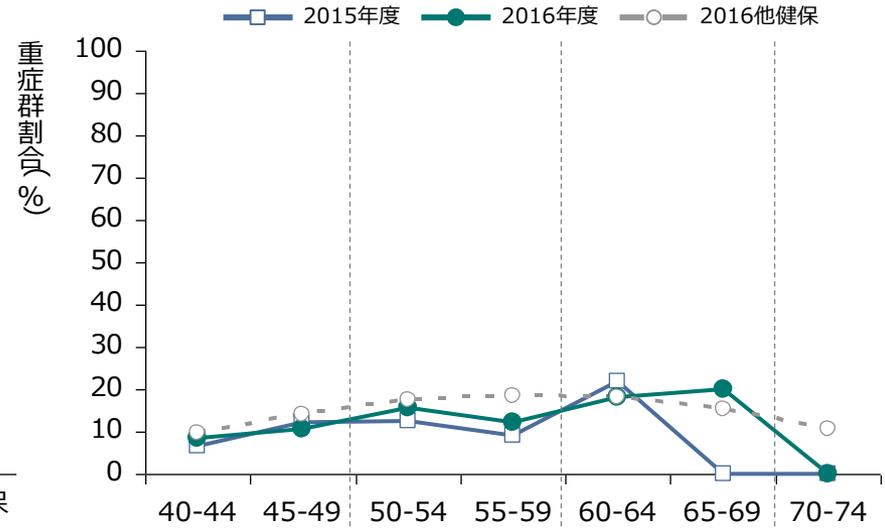


男性被保険者

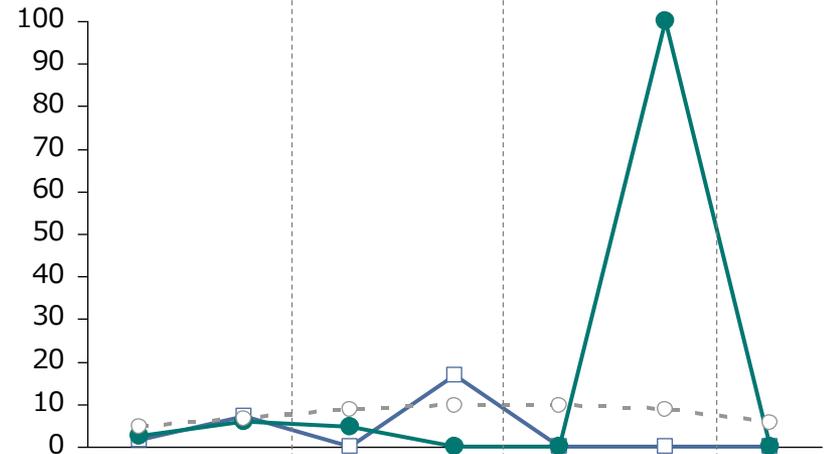
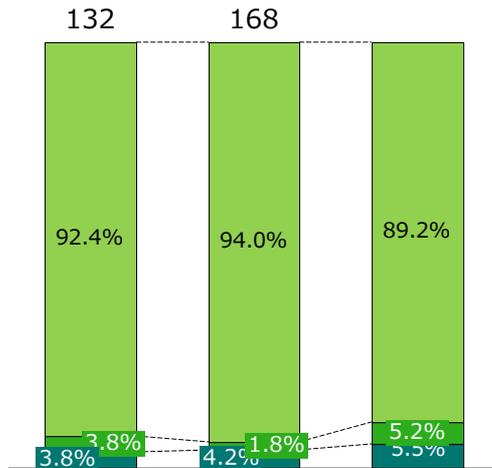
構成比率(他健保比較)



年齢別 重症群率(他健保比較)

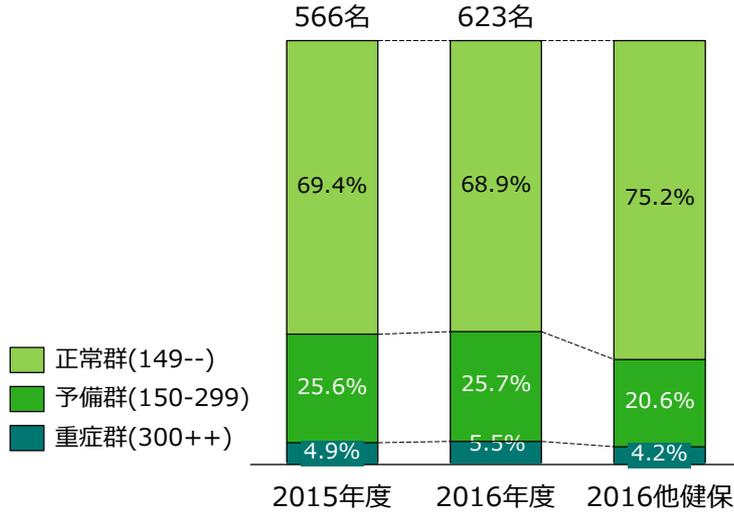


女性被保険者

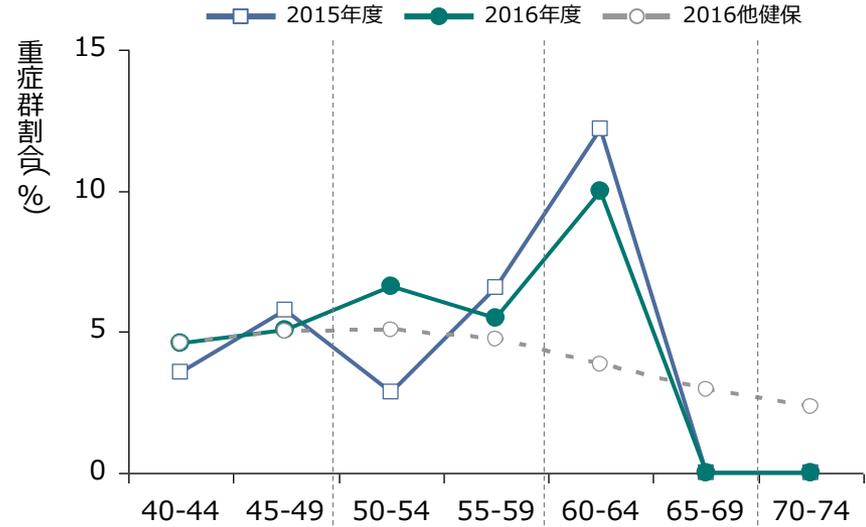


男性被保険者

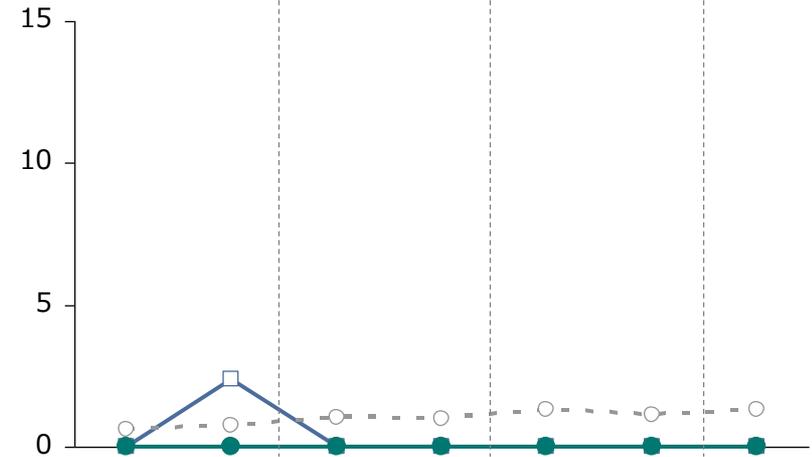
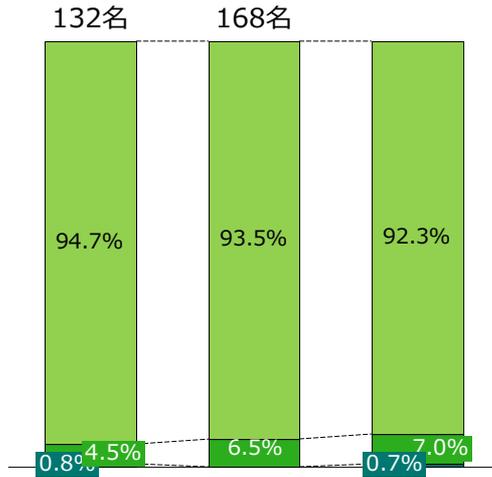
構成比率(他健保比較)



年齢別 重症群率(他健保比較)



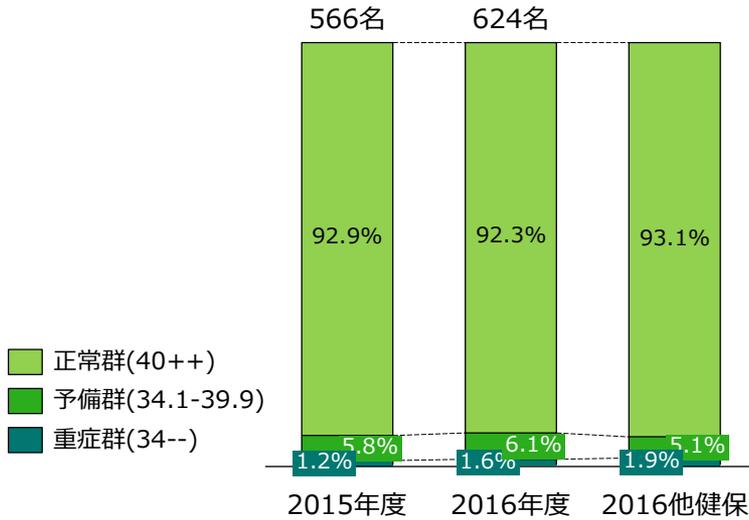
女性被保険者



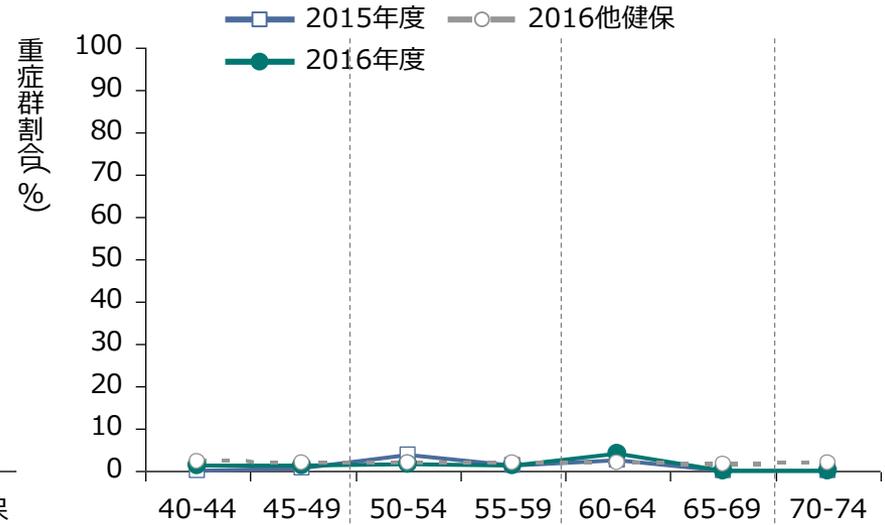
健診分析 〈HDLコレステロール〉

男性被保険者

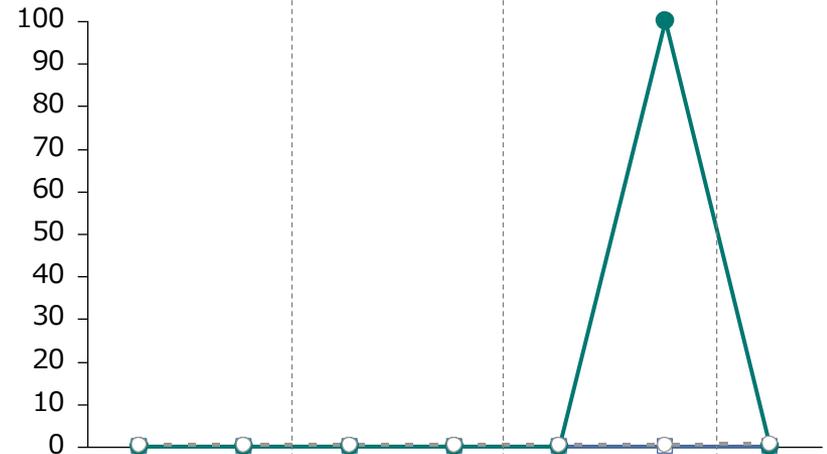
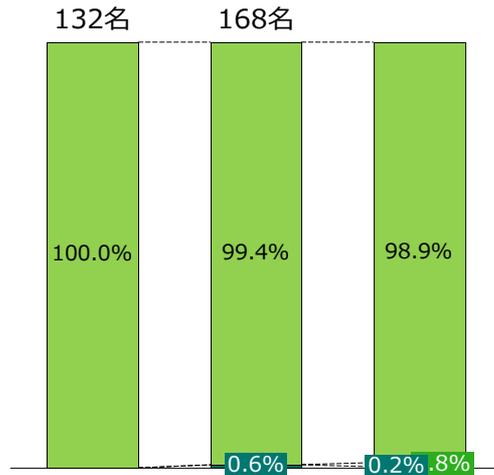
構成比率(他健保比較)



年齢別 重症群率(他健保比較)



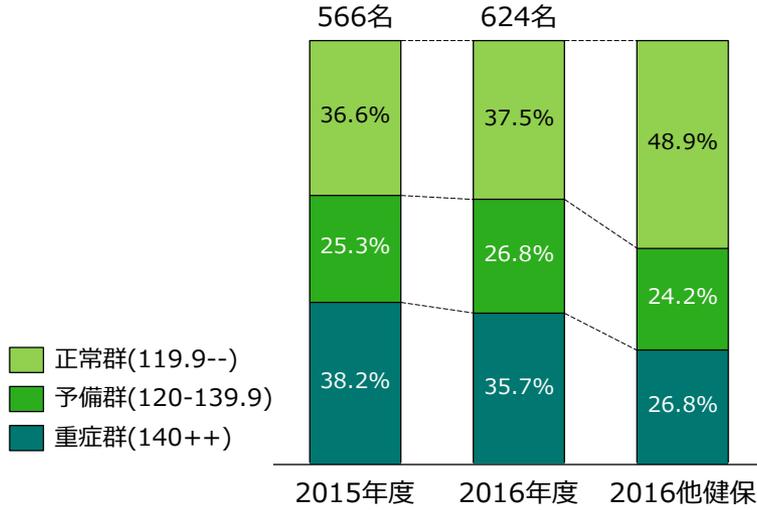
女性被保険者



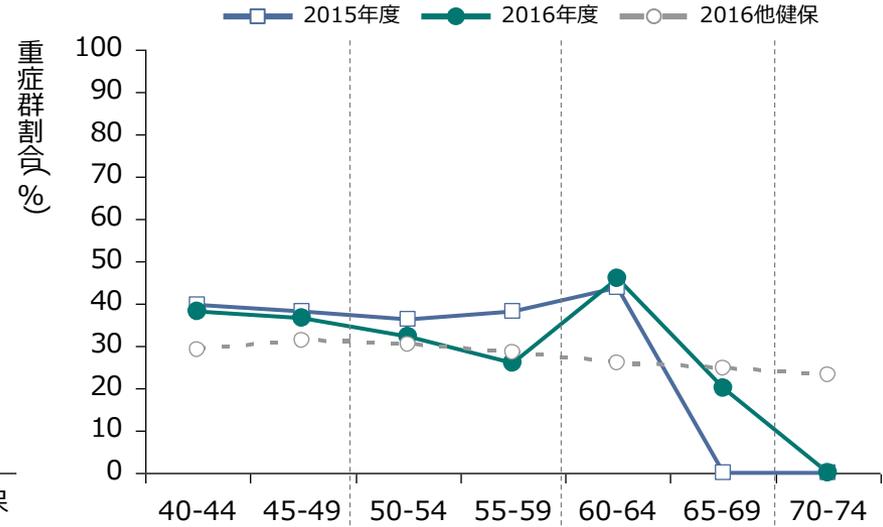
健診分析 〈LDLコレステロール〉

男性被保険者

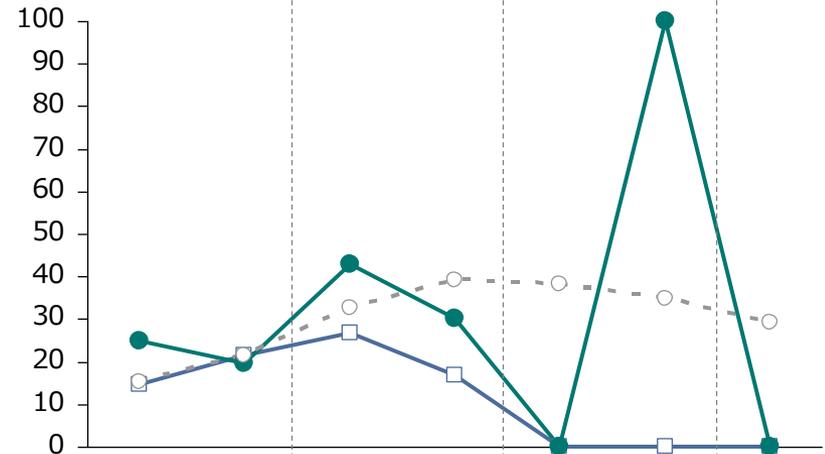
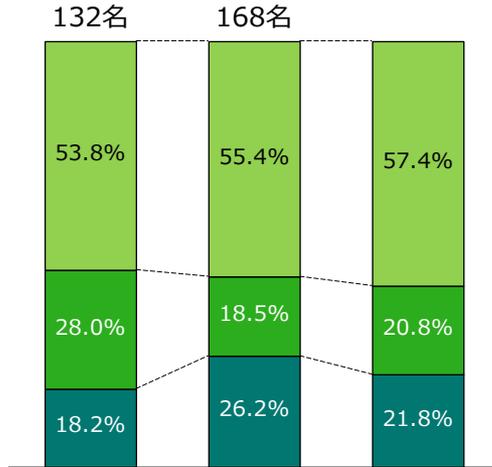
構成比率(他健保比較)



年齢別 重症群率(他健保比較)



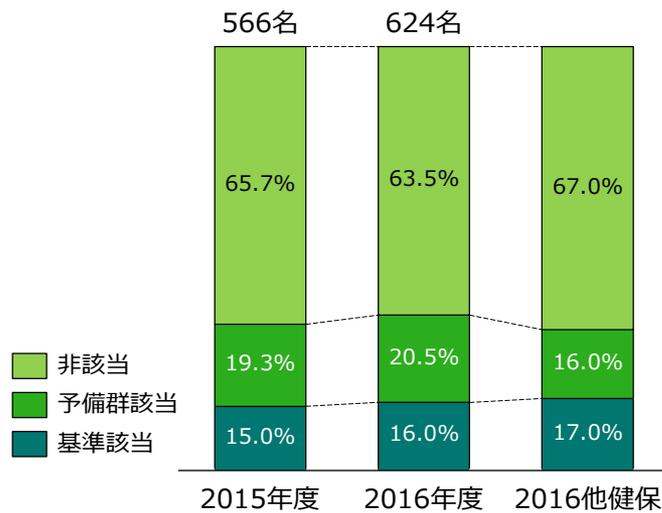
女性被保険者



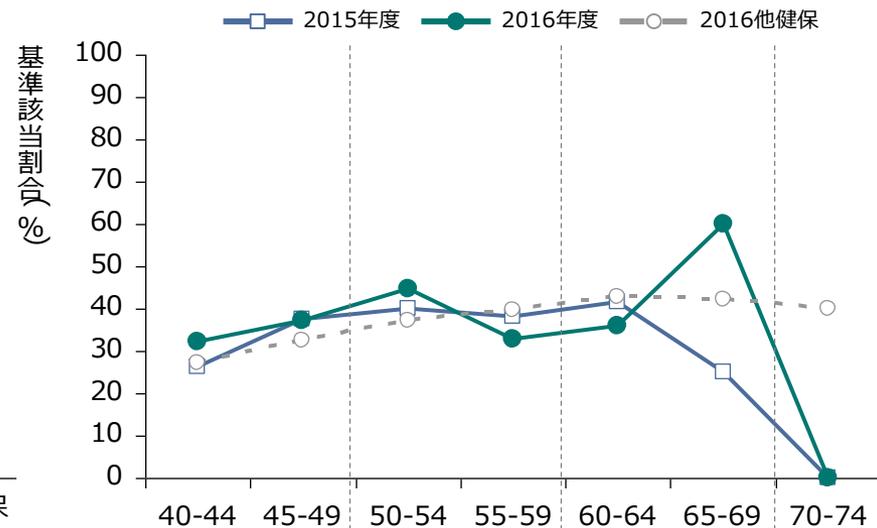
健診分析〈メタボリックシンドローム判定〉

男性被保険者

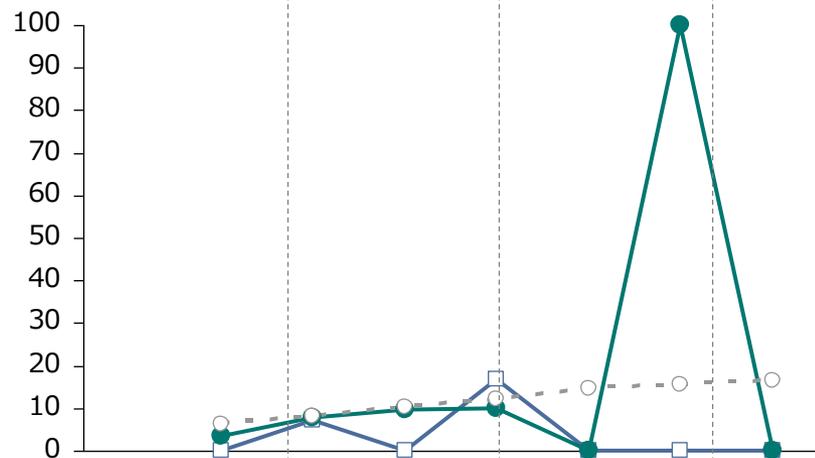
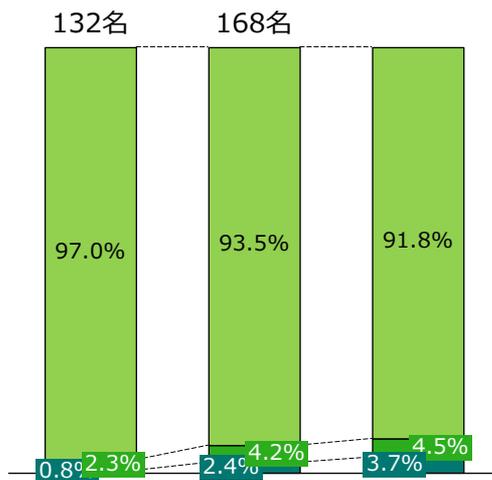
構成比率(他健保比較)



年齢別 基準・予備群該当率(他健保比較)



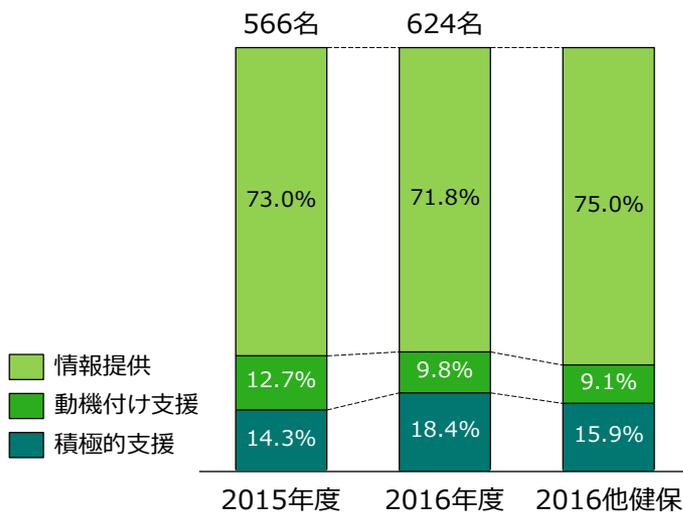
女性被保険者



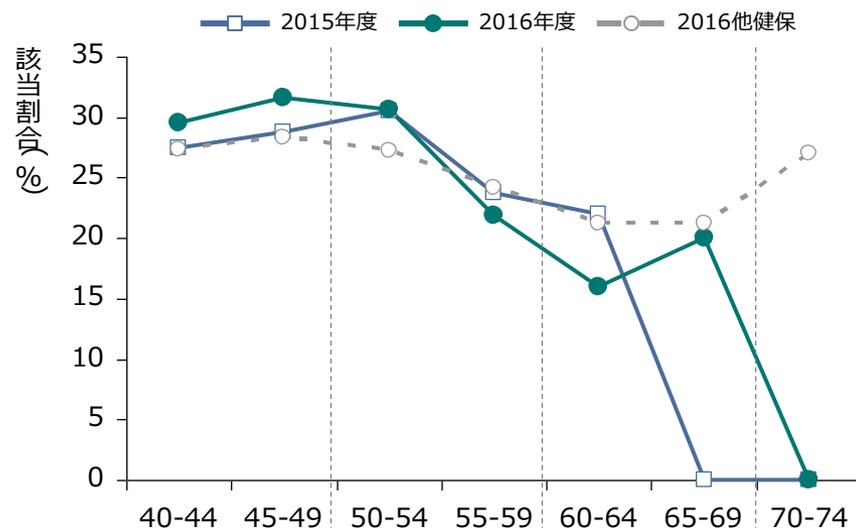
男性被保険者の特定保健指導該当率28.2で、他健保と比べ3.2ポイント高い

男性被保険者

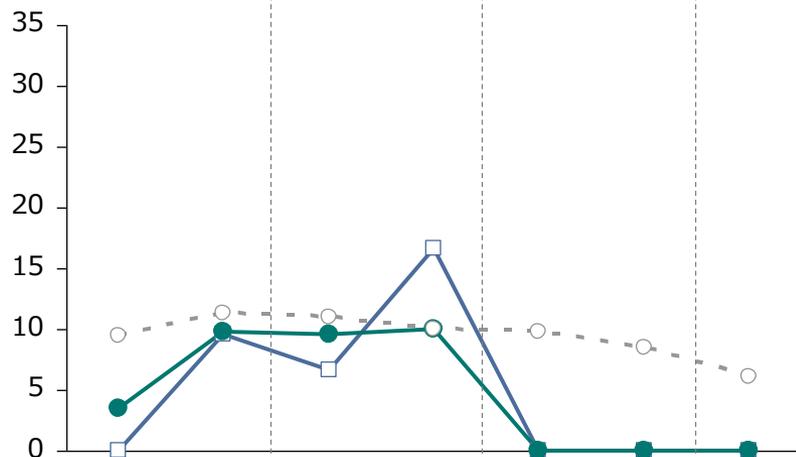
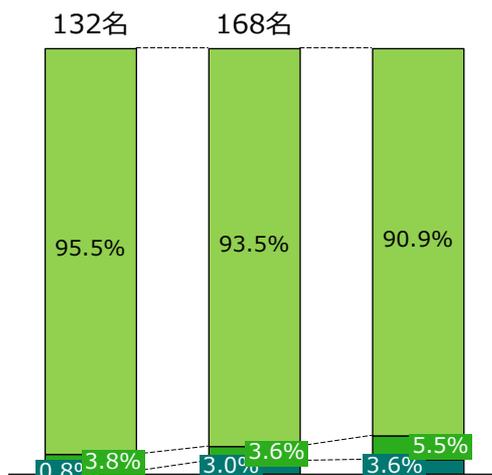
構成比率(他健保比較)



年齢別 積極的・動機付け該当率(他健保比較)

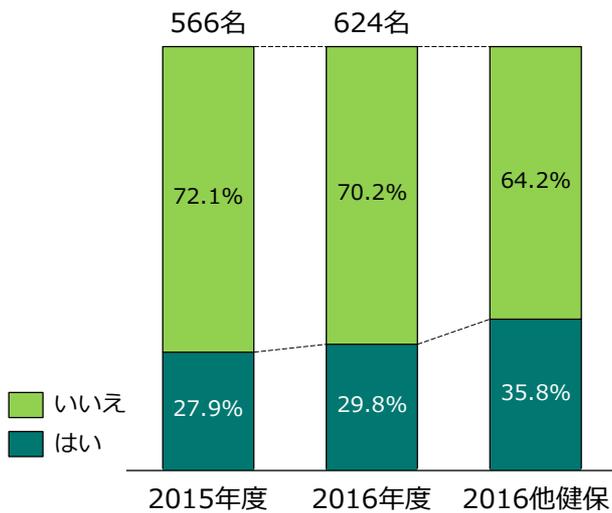


女性被保険者

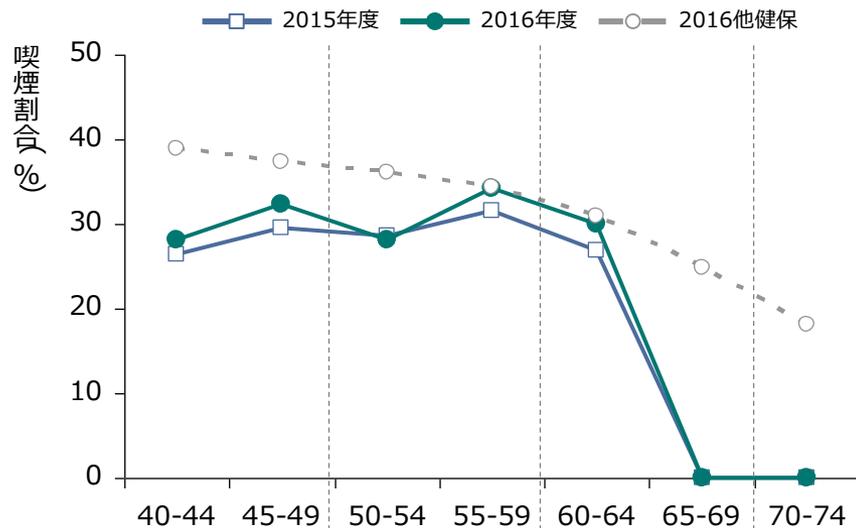


男性被保険者

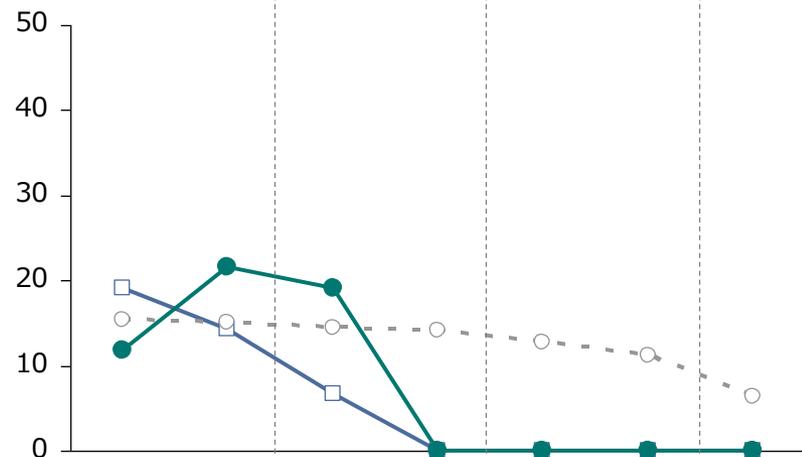
構成比率(他健保比較)



年齢別 喫煙率(他健保比較)

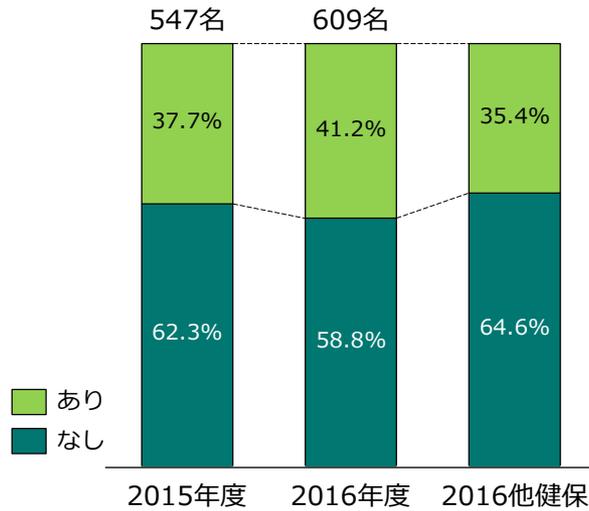


女性保険者

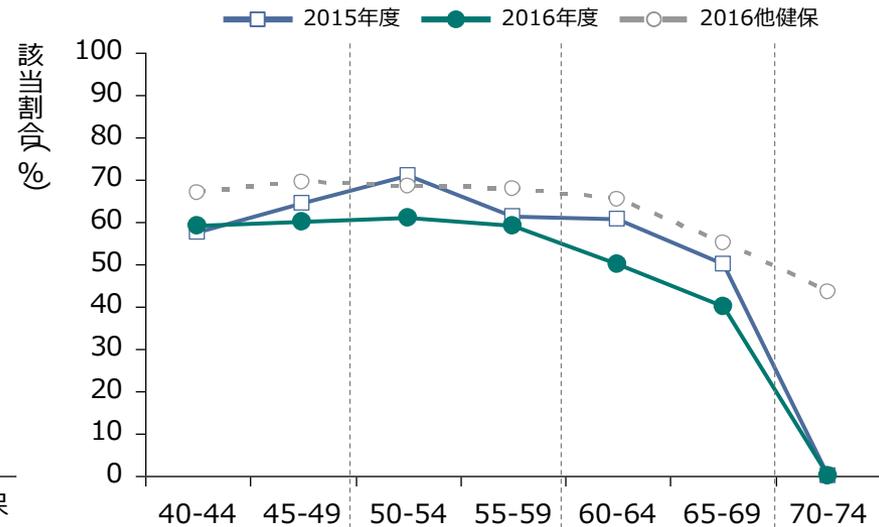


男性被保険者

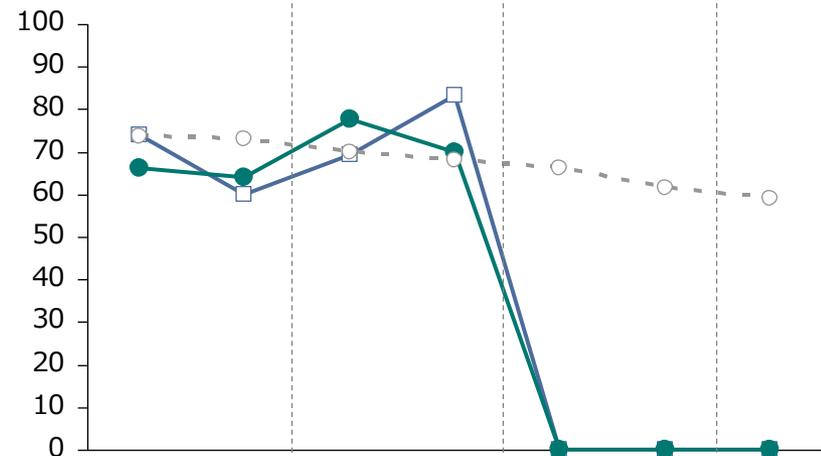
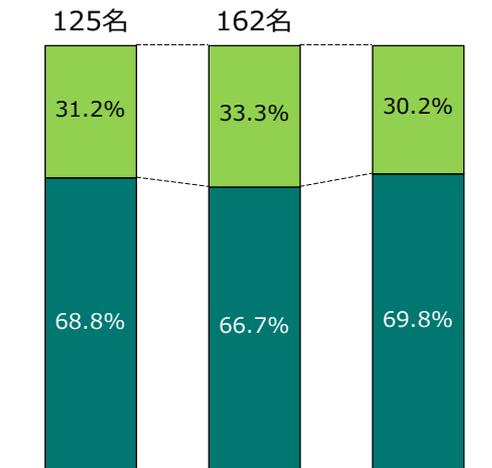
構成比率(他健保比較)



年齢別 運動習慣なし(他健保比較)



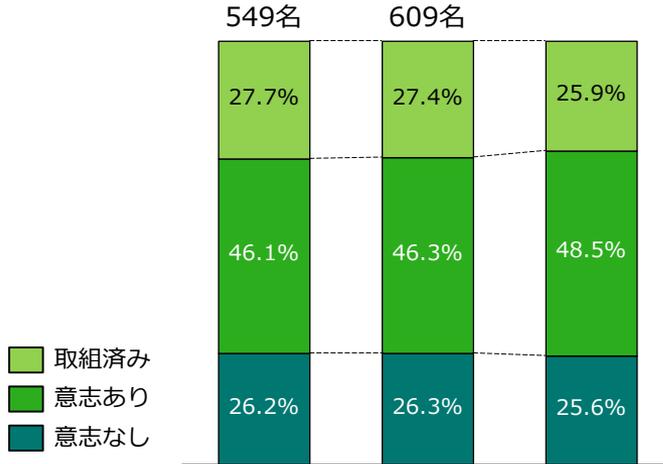
女性保険者



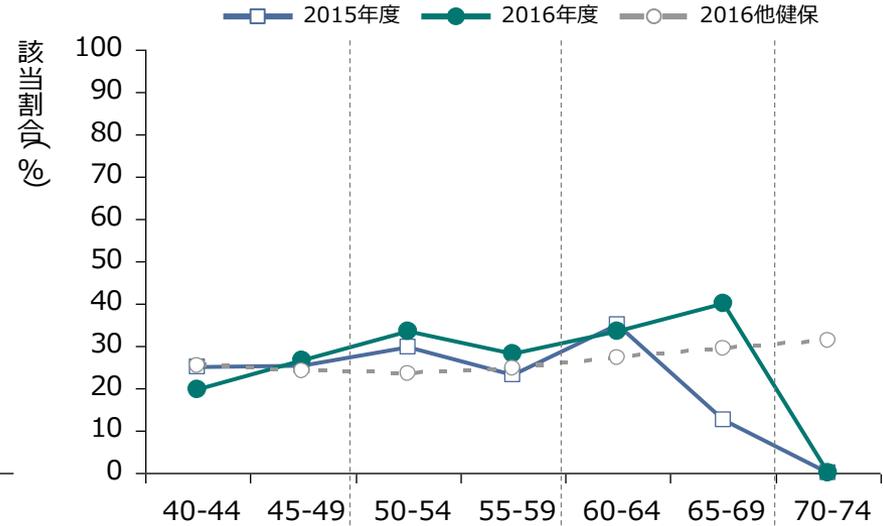
■運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか
 取組済み ④既に改善に取り組んでいる(概ね6か月未満)、⑤既に改善に取り組んでいる(6か月以上)
 意志あり ②改善するつもりである(概ね6か月以内)
 ③近いうち(概ね1か月以内)改善するつもりであり、少しずつ始めている
 意志なし ①改善するつもりはない

男性被保険者

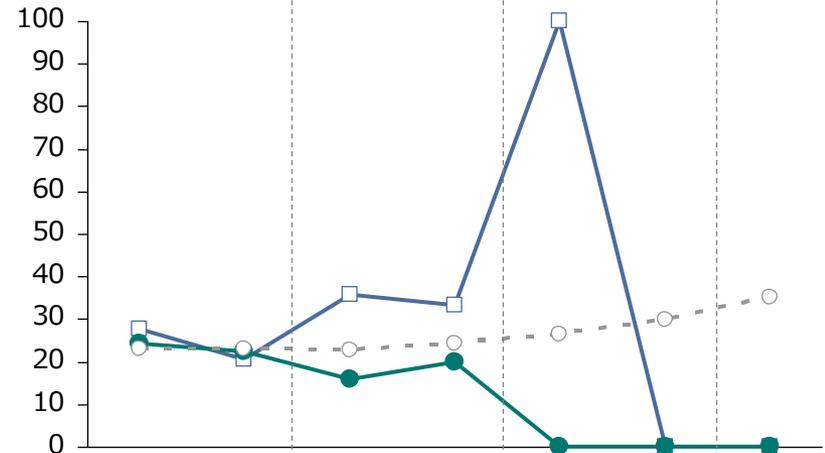
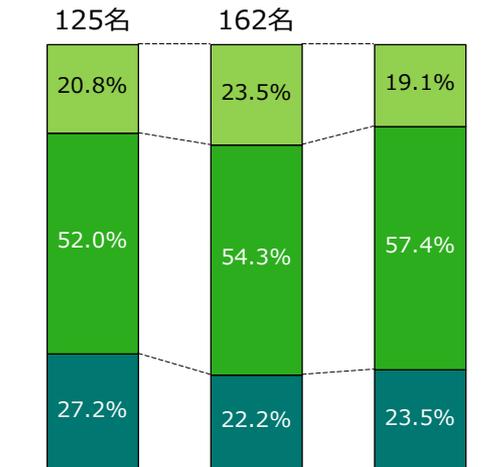
構成比率(他健保比較)



年齢別 改善意志なし(他健保比較)



女性被保険者





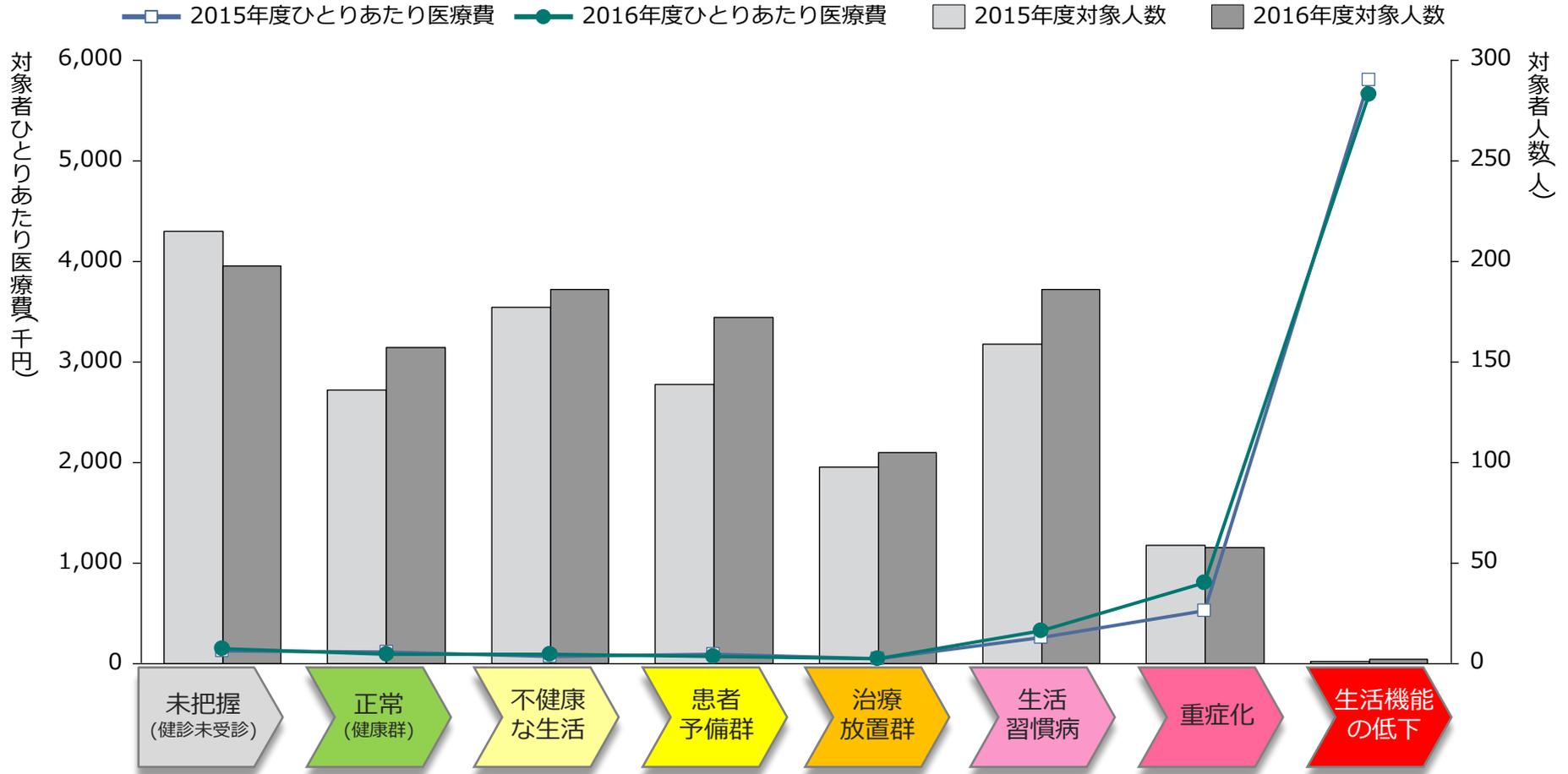
2016年度 上段 [該当者人数] 下段 [構成割合]								
198	157	186	172	105	186	58	2	
18.6%	14.8%	17.5%	16.2%	9.9%	17.5%	5.5%	0.2%	

2015年度 上段 [該当者人数] 下段 [構成割合]								
215	136	177	139	98	159	59	1	
21.8%	13.8%	18.0%	14.1%	10.0%	16.2%	6.0%	0.1%	

2016年度 他健保構成割合								
6.1%	14.5%	23.7%	15.7%	9.4%	22.8%	7.5%	0.3%	

リスク階層が高くなるほど一人医療費が増加

階層別対象者ひとりあたり医療費及び人数



- 対象者：2016年度継続加入者の内、2016年度健診未受診者
- 所見定義：特定保健指導域の検査数値
- 通院履歴定義：下記いずれかに該当(2016年度内)
 - ・3か月に1回以上の通院有り(医科レセプト全て)
 - ・6ヶ月で生活習慣病の血液検査が1回以上有り

健診未受診者を各パターン別に分類

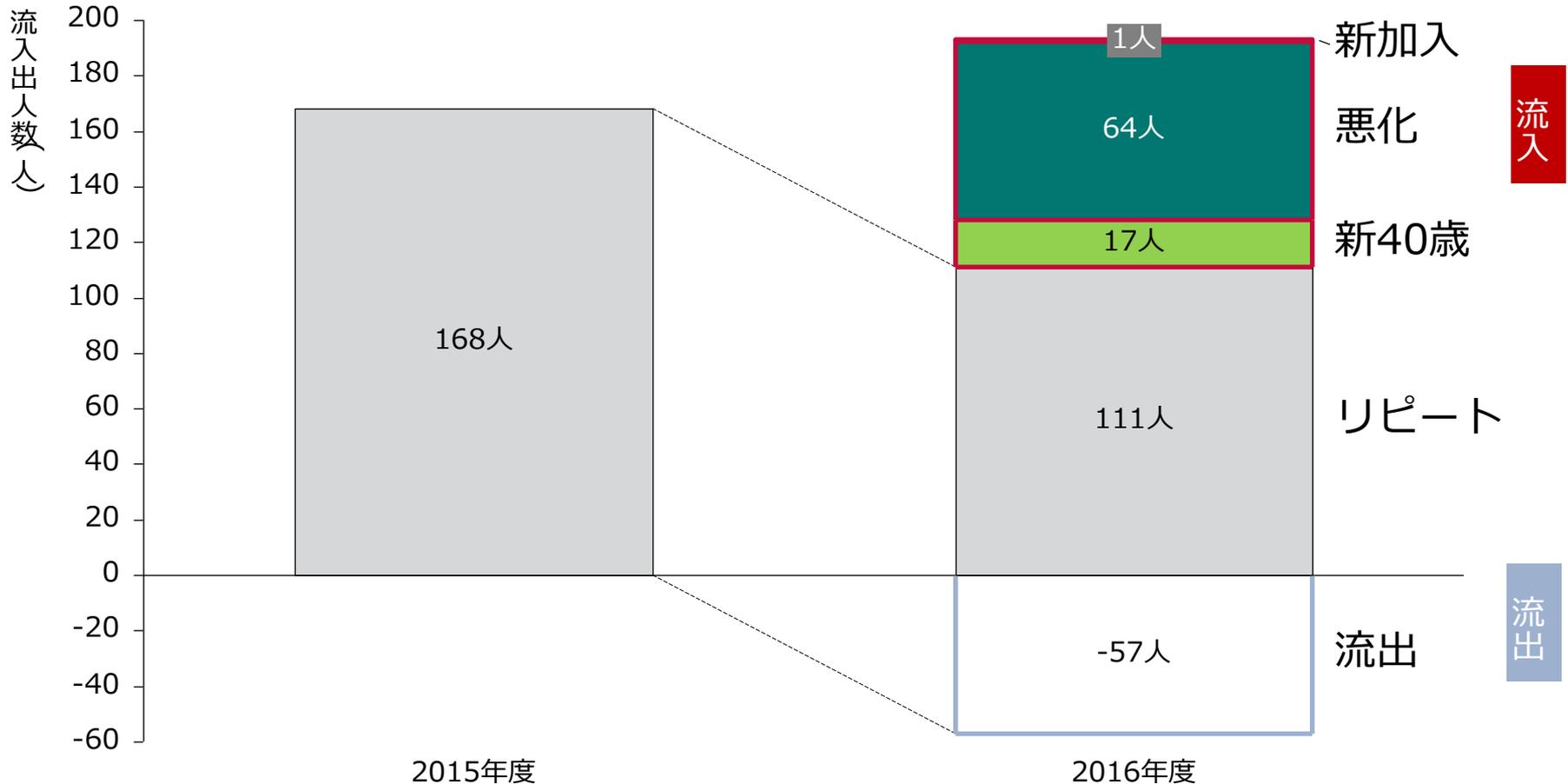
被扶養者の78.9%は、2年連続健診未受診者で占められてる

2016年度 未受診背景類推型パターン分析

分類	2015年度 健診有無	2015年度 所見有無	通院 履歴	被保険者		被扶養者	
				人数	構成	人数	構成
パターン①	○	○	○	18	7.2%	7	7.8%
パターン②	○	○	×	24	9.6%	4	4.4%
パターン③	○	×	○	7	2.8%	4	4.4%
パターン④	○	×	×	8	3.2%	4	4.4%
パターン⑤	×	-	○	89	35.7%	38	42.2%
パターン⑥	×	-	×	103	41.4%	33	36.7%
合計				249		90	

2015年度対象者168人から2016年度193人に増加
 新たに指導対象者になった悪化群82人の内64人(78.0%)は悪化群である

特定保健指導対象者 流入出状況



対象者245人の内16人は高リスク者である

健診値

リスク層別 治療放置状況分析	低	中	高
	空腹時血糖： 126mg/dl以上又は HbA1c6.5%以上	空腹時血糖： 140mg/dl以上又は HbA1c7.0%以上	空腹時血糖： 150mg/dl以上又は HbA1c8.0%以上
	血圧： 90又は140mmHg以上	血圧： 100又は160mmHg以上	血圧： 110又は180mmHg以上
	中性脂肪： 300mg/dl以上 又はLDL：140以上 又はHDL：35未満	中性脂肪： 400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満	中性脂肪： 500mg/dl以上 又はLDL：200以上 又はHDL：25未満
1	135	69	11
2	16	8	3
3	0	1	2

(血糖・血圧・脂質)
有所見数

治療中断者24人の内、6人は健診値もアンコントロールである

対象者	追跡データ 生活習慣病レセプトor服薬情報 ※疑い含まず	健診結果	人数
当年度 血圧・血糖・脂質 服薬処方あり	中断 24 ※当年度1～3月に 生活習慣病での 通院実績なし	アンコントロール	6
		コントロール	6
		健診なし	12
	通院 120 ※生活習慣病での 通院実績あり	アンコントロール	48
		コントロール	29
		健診なし	43

- アンコントロール：下記いずれかに該当
 - ・血糖：空腹時126以上 or HbA1c6.5以上
 - ・血圧：90以上 or 140以上
 - ・脂質：中性脂肪：300以上 or LDL：140以上 or HDL：35未満
- コントロール：上記値に非該当
- 健診なし：健診データなし(未受診)

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ウ, アア	被保険者の健診受診率は75%、他の健保と比べ低い。 被扶養者の受診率は65.6%、他の健保より高い。	➔	健診受診率向上のため未受診者へ健診受診を促す。	✓
2	タ, チ, ツ, テ, ト, ナ, ニ, ヨ	健康課題マップのリスク階層把握分析によりやや健診値が悪化しはじめた階層である不健康な生活群186人が全体の17.5%を占めており、未把握層を除いて最も多い階層となっている。	➔	生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善	✓
3	エ	2017年3月の数量割合は66.7%で他健保と比べ0.7%低い。	➔	後発医薬品に切替余地がある対象者へ切替を促す。	✓
4	ロ, ワ	問診分析より運動習慣なしの割合は、男性被保険者58.8%、女性被保険者66.7%といずれも他健保と比較して高い。 また、生活習慣改善意欲なしの該当者は20.3%で他健保と比べ高い。	➔	運動習慣がない人に運動の機会を提供したり、健康に無関心層に対し健康維持管理の必要性を認識してもらうための情報発信によりヘルスリテラシー向上を促す。	✓
5	タ, チ, アウ	生活習慣病を疾病別に分析すると2型糖尿病の医療費が最も高く、特に男性被保険者50代から受療率が上昇傾向になることがわかった。 健診とレセプトを突合した治療放置群分析により、健診結果が悪いにもかかわらず通院をしていない対象者が245人いることがわかった。	➔	未通院者に対して、早期に治療を受けてもらうよう受診を促す。	✓
6	アエ	生活習慣病レセプトを追跡分析した結果、通院を中断している対象者が24人いる。	➔	中断をしている理由が本人の判断か医師の指示によるものかは判断が出来ないが通院を促し、本人の判断によって放置することによる重症化を防ぐ。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	男性被保険者は30代前半が多く、女性被保険者は20代後半が多い。平均年齢の上昇により疾病リスクが今後高まると予想される。	➔	平均年齢の上昇により特定健診対象者の増加が見込まれるため、受診率を向上させる対策が必要である。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被保険者の特定健診受診率が他健保と比べ低い。まずは特定健診受診率の向上が必要である。	➔	特定健診受診率向上のために、被保険者に対しては事業主にも協力を依頼しながら受診率の向上を図る。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

特定健診受診率を引き上げ、生活習慣病を早期発見することを目的とする。

また、受診者のうち生活習慣病に該当しながら未通院者及び治療中断者に対して受診勧奨を行い将来的な医療費の抑制を行う。

健康無関心層に対し、健康維持管理の必要性を認識してもらうための情報発信によりヘルスリテラシー向上を目指す。

事業全体の目標

- ・特定健診受診率を全健康保険組合平均値を目標とする。
- ・生活習慣病未通院者・治療中断者に対して受診勧奨し受診率を向上させる。
- ・ヘルスリテラシー向上のためICTを導入し登録率を向上させる。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健保ニュース
保健指導宣伝	医療費通知書配布
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品使用促進
保健指導宣伝	ICT（ペップアップ）を利用した健康情報提供
保健指導宣伝	ホームページ運用・各種宣伝物制作
疾病予防	育児書（月刊）配布

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	生活習慣病二次検査
疾病予防	短期人間ドック
疾病予防	大腸検診
疾病予防	婦人科単独検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	健助利用費および受診勧奨事業
体育奨励	スポーツクラブ利用補助

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
職場環境の整備												アウトカム指標								
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2	既存	健保ニュース	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス		ス		648	-	-	-	-	健康意識・保健衛生知識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
													5月・10月の年2回予算・決算の広報および健康増進情報の提供	5月・10月の年2回予算・決算の広報および健康増進情報の提供	5月・10月の年2回予算・決算の広報および健康増進情報の提供	5月・10月の年2回予算・決算の広報および健康増進情報の提供	5月・10月の年2回予算・決算の広報および健康増進情報の提供			5月・10月の年2回予算・決算の広報および健康増進情報の提供
													発行回数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)-							設定できない(アウトカムは設定されていません)
2	既存	医療費通知書配布	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ		ス		200	-	-	-	-	加入者の医療費に対するコスト意識を喚起する。医療費控除の明細書として使用する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
												ICT（ペップアップ）を活用し対象者全員に配布	ICT（ペップアップ）を活用し対象者全員に配布	ICT（ペップアップ）を活用し対象者全員に配布	ICT（ペップアップ）を活用し対象者全員に配布	ICT（ペップアップ）を活用し対象者全員に配布			ICT（ペップアップ）を活用し対象者全員に配布	
												送付率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-							設定できない。(アウトカムは設定されていません)	
7	既存	ジェネリック医薬品使用促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ	レセプトデータよりジェネリック差額通知を、削減効果が期待できる対象者に送付し、効果額や切替率を検証する。	ス	ICT（ペップアップ）を利用して通知する。	100	-	-	-	-	コスト意識の喚起により、ジェネリック医薬品使用率を高め、医療費適正化を図る。	2017年3月の数量割合は66.7%で他健保と比べ0.7%低い。		
												主として生活習慣病関連の服薬者に対して使用促進通知を通知。	主として生活習慣病関連の服薬者に対して使用促進通知を通知。	主として生活習慣病関連の服薬者に対して使用促進通知を通知。	主として生活習慣病関連の服薬者に対して使用促進通知を通知。	主として生活習慣病関連の服薬者に対して使用促進通知を通知。			主として生活習慣病関連の服薬者に対して使用促進通知を通知。	
												通知率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-							使用率(【実績値】73.3% 【目標値】平成30年度：75% 令和元年度：76% 令和2年度：77% 令和3年度：78% 令和4年度：79% 令和5年度：80%)-	
2	新規	ICT（ペップアップ）を利用した健康情報提供	全て	男女	18～74	被保険者	1	エ		ス		1,000	-	-	-	-	健康意識・保健衛生意識の向上および運動習慣の定着	問診分析より運動習慣なしの割合は、男性被保険者58.8%、女性被保険者66.7%といずれも他健保と比較して高い。また、生活習慣改善意欲なしの該当者は20.3%で他健保と比べ高い。		
												平成30年12月に被保険者が利用できるようにリリース	平成30年度登録実績を検討し、健康に対する意識の向上、運動習慣の定着を図る。	平成31年度登録実績を検討し、健康に対する意識の向上、運動習慣の定着を図る。	平成32年度登録実績を検討し、健康に対する意識の向上、運動習慣の定着を図る。	平成33年度登録実績を検討し、健康に対する意識の向上、運動習慣の定着を図る。			平成34年度登録実績を検討し、健康に対する意識の向上、運動習慣の定着を図る。	
												登録率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：20% 令和元年度：25% 令和2年度：30% 令和3年度：40% 令和4年度：50% 令和5年度：60%)-							設定できない。(アウトカムは設定されていません)	
2	既存	ホームページ運用・各種宣伝物制作	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ	ホームページによるICTを活用した事業、健康情報の配信	ス	ホームページは組合内で変更または業者委託	359	-	-	-	-	健康意識・保健衛生意識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
												健康情報、各種事業の情報発信、および健康意識・保健衛生意識の向上に向けたコンテンツ作成	平成30年度実績を検討した健康情報、各種事業の情報発信、および健康意識・保健衛生意識の向上に向けたコンテンツ作成	平成31年度実績を検討した健康情報、各種事業の情報発信、および健康意識・保健衛生意識の向上に向けたコンテンツ作成	平成32年度実績を検討した健康情報、各種事業の情報発信、および健康意識・保健衛生意識の向上に向けたコンテンツ作成	平成33年度実績を検討した健康情報、各種事業の情報発信、および健康意識・保健衛生意識の向上に向けたコンテンツ作成			平成34年度実績を検討した健康情報、各種事業の情報発信、および健康意識・保健衛生意識の向上に向けたコンテンツ作成	
												ホームページ閲覧率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：10% 令和元年度：12% 令和2年度：14% 令和3年度：16% 令和4年度：18% 令和5年度：20%)-							設定できない(アウトカムは設定されていません)	
疾病予防	2	既存	育児書（月刊）配布	全て	女性	18～74	被保険者、被扶養者	1	ス	出産をした被保険者・被扶養者に対し1年間育児情報を掲載した月刊誌を送付	ス	赤ちゃんとママ社に委託	270	-	-	-	-	育児に関する情報の提供	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
													育児に関する最新情報を提供し、育児に関する悩みの解消を図る一助とする。	育児に関する最新情報を提供し、育児に関する悩みの解消を図る一助とする。	育児に関する最新情報を提供し、育児に関する悩みの解消を図る一助とする。	育児に関する最新情報を提供し、育児に関する悩みの解消を図る一助とする。	育児に関する最新情報を提供し、育児に関する悩みの解消を図る一助とする。			育児に関する最新情報を提供し、育児に関する悩みの解消を図る一助とする。
													配布率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-							設定できない(アウトカムは設定されていません)
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健診（被保険者）	全て	男女	40～74	被保険者	1	イ	事業主との協働（コラボヘルス）により、健診受診の重要性を周知する。	ス	事業主が実施する定期健康診査にあわせて実施	10,800	-	-	-	-	メタボリックシンドロームに着目した健康状況の把握	被保険者の健診受診率は75%、他の健保と比べ低い。被扶養者の受診率は65.6%、他の健保より高い。	
													平成29年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施。	平成30年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施。	平成31年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施。	平成32年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施。	平成33年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施。			平成34年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施。
													受診率(【実績値】75.0% 【目標値】平成30年度：75.8% 令和元年度：77.0% 令和2年度：83.2% 令和3年度：88.1% 令和4年度：91.3% 令和5年度：92.4%)-							特定保健指導対象者の割合(【実績値】23.8% 【目標値】平成30年度：23.5% 令和元年度：23.0% 令和2年度：22.5% 令和3年度：22.0% 令和4年度：21.5% 令和5年度：21.0%)-
													5,200	-	-	-	-			

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
	3	既存(法定)	特定健診(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	イ	自己負担なしの巡回健診を取り入れ受診機会を提供	エ	主婦健診協議会に委託	平成29年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施	平成30年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施	平成31年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施	平成32年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施	平成33年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施	平成34年度の受診状況を踏まえ、受診率の向上を検討しつつ継続実施	メタボリックシンドロームに着目した健康状況の把握	被保険者の健診受診率は75%、他の健保と比べ低い。被扶養者の受診率は65.6%、他の健保より高い。
受診率(【実績値】65.6% 【目標値】平成30年度：69.8% 令和元年度：75.7% 令和2年度：79.5% 令和3年度：85.4% 令和4年度：88.4% 令和5年度：90.9%)-												特定保健指導対象者の割合(【実績値】3.4% 【目標値】平成30年度：3.3% 令和元年度：3.2% 令和2年度：3.1% 令和3年度：3.0% 令和4年度：2.9% 令和5年度：2.8%)-								
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	被保険者、被扶養者	1	オ	特定保健指導対象者に対して実施	ス	外部委託にて保険師による面談または遠隔保健指導実施	平成29年度の実施状況を踏まえ実施率及び実施効果向上を検討しつつ継続実施。	平成30年度の実施状況を踏まえ実施率及び実施効果向上を検討しつつ継続実施。	平成31年度の実施状況を踏まえ実施率及び実施効果向上を検討しつつ継続実施。	平成32年度の実施状況を踏まえ実施率及び実施効果向上を検討しつつ継続実施。	平成33年度の実施状況を踏まえ実施率及び実施効果向上を検討しつつ継続実施。	平成34年度の実施状況を踏まえ実施率及び実施効果向上を検討しつつ継続実施。	メタボリックシンドロームの減少	健康課題マップのリスク階層把握分析によりやや健診値が悪化しはじめた階層である不健康な生活群186人が全体の17.5%を占めており、未把握層を除いて最も多い階層となっている。
													6,021	-	-	-	-	-		
疾病予防	3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	18～39	被保険者	1	イ	事業主との協働(コラボヘルス)により、健診受診の重要性を周知する。	ス	事業主が実施する定期健康診査にあわせて実施	平成29年度の受診状況を踏まえ、受診率向上を検討しつつ継続実施。	平成30年度の受診状況を踏まえ、受診率向上を検討しつつ継続実施。	平成31年度の受診状況を踏まえ、受診率向上を検討しつつ継続実施。	平成32年度の受診状況を踏まえ、受診率向上を検討しつつ継続実施。	平成33年度の受診状況を踏まえ、受診率向上を検討しつつ継続実施。	平成34年度の受診状況を踏まえ、受診率向上を検討しつつ継続実施。	生活習慣病の早期発見	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													18,000	-	-	-	-	-		
	3	既存	生活習慣病二次検査	全て	男女	18～74	被保険者	1	イ	健診受診の結果、再検査の判定結果対象者が2次検査を受診	ス	健診を受診した医療機関または任意の医療機関で受診	平成29年度の受診状況を踏まえ受診の効果等について検討しつつ継続実施。	平成30年度の受診状況を踏まえ受診の効果等について検討しつつ継続実施。	平成31年度の受診状況を踏まえ受診の効果等について検討しつつ継続実施。	平成32年度の受診状況を踏まえ受診の効果等について検討しつつ継続実施。	平成33年度の受診状況を踏まえ受診の効果等について検討しつつ継続実施。	平成34年度の受診状況を踏まえ受診の効果等について検討しつつ継続実施。	医療機関を受診する必要があるかどうかの早期判定	生活習慣病を疾病別に分析すると2型糖尿病の医療費が最も高く、特に男性被保険者50代から受療率が上昇傾向になることがわかった。健診とレセプトを突合した治療放置群分析により、健診結果が悪いにもかかわらず通院をしていない対象者が245人いることがわかった。
													1,500	-	-	-	-	-		
	3	既存	短期人間ドック	全て	男女	40～74	被保険者、被扶養者、任意継続者	1	ウ	40歳以上の希望者を対象に健康状態を判断し、保健指導・食生活改善指導など健康管理の充実を図るために実施	ス	契約医療機関および受診を希望する任意の医療機関で実施	平成29年度の受診状況を踏まえ、継続実施	平成30年度の受診状況を踏まえ、継続実施	平成31年度の受診状況を踏まえ、継続実施	平成32年度の受診状況を踏まえ、継続実施	平成33年度の受診状況を踏まえ、継続実施	平成34年度の受診状況を踏まえ、継続実施	健康管理の充実をはかる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													10,000	-	-	-	-	-		
	3	既存	大腸検診	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者	1	ウ	被保険者・被扶養者の希望者に対し検査キットを郵送方式による検査	ス	外部業者に委託	平成29年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施。	平成30年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施。	平成31年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施。	平成32年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施。	平成33年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施。	平成34年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施。	大腸がんの早期発見	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													680	-	-	-	-	-		
	3	既存	婦人科単独検診	全て	女性	35～74	被保険者、被扶養者	1	ウ	35歳以上の希望者に対して、乳がん・子宮がん検診を行う。	ス	契約医療機関および任意の医療機関に委託	平成29年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施	平成30年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施	平成31年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施	平成32年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施	平成33年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施	平成34年度の受診状況を踏まえ、受診の効果等について検討しつつ継続実施	乳がん・子宮がんの早期発見	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													1,600	-	-	-	-	-		
	3	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	予防接種の費用補助	ス	希望の医療機関にて自主接種	平成29年度の状況を踏まえ、接種の効果等について検討しつつ継続実施	平成30年度の状況を踏まえ、接種の効果等について検討しつつ継続実施	平成31年度の状況を踏まえ、接種の効果等について検討しつつ継続実施	平成32年度の状況を踏まえ、接種の効果等について検討しつつ継続実施	平成33年度の状況を踏まえ、接種の効果等について検討しつつ継続実施	平成34年度の状況を踏まえ、接種の効果等について検討しつつ継続実施	インフルエンザの予防	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													1,500	-	-	-	-	-		
実施率(【実績値】20% 【目標値】平成30年度：20% 令和元年度：20% 令和2年度：20% 令和3年度：20% 令和4年度：20% 令和5年度：20%)-												設定できない(アウトカムは設定されていません)								
												1,000								

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
4	既存	健助利用費および受診勧奨事業	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ	健診情報とレセプトの突合を行い、未受診者に対して受診勧奨を行う。	ス	健助を利用し対象者の抽出	未受診者に対して自宅あてに受診案内を送付。該当者に効果的に受診を促すような内容に工夫する。	平成30年度の実施効果を検証し運用を見直す。	平成31年度の実施効果を検証し運用を見直す。	平成32年度の実施効果を検証し運用を見直す。	平成33年度の実施効果を検証し運用を見直す。	平成34年度の実施効果を検証し運用を見直す。	健診結果の悪い対象者が早期に医療機関を受診し悪化を未然に防ぐ。	生活習慣病を疾病別に分析すると2型糖尿病の医療費が最も高く、特に男性被保険者50代から受療率が上昇傾向になることがわかった。健診とレセプトを突合した治療放置群分析により、健診結果が悪いにもかかわらず通院をしていない対象者が245人いることがわかった。
受診勧奨通知率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												設定できない(アウトカムは設定されていません)							
5	既存	スポーツクラブ利用補助	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者	1	ス	契約スポーツクラブ利用者に対して1回あたり500円(月4回まで)補助	ス	コナミスポーツクラブ・ルネサンススポーツクラブと契約	平成29年度の利用実績を踏まえ、利用者が増加するよう工夫する。	平成30年度の利用実績を踏まえ、利用者が増加するよう工夫する。	平成31年度の利用実績を踏まえ、利用者が増加するよう工夫する。	平成32年度の利用実績を踏まえ、利用者が増加するよう工夫する。	平成33年度の利用実績を踏まえ、利用者が増加するよう工夫する。	平成34年度の利用実績を踏まえ、利用者が増加するよう工夫する。	健康増進・運動習慣の定着を図る。	問診分析より運動習慣なしの割合は、男性被保険者58.8%、女性被保険者66.7%といずれも他健保と比較して高い。また、生活習慣改善意欲なしの該当者は20.3%で他健保と比べ高い。
利用人数(【実績値】50人 【目標値】平成30年度：60人 令和元年度：70人 令和2年度：80人 令和3年度：90人 令和4年度：100人 令和5年度：110人)-												設定できない(アウトカムは設定されていません)							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他